

垂井町第5次総合計画
後期基本計画策定に係る
町民意識調査

結果報告書

平成24年8月

垂 井 町

目次

I	調査の概要及び回答者の属性	1
1	調査の概要	1
(1)	調査目的	1
(2)	調査対象及び調査方法	1
(3)	配布数及び回収結果	1
2	本調査報告書の基本的な事項	1
(1)	数値の基本的な取り扱いについて	1
3	回答者の属性	2
(1)	性別	2
(2)	年齢	2
(3)	職業	3
(4)	勤務先・通学先	3
(5)	町内での居住年数	4
(6)	居住地区	4
II	調査結果	5
1	町の印象と定住意向などについて	5
(1)	町の印象について	5
(2)	今後の定住意向について	9
(3)	住みたくない主な理由について	14
(4)	自宅まわりの満足度	18
2	まちの将来像について	29
(1)	「将来のまちの姿」への取り組み	29
	(注：この設問ではいくつかの項目を先回調査に加えたり、分野を移動しているため、単 純な比較では見方に注意を要する。)	29
①	「安全・安心」分野への取り組み	29
②	「教育・生涯学習・文化」分野への取り組み	30
③	「子育て・健康・福祉」分野への取り組み	31
④	「地域環境」分野への取り組み	32
⑤	「産業・交流」分野への取り組み	33
⑥	「都市基盤」分野への取り組み	34
⑦	「協働・行財政運営」分野への取り組み	35
(2)	将来の垂井町の姿	36
3	今後の町政運営について	47
(1)	町政運営に係る情報提供への取り組み	47
(2)	町民と行政の協働	51

① 町政運営への町民参画について.....	51
② 住民活動への参加状況・参加意向.....	55
(3) 町政への住民参加.....	64
アンケートによる指標の比較（基本計画に使われている指標）.....	68

I 調査の概要及び回答者の属性

1 調査の概要

(1) 調査目的

本調査は、第5次垂井町総合計画後期基本計画の策定にあたって、まちの現状評価や定住意向をはじめ、今後期待するまちづくりの方向など、町民の意識構造の実態を把握し、計画づくりの基礎資料を得るために実施したものです。

(2) 調査対象及び調査方法

項目	内容
調査対象	垂井町に居住している18歳以上の方
抽出数	2,000
抽出法	無作為抽出
調査方法	郵送法 (配布：市内特別郵便 回収：料金受取人払・後納)
調査時期	平成24年6月
調査地域	町内全域

(3) 配布数及び回収結果

配布数	2,000
有効回収数	1,029
有効回収率	51.5%

2 本調査報告書の基本的な事項

(1) 数値の基本的な取り扱いについて

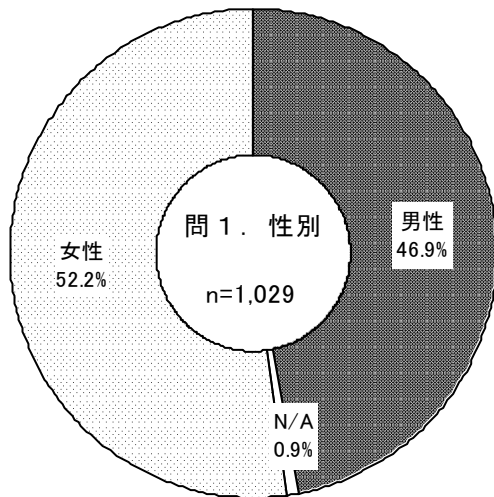
- ①比率はすべて百分率(%)で表し、小数点以下2位を四捨五入して算出しています。従って、合計が100%を上下する場合があります。
- ②基数となるべき実数は、“n=〇〇〇”として掲載し、各比率はnを100%として算出しています。
- ③質問の終わりに【複数回答】とある間は、1人の回答者が2つ以上の回答を出してもよい間であり、従って各回答の合計比率は100%を超える場合(MAと表記)があります。
- ④各設問で無回答の数は「N/A」(No Answer)と表記してあります。

3 回答者の属性

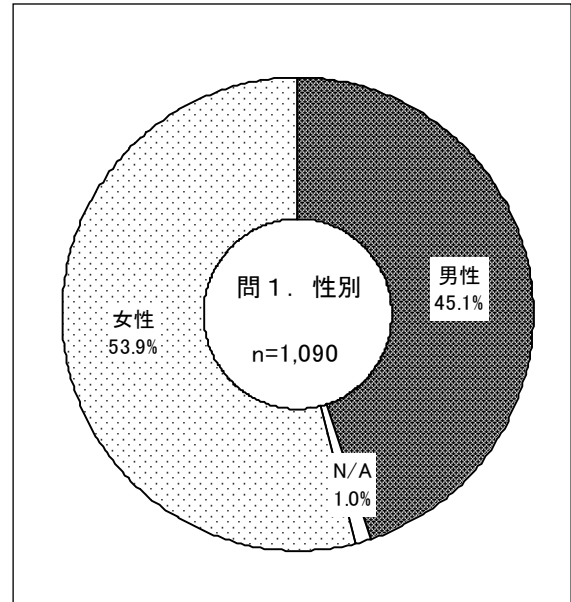
(1) 性別

回答者の性別構成は、「女性」(52.2%)、「男性」(46.9%)となっています。

平成 24 年度調査



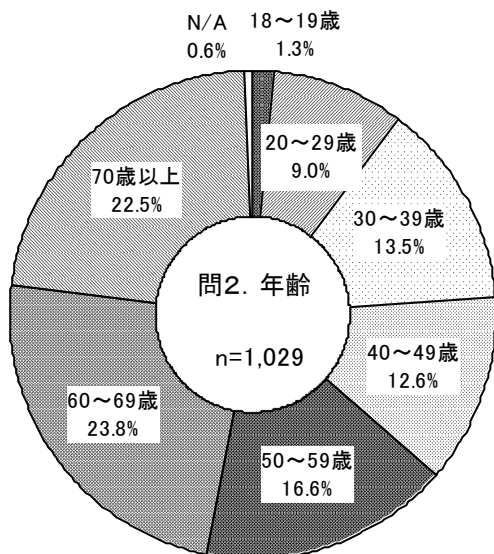
平成 18 年度調査



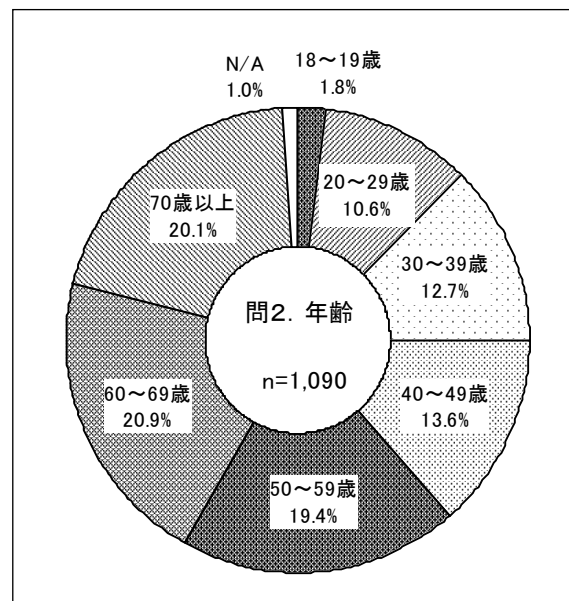
(2) 年齢

回答者の年齢構成は、「60～69歳」(23.8%)、「70歳以上」(22.5%)、「50～59歳」(16.6%)、「30～39歳」(13.5%)、「40～49歳」(12.6%)、「20～29歳」(9.0%)、「18～19歳」(1.3%)の順となっています。

平成 24 年度調査

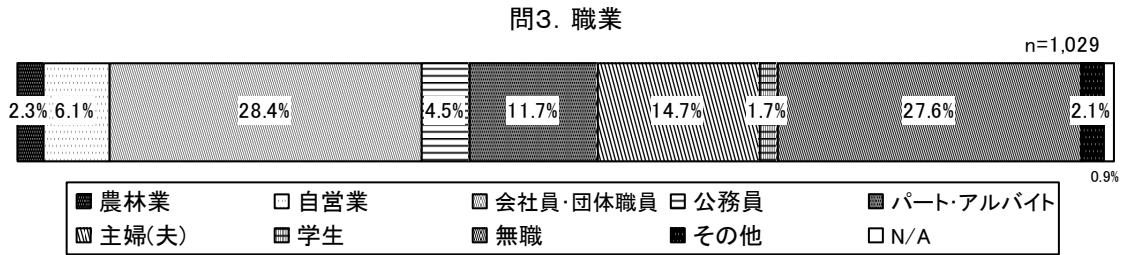


平成 18 年度調査

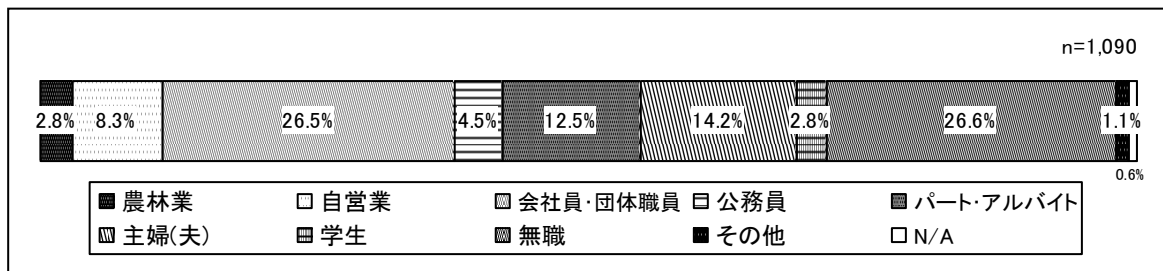


(3) 職業

回答者の職業は、「会社員・団体職員（私立の学校・病院・保育所の職員を含む）」(28.4%)、「無職（年金受給者を含む）」(27.6%)、「主婦（夫）」(14.7%)、「パート・アルバイト」(11.7%)、「自営業（商工業・サービス業、自由業等）」(6.1%)、「公務員」(4.5%)、「農林業」(2.3%)、「学生（大学・専門学校・予備校生等）」(1.7%)、「その他」(2.1%)の順となっています。



平成 18 年度調査

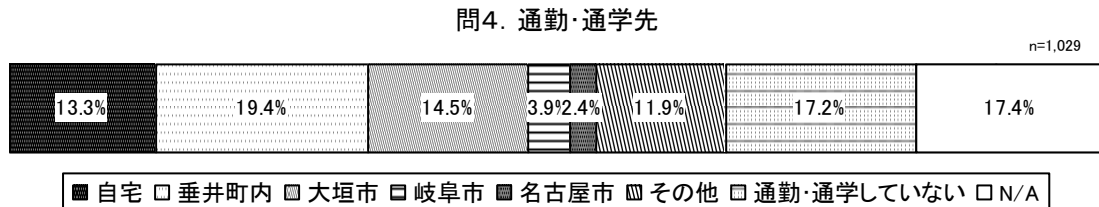


(4) 勤務先・通学先

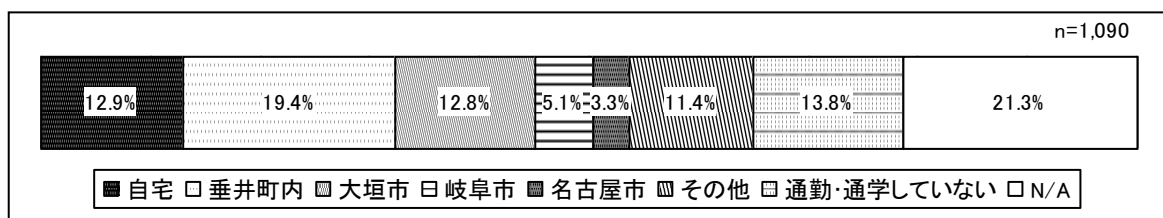
回答者の勤務先・通学先は、「垂井町内」(19.4%)、「大垣市」(14.5%)、「自宅」(13.3%)、「岐阜市」(3.9%)、「名古屋市」(2.4%)、「その他」(11.9%)の順となっています。

「通勤・通学をしていない」は17.2%でした。

なお、「垂井町内」・「自宅」は合わせて32.7%でした。

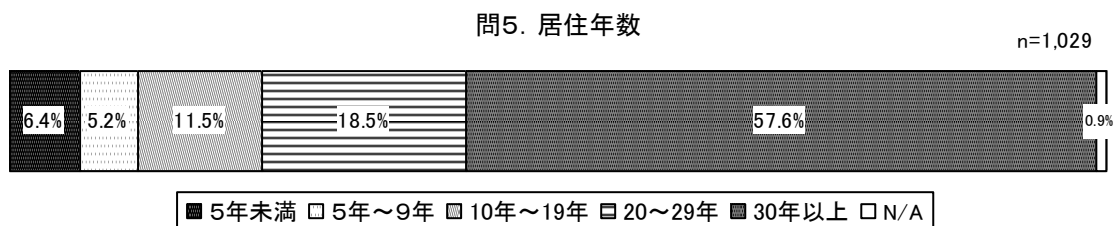


平成 18 年度調査

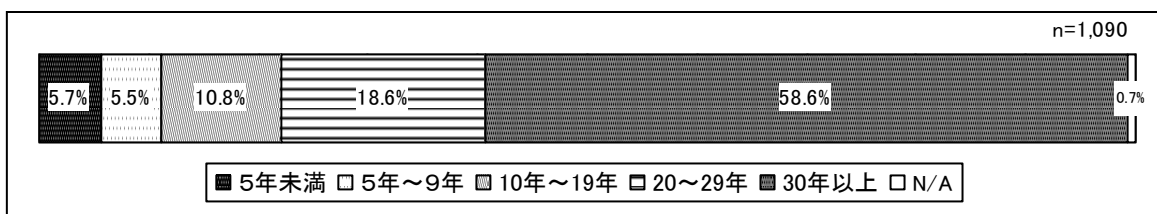


(5) 町内での居住年数

回答者の町内での居住年数は、「30年以上」(57.6%)、「20年以上30年未満」(18.5%)、「10年以上20年未満」(11.5%)、「5年未満」(6.4%)、「5年以上10年未満」(5.2%)の順となっています。

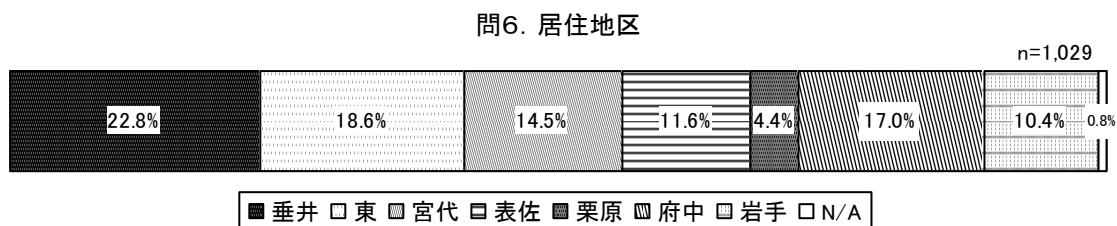


平成 18 年度調査

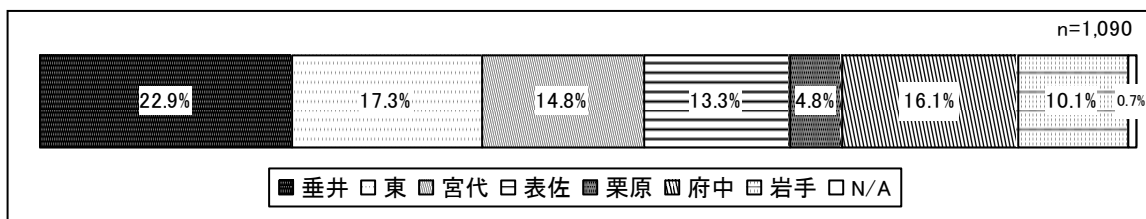


(6) 居住地区

回答者の居住地区は、「垂井」(22.8%)、「東」(18.6%)、「府中」(17.0%)、「宮代」(14.5%)、「表佐」(11.6%)、「岩手」(10.4%)、「栗原」(4.4%)の順となっています。



平成 18 年度調査



II 調査結果

1 町の印象と定住意向などについて

(1) 町の印象について

問7. あなたは次のような垂井町の印象についてどのように感じておられますか。次の中からあなたのお考えに最も近いものをそれぞれ1つずつ選んで○をつけてください。

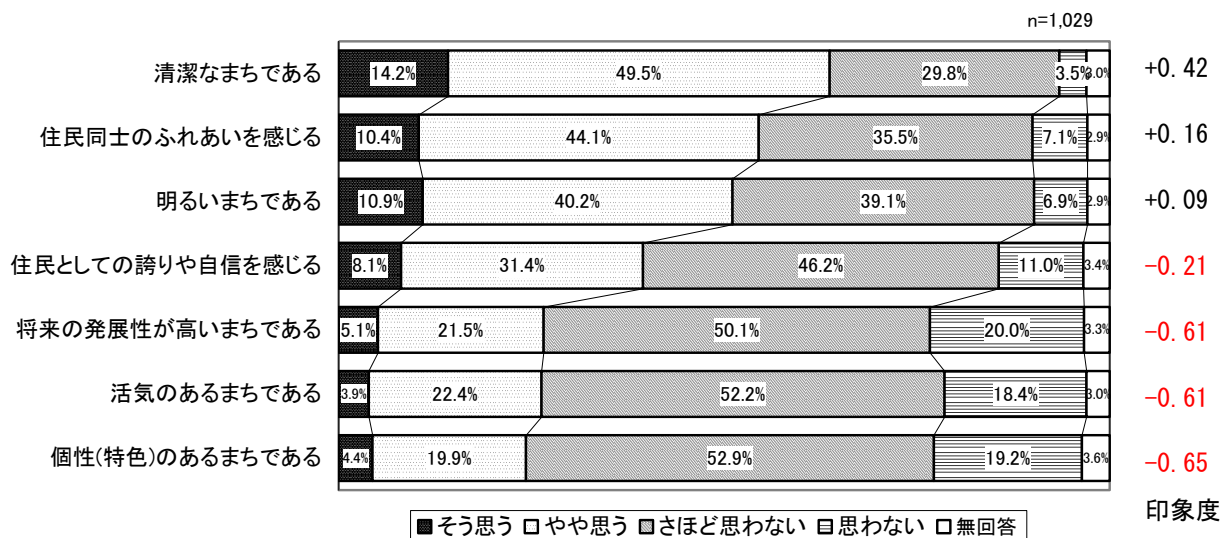
- 「清潔なまちである」が一番多く、前回より印象度は高くなっている。

<全体の傾向>

垂井町の印象として、「清潔なまちである」・「住民同士のふれあいを感じる」については半数以上の方が“そう思う”・“やや思う”と回答していますが、「個性（特色）のあるまちである」・「活気のあるまちである」・「将来の発展性が高いまちである」は“そのように思わない”が7～8割を占めています。

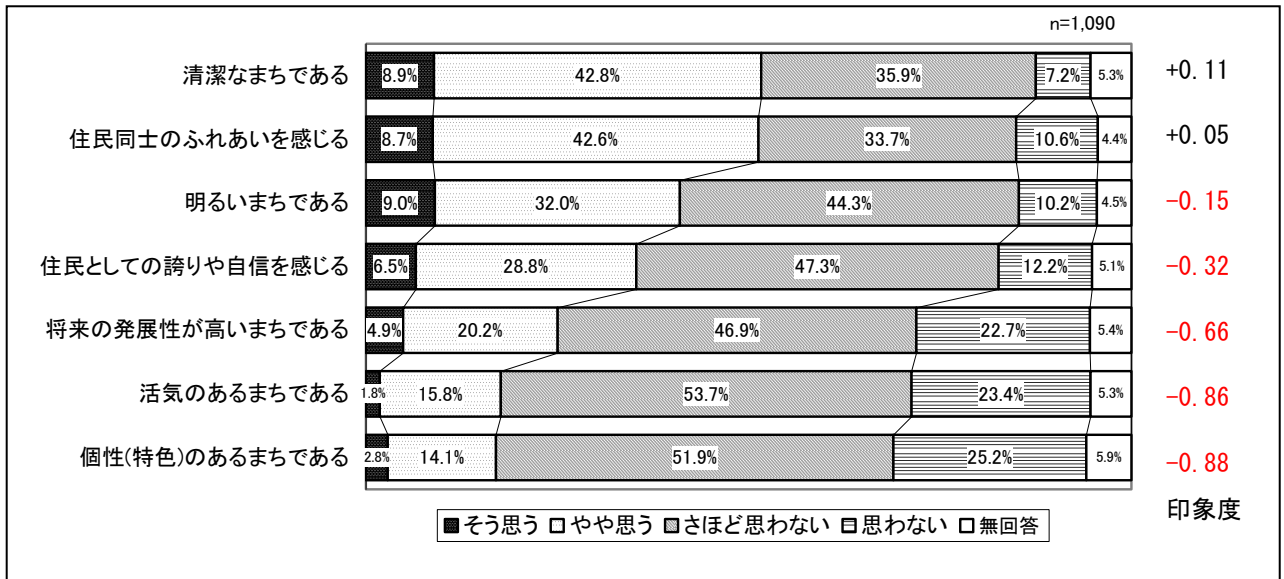
なお、各評価への回答数を数値化し、印象度という指標でみると、最も印象が強いのは「清潔なまちである」であり、以下、「住民同士のふれあいを感じる」、「明るいまちである」と続き、逆に「個性（特色）のあるまちである」が最も印象が薄くなっていますが、上位3位の印象度は前回調査より高くなっています。

問7 町の印象について



印象度：そう思う+2点、やや思う+1点、さほど思わない-1点、思わない-2点として各票数に乘じ、その平均を印象度としました。

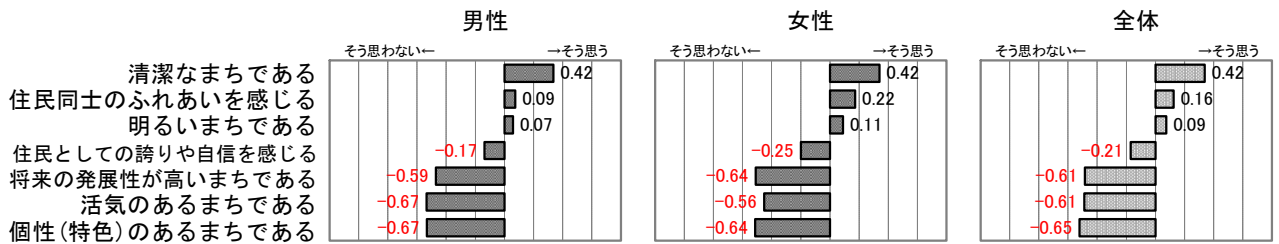
平成 18 年度調査



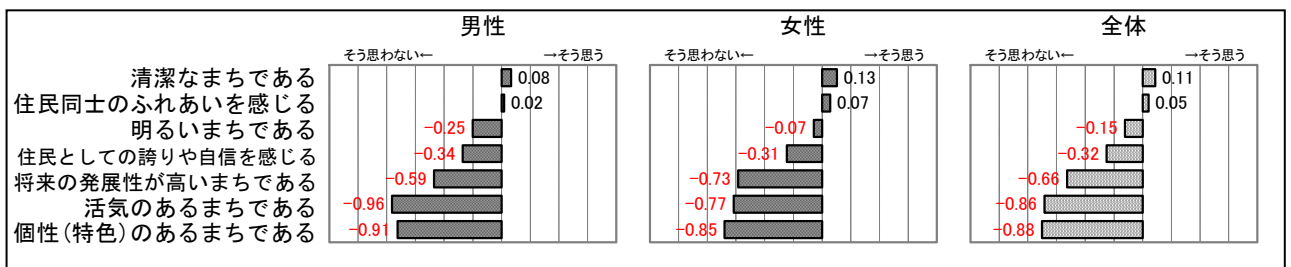
<属性別傾向>

○ 男女別集計

垂井町の印象を男女別にみると、男女ともほぼ同じ傾向を示しており、著しい差はありませんが、「明るいまちである」と思わないのは男性の方が、「将来の発展性が高いまちである」と思わないのは女性の方が高くなっています。

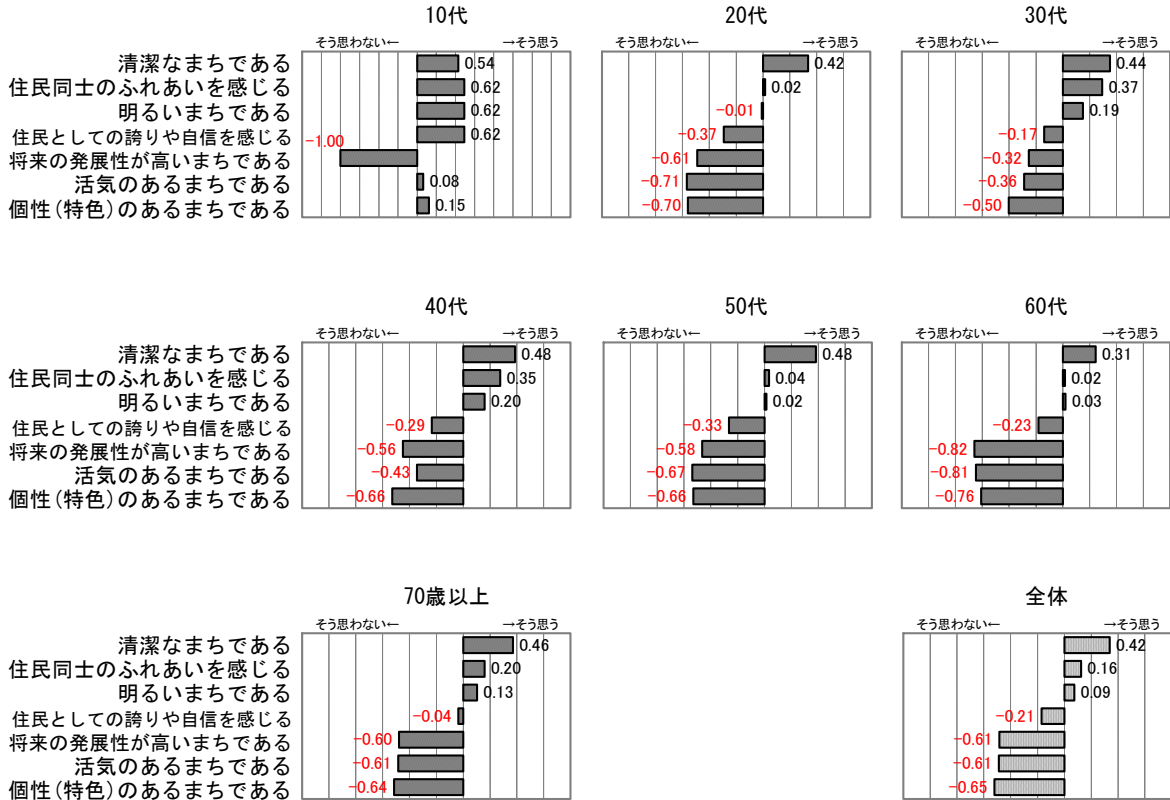


平成 18 年度調査

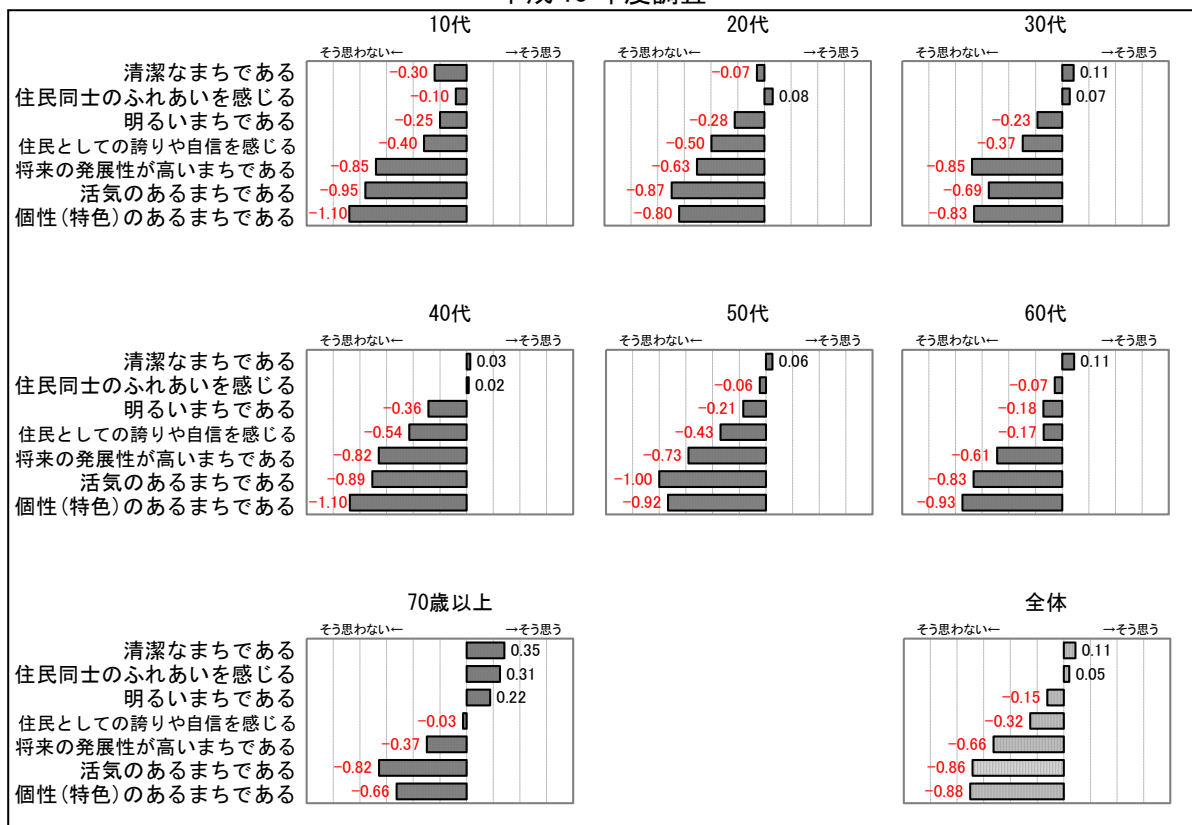


○ 年齢別集計

垂井町の印象を年齢別にみると、「清潔なまちである」・「住民同士のふれあいを感じる」はほぼすべての年齢層で印象度は高くなっていますが、20代、50代、60代での印象度がやや低くなっています。

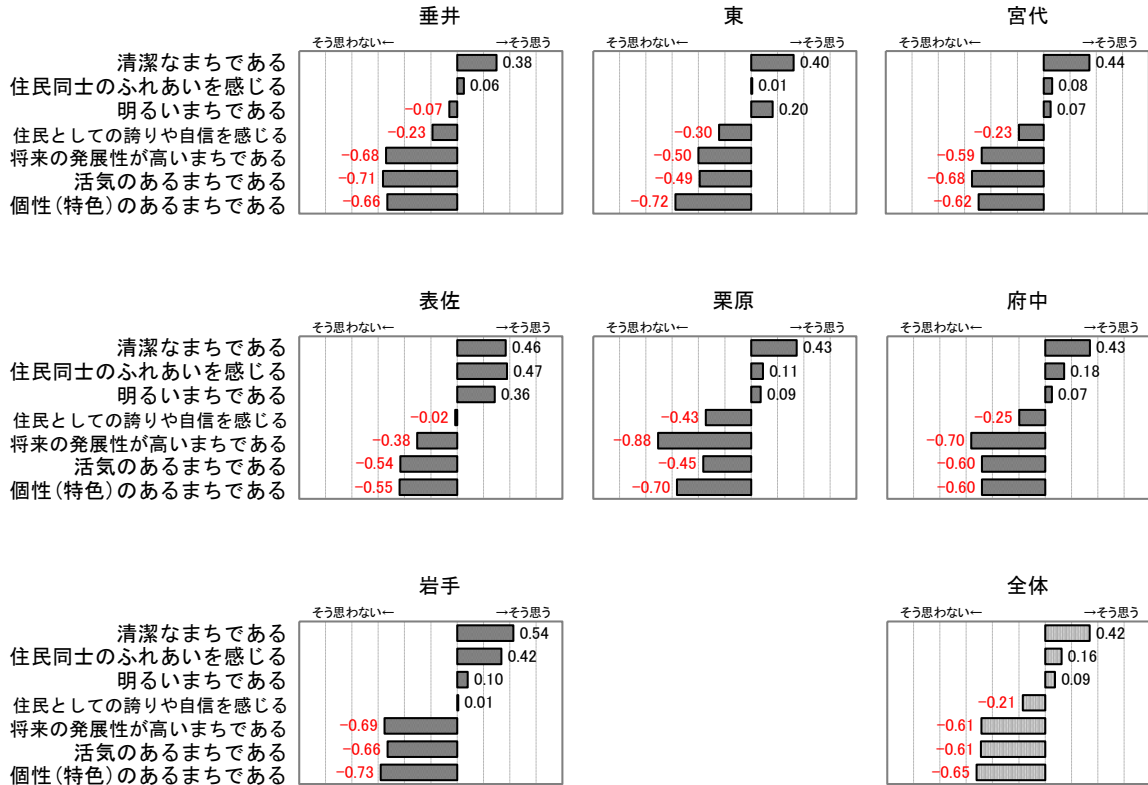


平成 18 年度調査

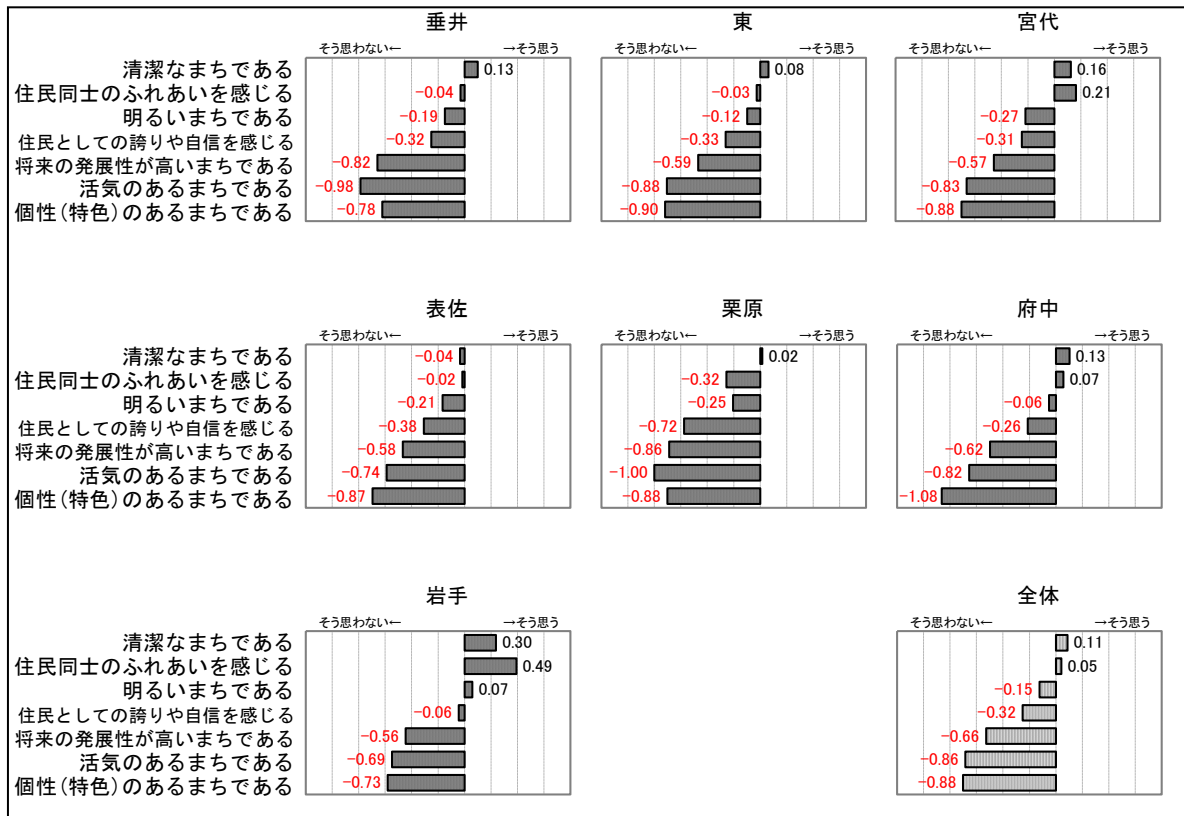


○ 地区別集計

地区別にみると、表佐、岩手では、「清潔なまちである」・「住民同士のふれあいを感じる」の印象度が高く、栗原、府中で「将来の発展性が高いまちである」の印象度が低くなっています。



平成 18 年度調査



(2) 今後の定住意向について

問8. あなたは将来も垂井町に住み続けたいと思われませんか。

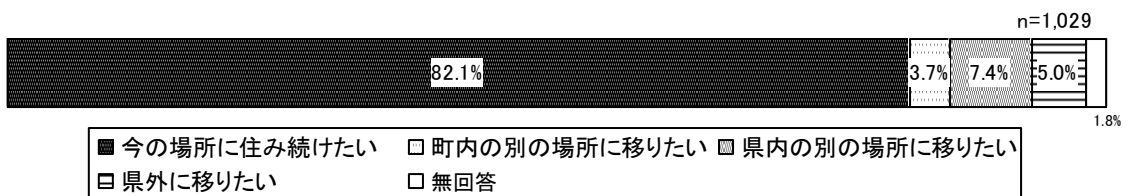
- 「今の場所に住み続けたい」が82.1%。前回調査より定住意向はやや高い。

<全体の傾向>

今後の定住意向については、「今の場所に住み続けたい」(82.1%)、「県内の別の場所に移りたい」(7.4%)、「県外に移りたい」(5.0%)、「町内の別の場所に移りたい」(3.7%)と答えています。

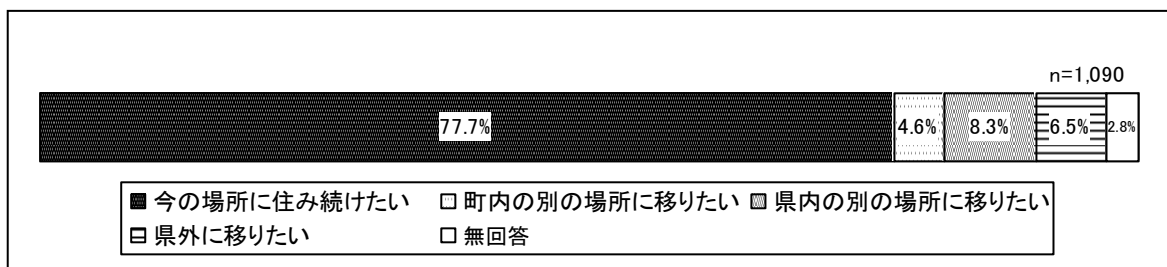
前回調査と比較すると、定住意向は4.4ポイント高くなっています。

問8 今後の定住意向について



具体的な 転居先	大垣市	岐阜市	名古屋市	垂井町内	瑞穂市	その他県内
	21人	9人	6人	17人	3人	22人

平成18年度調査

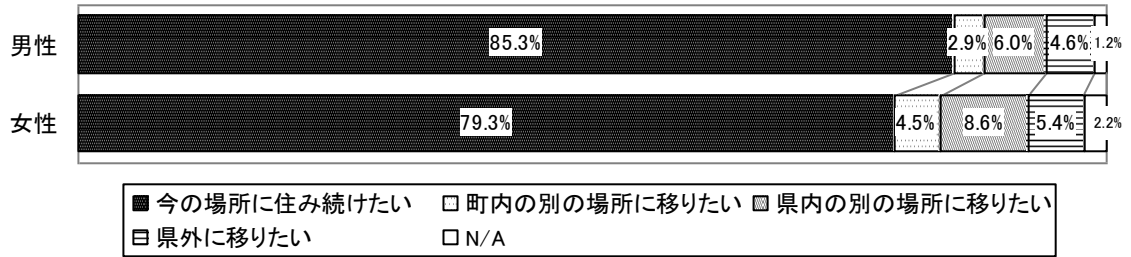


<属性別傾向>

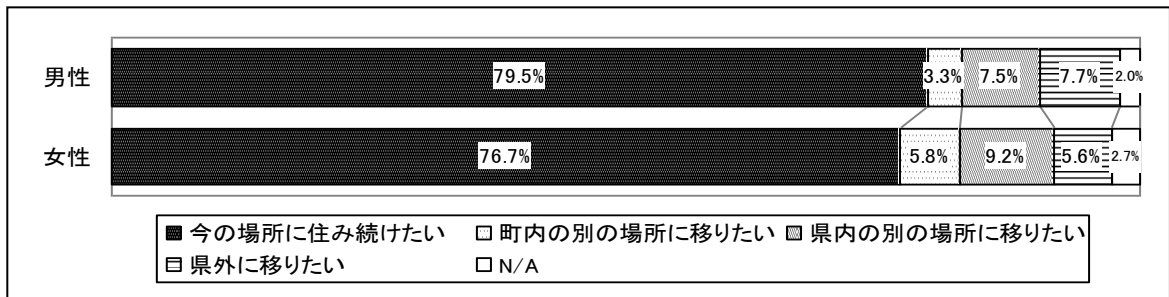
○ 男女別集計

男女別に垂井町での居留意向をみると、男性の方が女性より高くなっていますが、男性で「県外に移りたい」が前回調査よりやや低くなっています。

問8. 居留意向－男女別



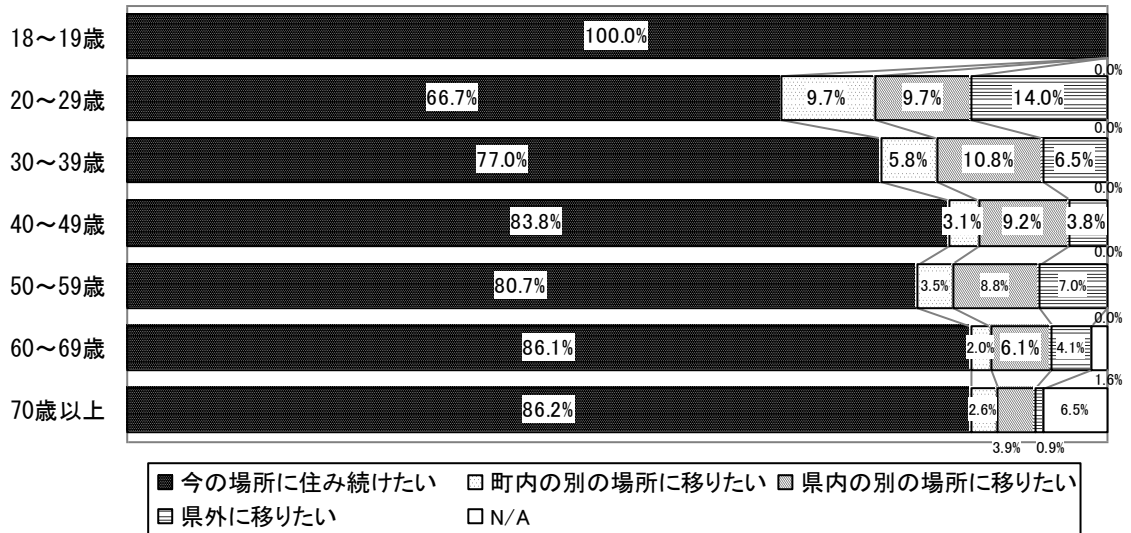
平成 18 年度調査



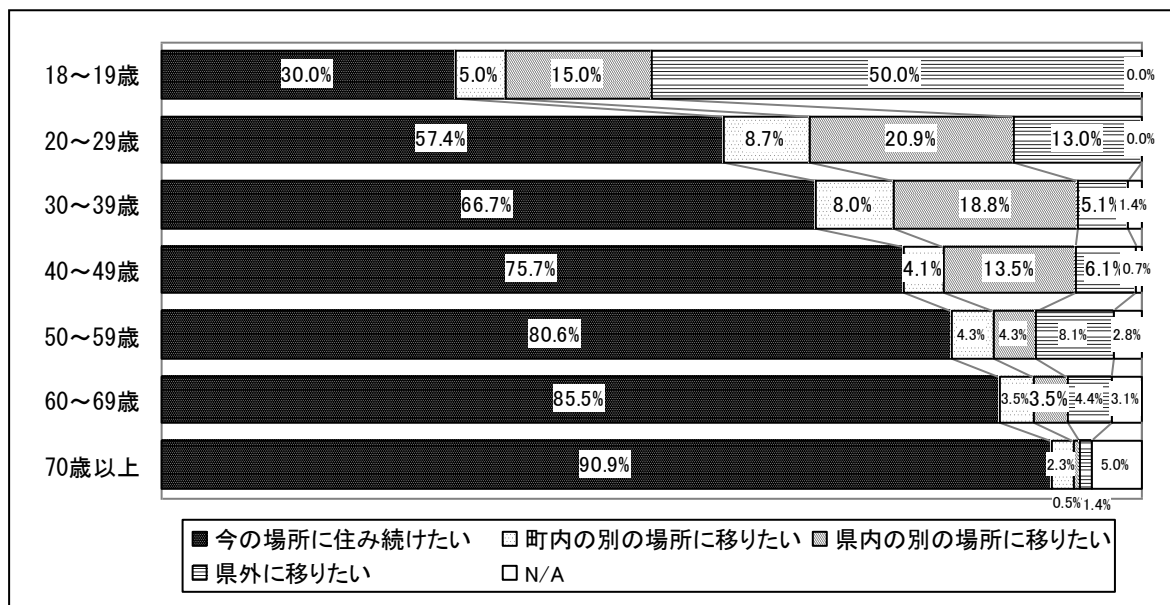
○ 年齢別集計

年齢階層別に垂井町での居留意向をみると、10代では100%であり、年齢が高くなるほど居留意向は高くなる傾向にあり、20代では低くなっています。

問8. 居留意向一年齢別



平成 18 年度調査

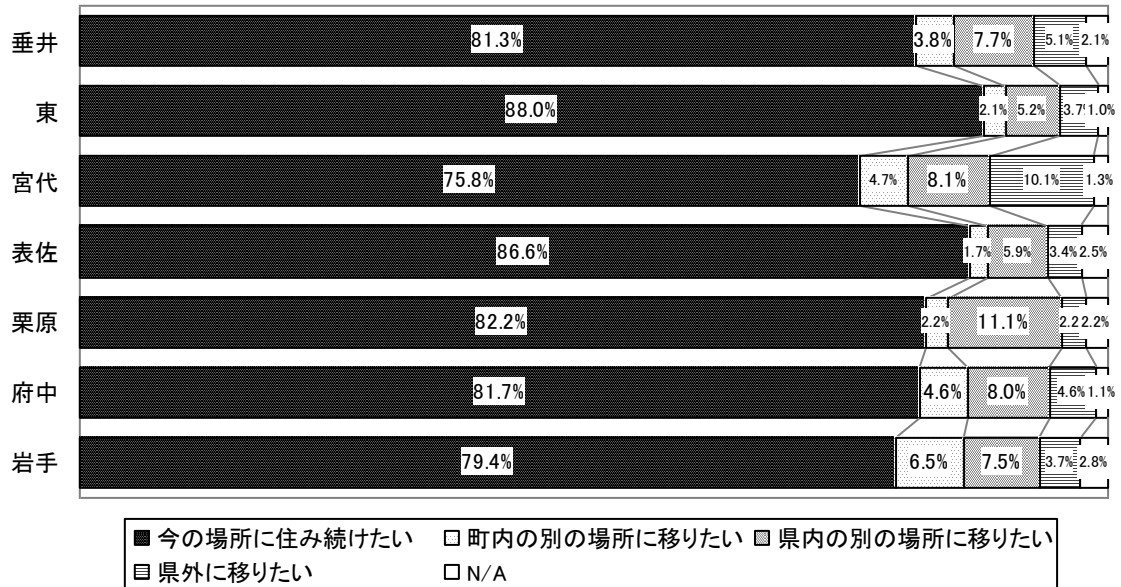


○ 地区別集計

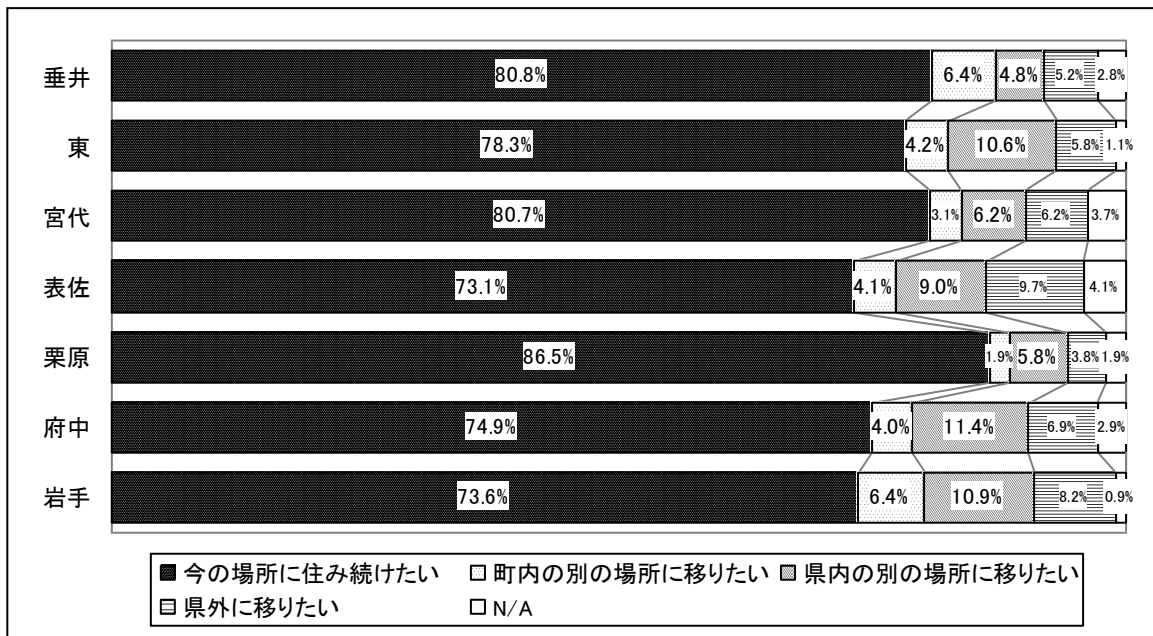
地区別にみると、東、表佐で居留意向は高く、宮代でやや低くなっています。

前回調査との比較では、東、表佐、府中、岩手で居留意向は高くなり、宮代、栗原で居留意向は低くなっています。

問8. 居留意向－地区別



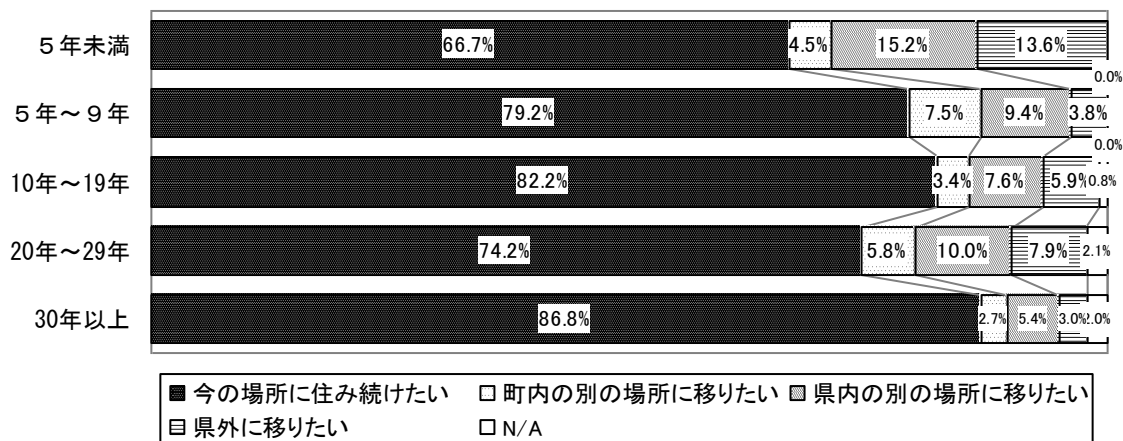
平成 18 年度調査



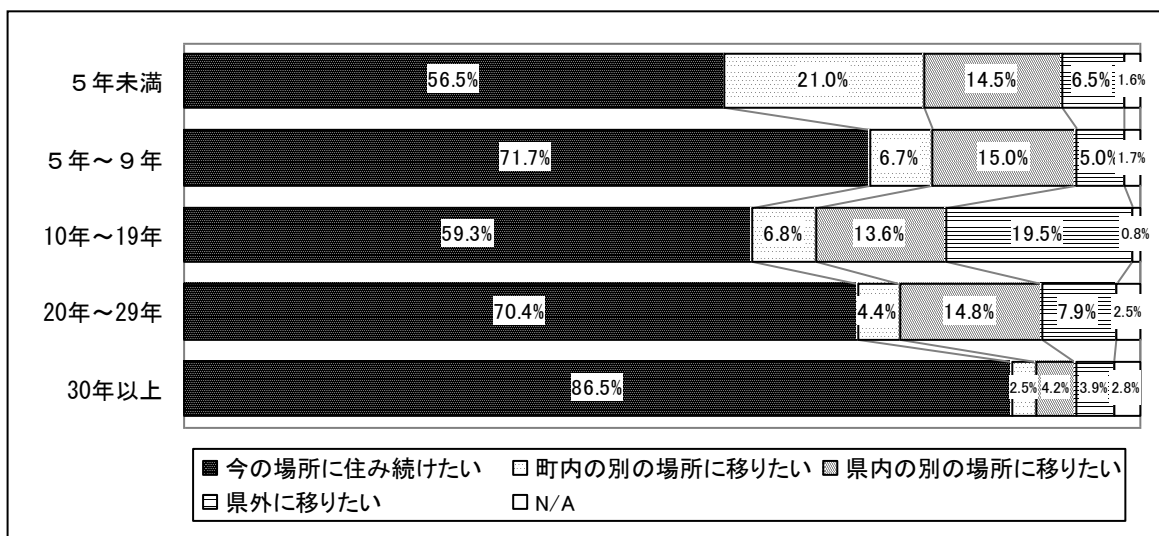
○ 居住年数別集計

居住年数別にみると、概ね居住年数が長くなるほど居住意向は高くなっていますが、20～29年の層でやや低くなっており、5年未満の層で「県内の別の場所に移りたい」、「県外に移りたい」がやや高くなっています。

問8. 居住意向－居住年数別



平成 18 年度調査



(3) 住みたくない主な理由について

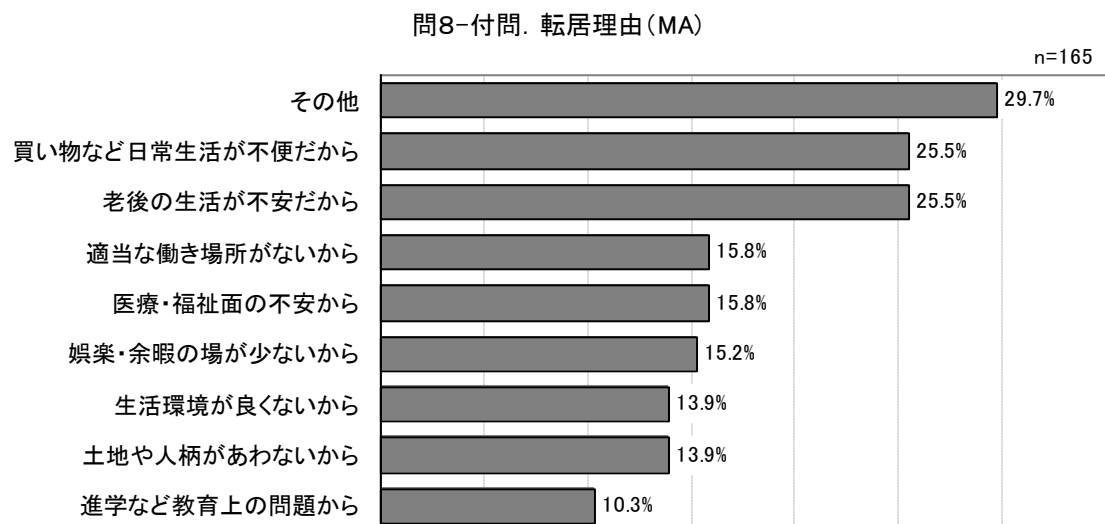
問8の2.【問8で 2、3、4 を選択された方のみ お答えください。】
今の場所から移りたいと思われる主な理由はどのようなことでしょうか。
【複数回答】

- 「買い物など日常生活が不便だから」・「老後の生活が不安だから」が多い。

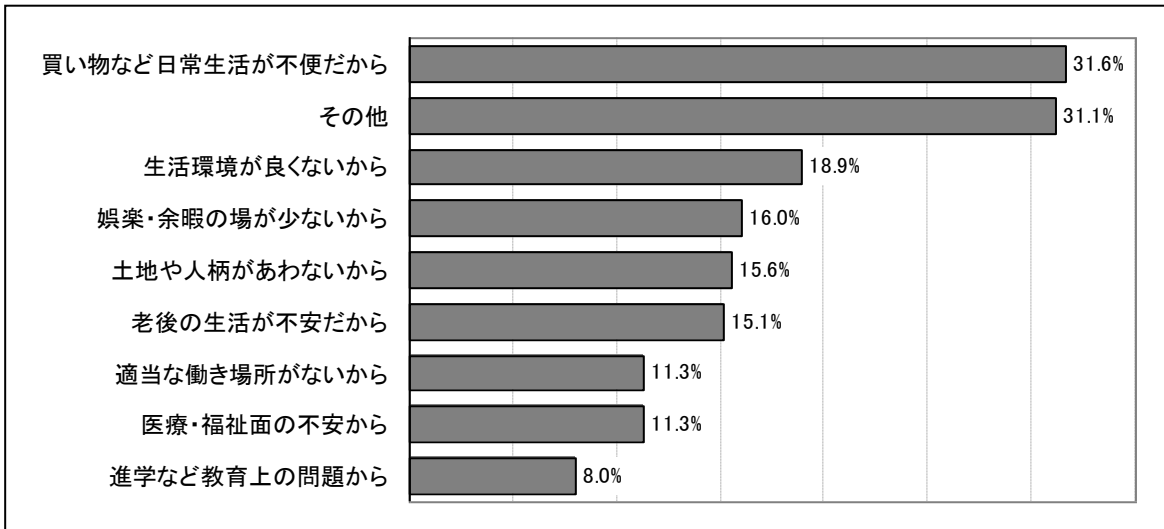
前問で“住みたくない”と回答した 165 人（全体の 16.0%）にその理由を聞いたところ、「その他」（29.7%）、「買い物など日常生活が不便だから」・「老後の生活が不安だから」（同率 25.5%）、「適当な働き場所がないから」・「医療・福祉面の不安から」（同率 15.8%）、「娯楽・余暇の場が少ないから」（15.2%）、「生活環境が良くないから」・「土地や人柄があわないから」（同率 13.9%）、「進学など教育上の問題から」（10.3%）の順となっています。

なお、「その他」の理由の内訳としては、“降雪の少ない地域で生活したい”、“公共交通機関が不便”、“もっと自然の多いところに行きたい”、“神社、地域自治の出労が多すぎる”、“車が運転できなくなったとき通院に困る”などがあります。

前回との比較では、「買い物など日常生活が不便だから」が低くなり、「老後の生活が不安だから」が高くなっています。



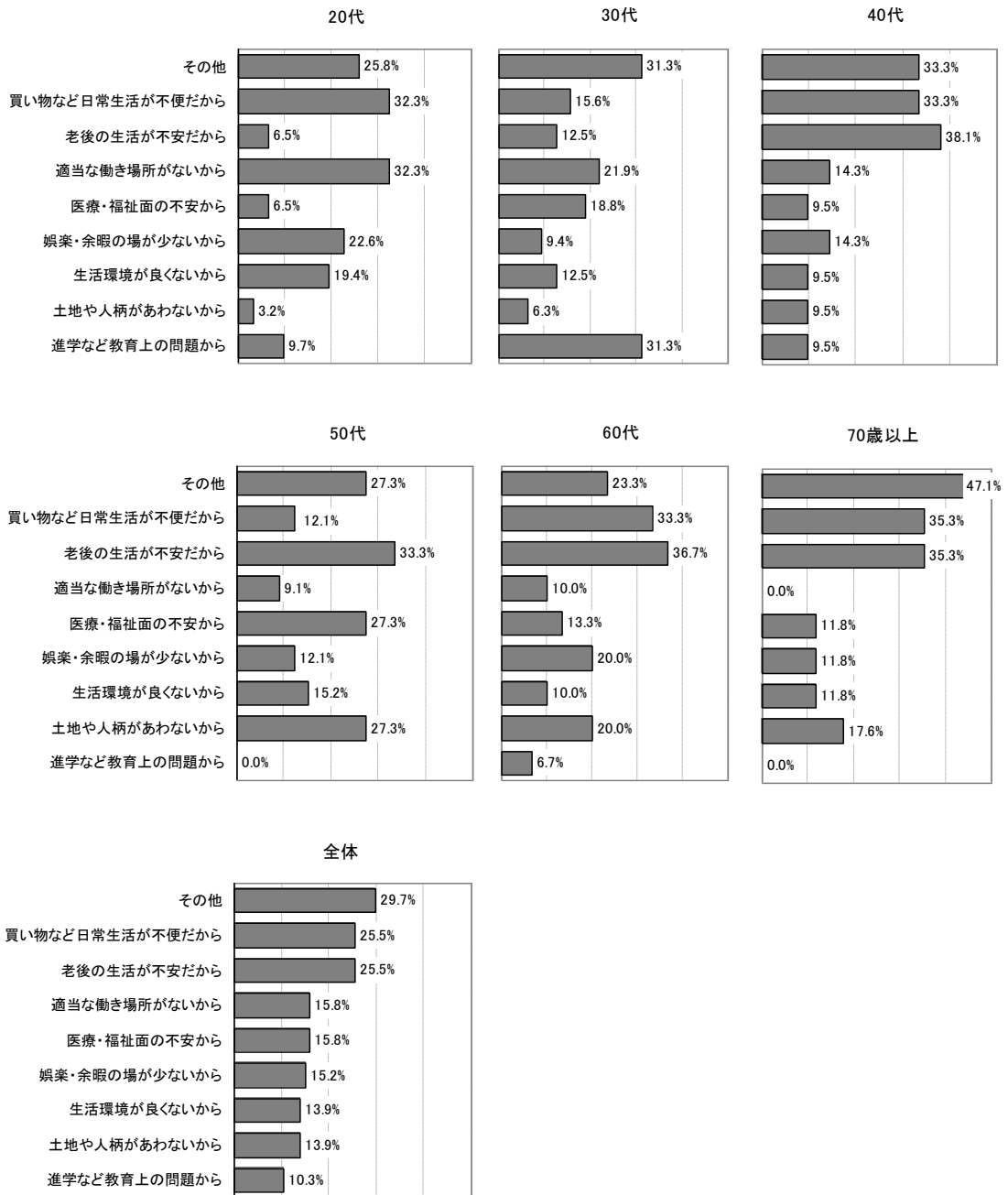
平成 18 年度調査



<属性別傾向>

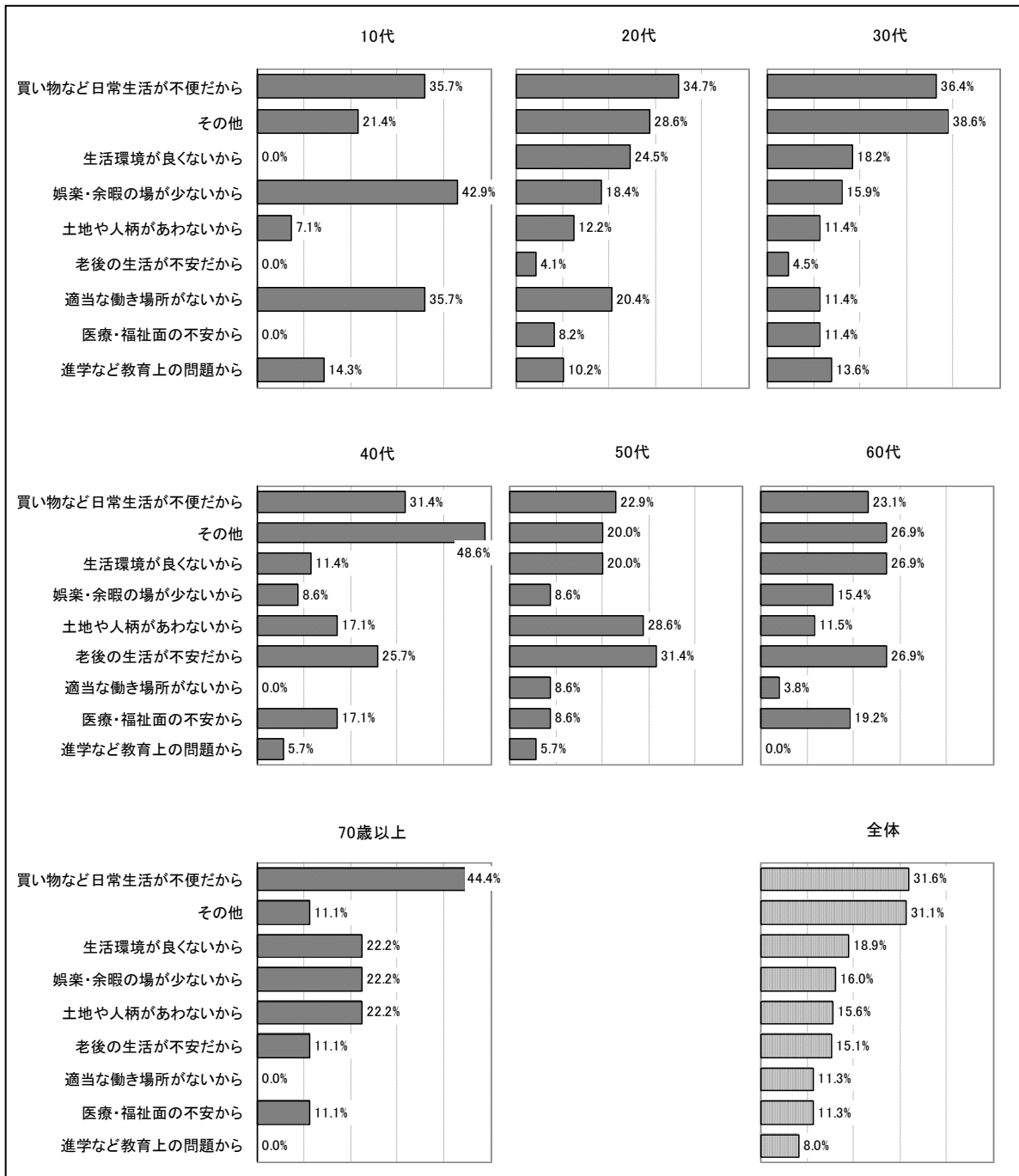
○ 年齢別集計

転居希望理由を年齢別にみると、どの年齢層においても「買い物など日常生活が不便だから」が多いのですが、30・50代では低くなっています。また、40代以上で「老後の生活が不安だから」が高くなっています。なお、20代では、「適当な働き場所がないから」が高いのが特徴的です。



※10代には“住みたくない”という回答がなかった。

平成 18 年度調査



(4) 自宅まわりの満足度

問9. あなたのお宅のまわりのさまざまな面について、どれくらい満足されていますか。



- 「川の水や空気がきれいなこと」、「住民検診などの保健事業」、「小・中学校の整備状況」等の評価が高く、すべての項目で満足度は向上している。

アンケートの回答数に基づき、自宅のまわりの様々な面についての満足度を算出すると、満足度の高い項目として「川の水や空気がきれいなこと」(1.12)、「住民検診などの保健事業」(0.92)、「小・中学校の整備状況」(0.83)、「ごみ・し尿の収集状況」(0.79)、「保育園・幼稚園の整備状況」(0.65)があり、自然や教育施設、保健・衛生に係る事項が評価されています。

一方、不満の多い項目として「鉄道・バスなど公共交通機関」(-0.47)、「夜道の安全さなどの防犯」(-0.26)、「公園や子どもの遊び場」(-0.15)、「はえ・蚊・雑草などの除去状況」(-0.06)、「道路事情や道路の整備状況」(0.09)があり、交通・環境・都市基盤、防犯に係る事項の不満が多くなっています。

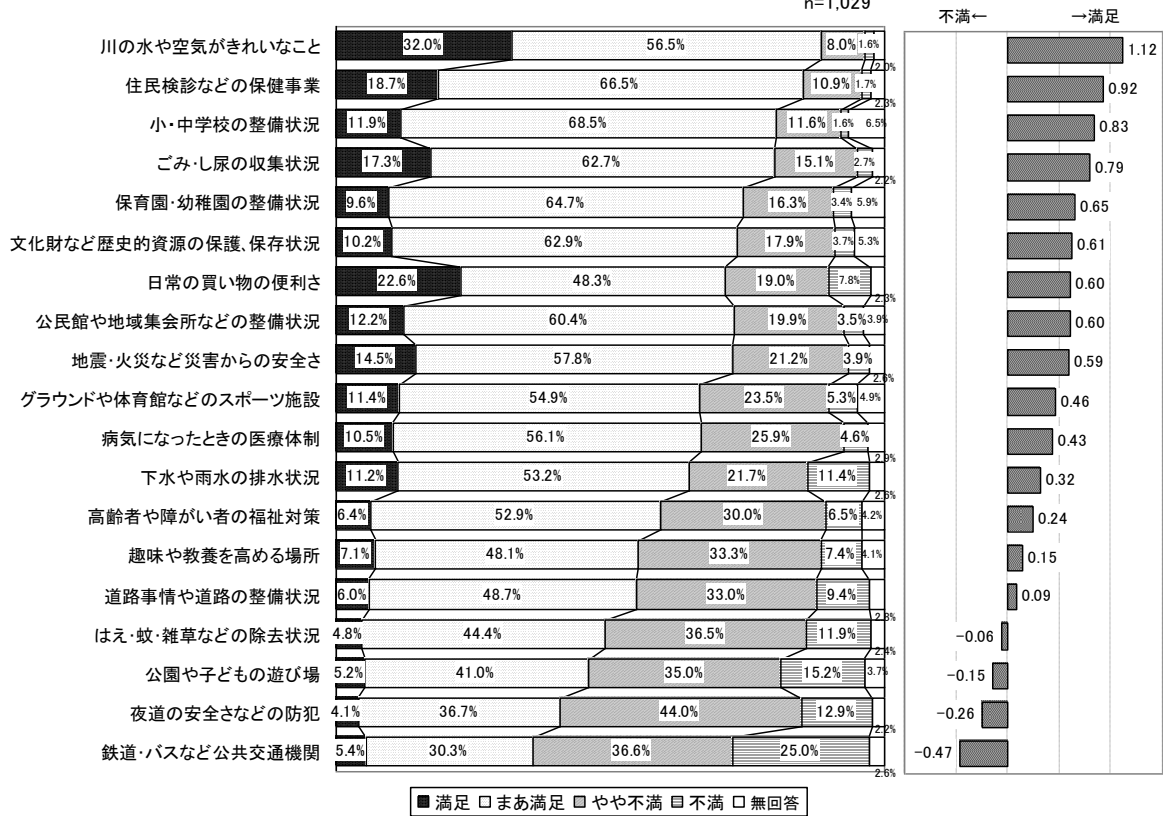
先回調査と比較すると、すべての項目で満足度が向上しています。

満足度の高い5項目		不満の多い5項目	
川の水や空気がきれいなこと	1.12	鉄道・バスなど公共交通機関	-0.47
住民検診などの保健事業	0.92	夜道の安全さなどの防犯	-0.26
小・中学校の整備状況	0.83	公園や子どもの遊び場	-0.15
ごみ・し尿の収集状況	0.79	はえ・蚊・雑草などの除去状況	-0.06
保育園・幼稚園の整備状況	0.65	道路事情や道路の整備状況	0.09

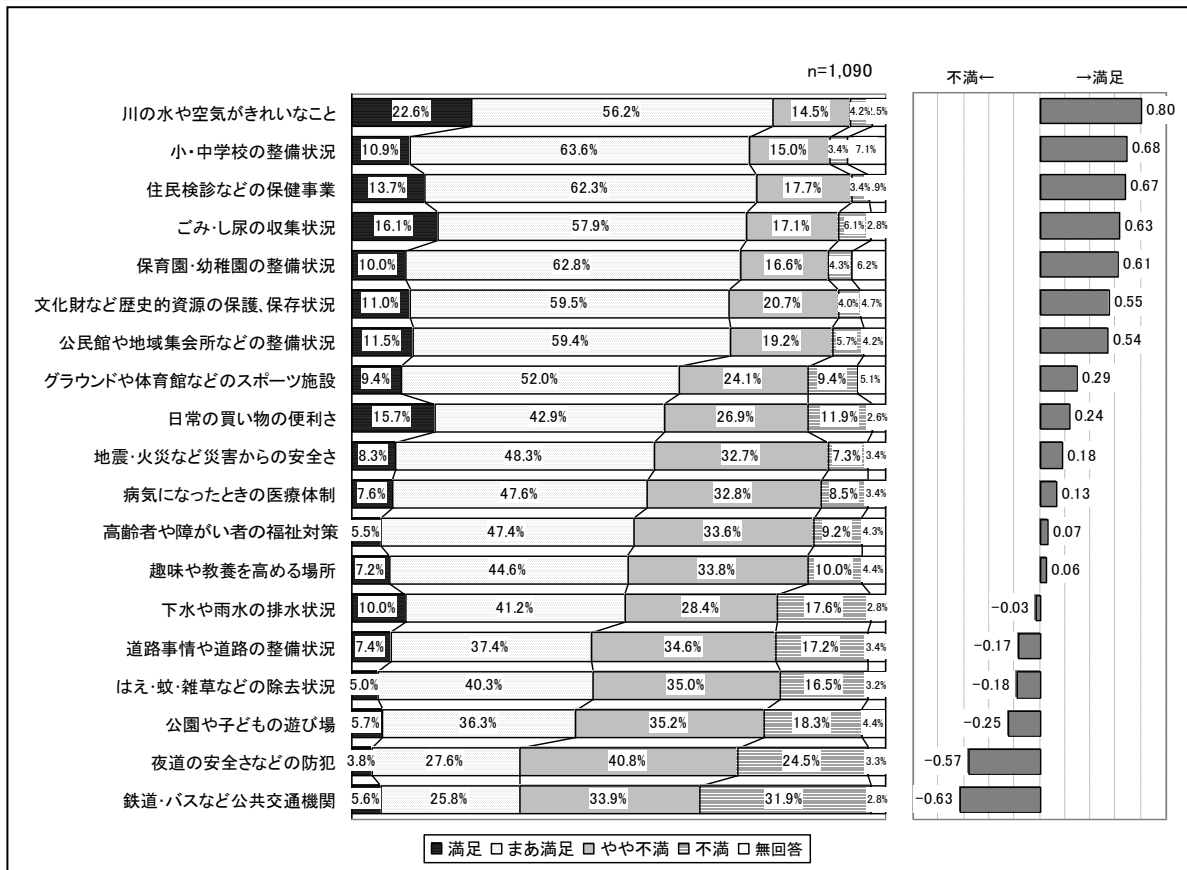
*満足度＝満足:+2点、まあ満足:+1点、やや不満:-1点、不満:-2点として各項目の加重平均を算出

問9 自宅まわりの満足度（全体）

n=1,029



平成 18 年度調査



○ 男女別集計

自宅まわりの満足度を男女別にみると、上位4位は一致しており、大きな差異はありませんが、男性では「日常の買い物の便利さ」が、女性では「文化財など歴史的資源の保護、保存状況」が第5位となっています。

一方、不満についての項目は、男女とも「鉄道・バスなど公共交通機関」が第1位であり、男性の第2位には「公園や子どもの遊び場」、女性の第2位には「夜道の安全さなどの防犯」あがっています。

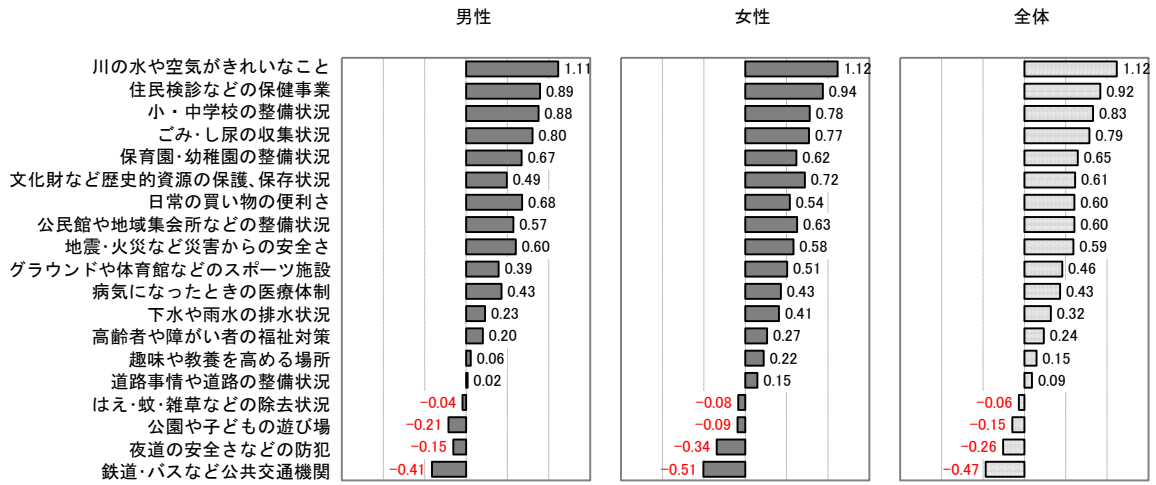
自宅まわりの満足度－男女別上位5項目

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性	川の水や空気がきれいなこと	住民検診などの保健事業	小・中学校の整備状況	ごみ・し尿の収集状況	日常の買い物の便利さ
女性	川の水や空気がきれいなこと	住民検診などの保健事業	小・中学校の整備状況	ごみ・し尿の収集状況	文化財など歴史的資源の保護、保存状況

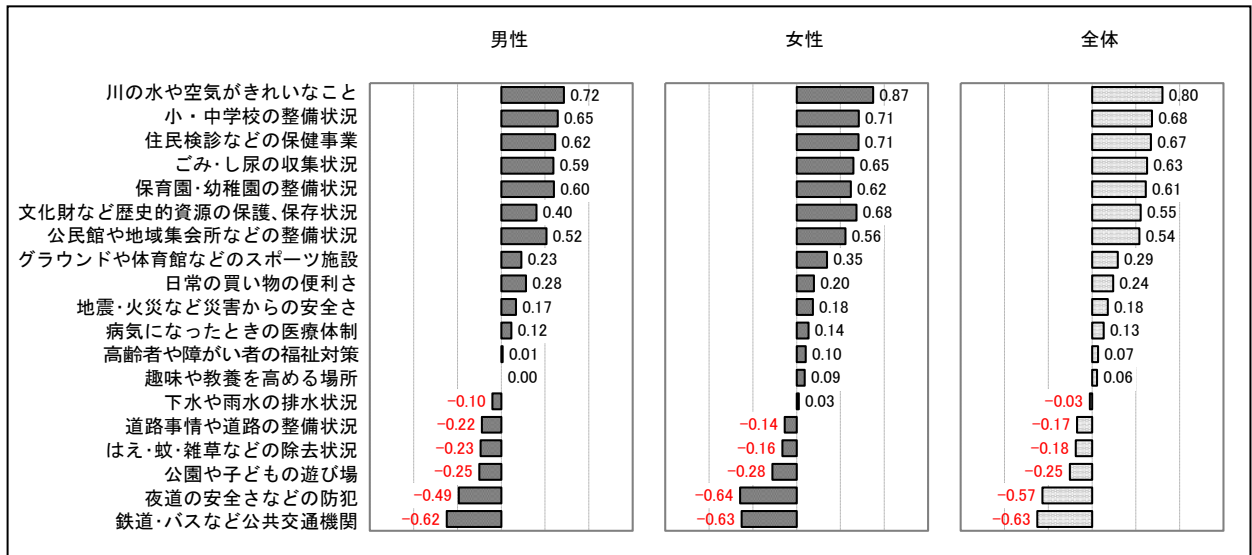
自宅まわりの不満度－男女別下位5項目

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性	鉄道・バスなど公共交通機関	公園や子どもの遊び場	夜道の安全さなどの防犯	はえ・蚊・雑草などの除去状況	道路事情や道路の整備状況
女性	鉄道・バスなど公共交通機関	夜道の安全さなどの防犯	公園や子どもの遊び場	はえ・蚊・雑草などの除去状況	道路事情や道路の整備状況

問9. 自宅まわりの満足度－男女別



平成 18 年度調査



○ 年齢別集計

自宅まわりの満足度を年齢別にみると、10代では「文化財など歴史的資源の保護、保存状況」、20～60代では「川の水や空気がきれいなこと」、70歳以上では「住民検診などの保健事業」がそれぞれ第1位となっています。

一方、不満度をみると、ほとんどの年代層で「鉄道・バスなど公共交通機関」が第1位となっており、この傾向は前回調査と変わりません。

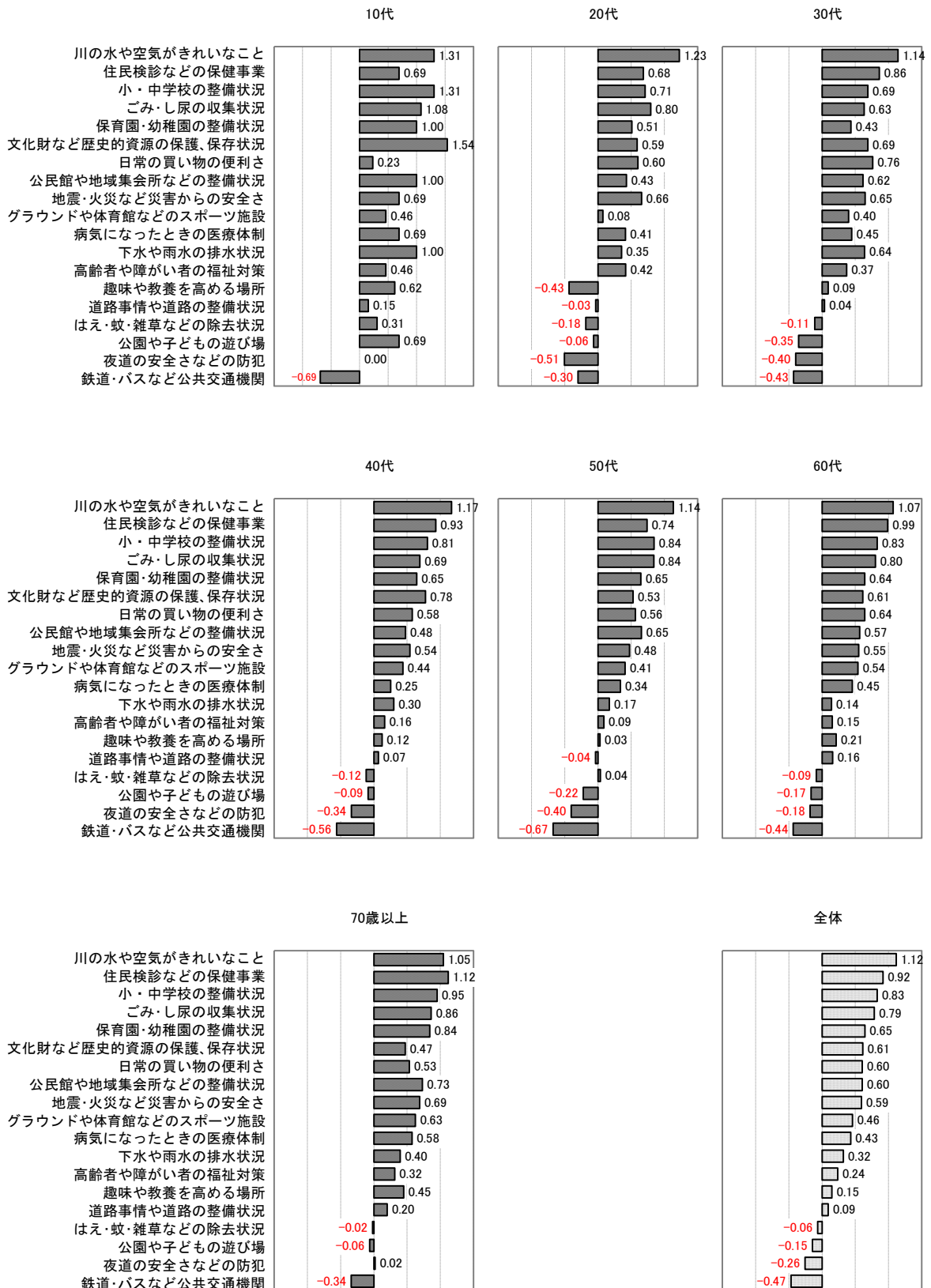
自宅まわりの満足度－年齢別上位5項目

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
10代	文化財など歴史的資源の保護、保存状況	川の水や空気がきれいなこと		ごみ・し尿の収集状況	保育園・幼稚園の整備状況
		小・中学校の整備状況			公民館や地域集会所などの整備状況
20代	川の水や空気がきれいなこと	ごみ・し尿の収集状況	小・中学校の整備状況	住民検診などの保健事業	下水や雨水の排水状況
					地震・火災など災害からの安全性
30代	川の水や空気がきれいなこと	住民検診などの保健事業	日常の買い物の便利さ	小・中学校の整備状況	
				文化財など歴史的資源の保護、保存状況	
40代	川の水や空気がきれいなこと	住民検診などの保健事業	小・中学校の整備状況	文化財など歴史的資源の保護、保存状況	ごみ・し尿の収集状況
				小・中学校の整備状況	
50代	川の水や空気がきれいなこと	小・中学校の整備状況		住民検診などの保健事業	公民館や地域集会所などの整備状況
		ごみ・し尿の収集状況			保育園・幼稚園の整備状況
60代	川の水や空気がきれいなこと	住民検診などの保健事業	小・中学校の整備状況	ごみ・し尿の収集状況	保育園・幼稚園の整備状況
					日常の買い物の便利さ
70歳以上	住民検診などの保健事業	川の水や空気がきれいなこと	小・中学校の整備状況	ごみ・し尿の収集状況	保育園・幼稚園の整備状況

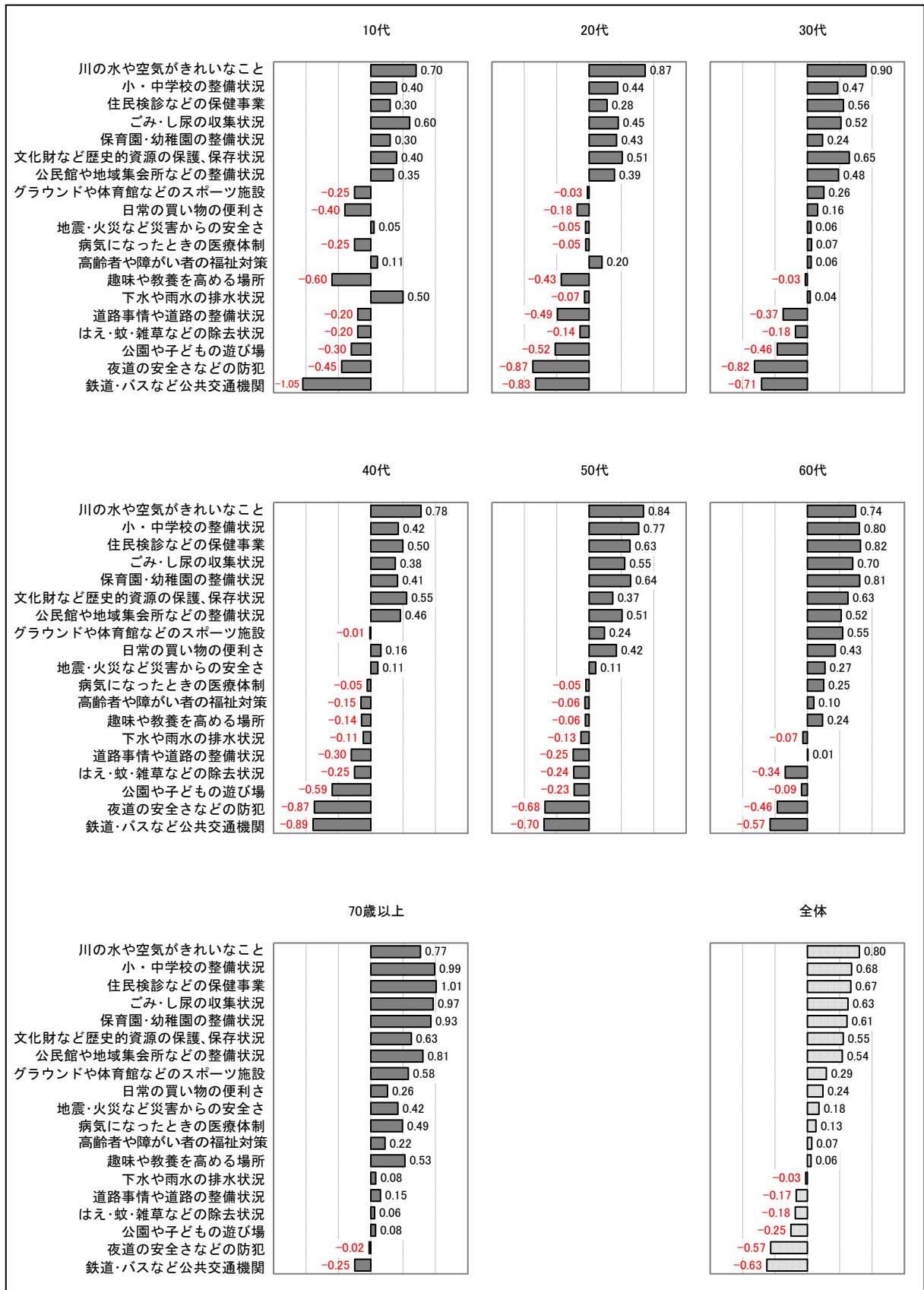
自宅まわりの不満度－年齢別下位5項目

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
10代	鉄道・バスなど公共交通機関	夜道の安全さなどの防犯	道路事情や道路の整備状況	日常の買い物の便利さ	はえ・蚊・雑草などの除去状況
20代	夜道の安全さなどの防犯	趣味や教養を高める場所	鉄道・バスなど公共交通機関	はえ・蚊・雑草などの除去状況	公園や子どもの遊び場
30代	鉄道・バスなど公共交通機関	夜道の安全さなどの防犯	公園や子どもの遊び場	はえ・蚊・雑草などの除去状況	道路事情や道路の整備状況
40代	鉄道・バスなど公共交通機関	夜道の安全さなどの防犯	はえ・蚊・雑草などの除去状況	公園や子どもの遊び場	道路事情や道路の整備状況
50代	鉄道・バスなど公共交通機関	夜道の安全さなどの防犯	公園や子どもの遊び場	道路事情や道路の整備状況	趣味や教養を高める場所
60代	鉄道・バスなど公共交通機関	夜道の安全さなどの防犯	公園や子どもの遊び場	はえ・蚊・雑草などの除去状況	下水や雨水の排水状況
70歳以上	鉄道・バスなど公共交通機関	公園や子どもの遊び場	はえ・蚊・雑草などの除去状況	夜道の安全さなどの防犯	道路事情や道路の整備状況

問9. 自宅まわりの満足度一年齢別



平成 18 年度調査



○ 地区別集計

自宅まわりの満足度を地区別にみると、垂井、宮代、栗原、府中、岩手で「川の水や空気がきれいなこと」が第1位であり、表佐、栗原で「住民検診などの保健事業」が第1位となっていますが、どの地区もこの2つは上位となっています。

一方、不満度では、東で「公園や子どもの遊び場」、宮代で「夜道の安全さなどの防犯」が第1位にあがってきています。

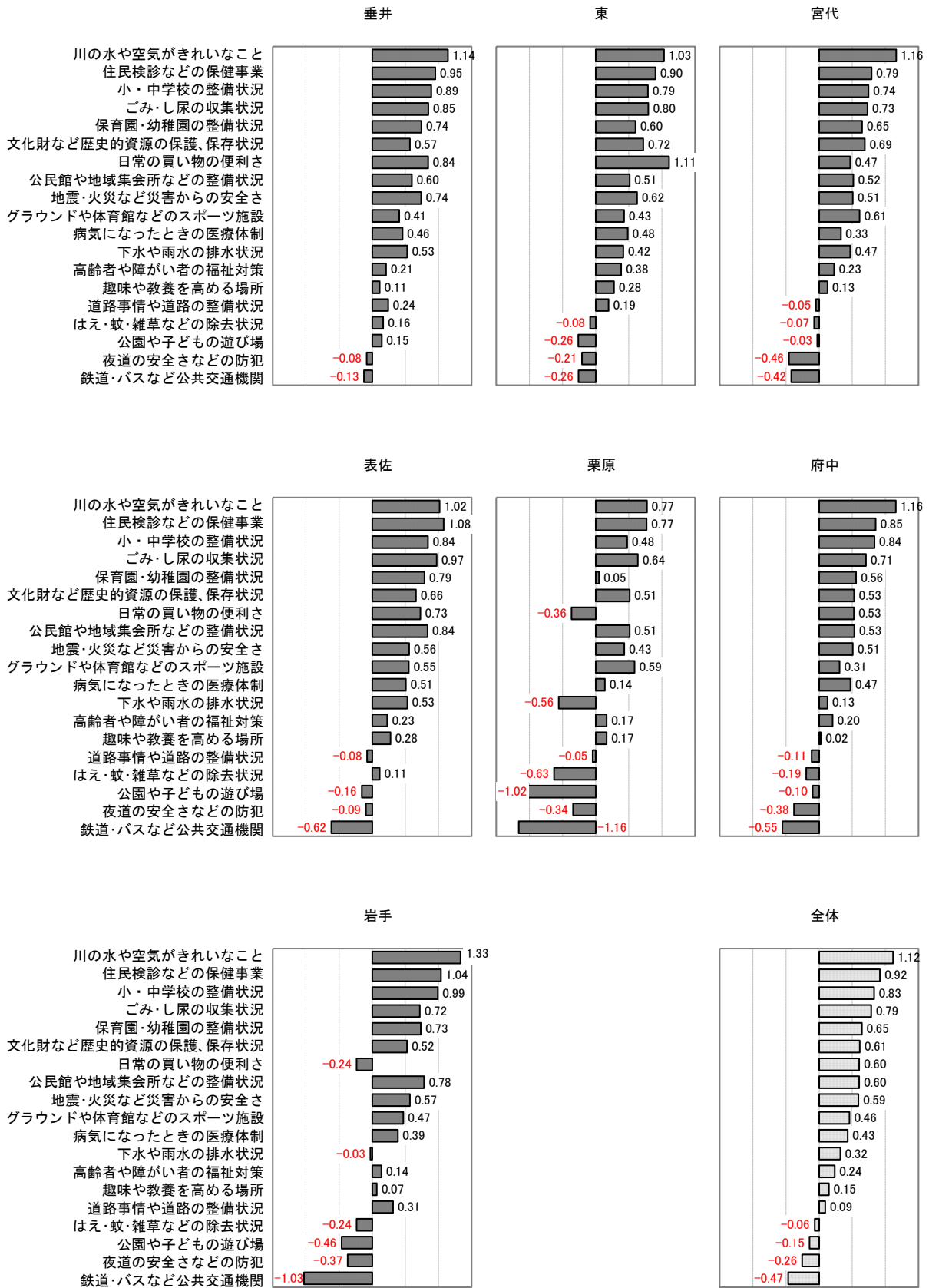
自宅まわりの満足度－地区別上位5項目

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
垂井	川の水や空気がきれいなこと	住民検診などの保健事業	小・中学校の整備状況	ごみ・し尿の収集状況	日常の買い物の便利さ
東	日常の買い物の便利さ	川の水や空気がきれいなこと	住民検診などの保健事業	ごみ・し尿の収集状況	小・中学校の整備状況
宮代	川の水や空気がきれいなこと	住民検診などの保健事業	小・中学校の整備状況	ごみ・し尿の収集状況	文化財など歴史的資源の保護、保存状況
表佐	住民検診などの保健事業	川の水や空気がきれいなこと	ごみ・し尿の収集状況	小・中学校の整備状況 公民館や地域集会所などの整備状況	
栗原	川の水や空気がきれいなこと		ごみ・し尿の収集状況	グラウンドや体育館などのスポーツ施設	文化財など歴史的資源の保護、保存状況
	住民検診などの保健事業				公民館や地域集会所などの整備状況
府中	川の水や空気がきれいなこと	住民検診などの保健事業	小・中学校の整備状況	ごみ・し尿の収集状況	保育園・幼稚園の整備状況
岩手	川の水や空気がきれいなこと	住民検診などの保健事業	小・中学校の整備状況	公民館や地域集会所などの整備状況	保育園・幼稚園の整備状況

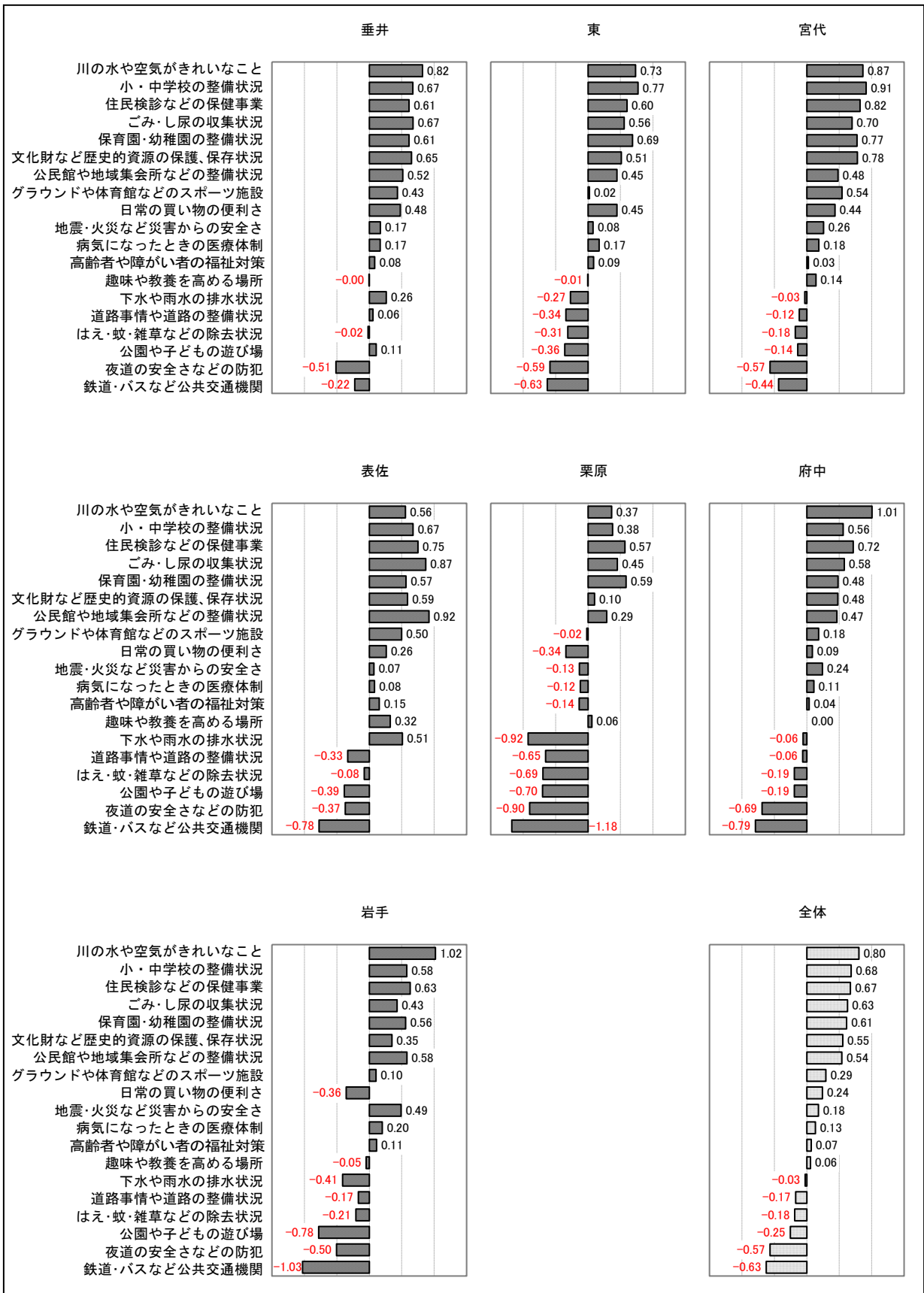
自宅まわりの不満度－地区別下位5項目

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
垂井	鉄道・バスなど公共交通機関	夜道の安全さなどの防犯	趣味や教養を高める場所	公園や子どもの遊び場	はえ・蚊・雑草などの除去状況
東	公園や子どもの遊び場		夜道の安全さなどの防犯	はえ・蚊・雑草などの除去状況	道路事情や道路の整備状況
	鉄道・バスなど公共交通機関				
宮代	夜道の安全さなどの防犯	鉄道・バスなど公共交通機関	はえ・蚊・雑草などの除去状況	道路事情や道路の整備状況	公園や子どもの遊び場
表佐	鉄道・バスなど公共交通機関	公園や子どもの遊び場	夜道の安全さなどの防犯	道路事情や道路の整備状況	はえ・蚊・雑草などの除去状況
栗原	鉄道・バスなど公共交通機関	公園や子どもの遊び場	はえ・蚊・雑草などの除去状況	下水や雨水の排水状況	日常の買い物の便利さ
府中	鉄道・バスなど公共交通機関	夜道の安全さなどの防犯	はえ・蚊・雑草などの除去状況	道路事情や道路の整備状況	公園や子どもの遊び場
岩手	鉄道・バスなど公共交通機関	公園や子どもの遊び場	夜道の安全さなどの防犯	日常の買い物の便利さ	
				はえ・蚊・雑草などの除去状況	

問9. 自宅まわりの満足度－地区別



平成 18 年度調査



2 まちの将来像について

(1) 「将来のまちの姿」への取り組み

(注：この設問ではいくつかの項目を前回調査に加えたり、分野を移動しているため、単純な比較では見方に注意を要する。)

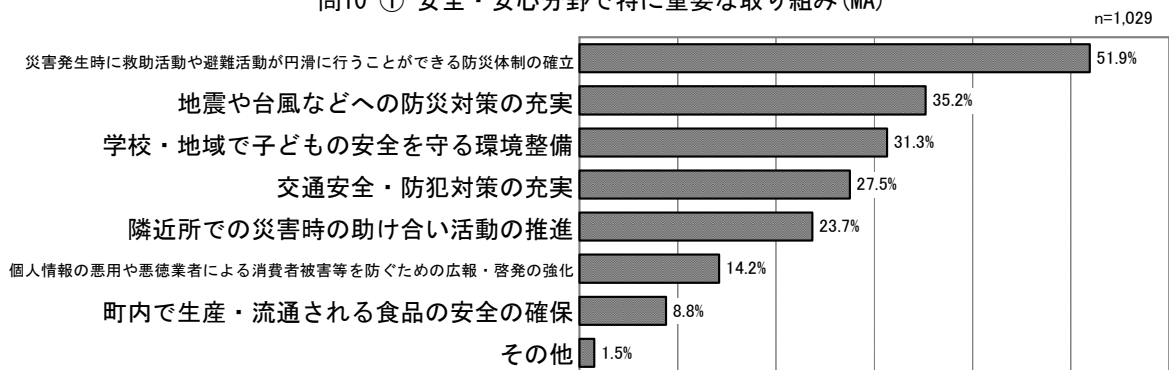
① 「安全・安心」分野への取り組み

- 「災害発生時に救助活動や避難活動が円滑に行うことができる防災体制の確立」はその率を大きく伸ばしている。

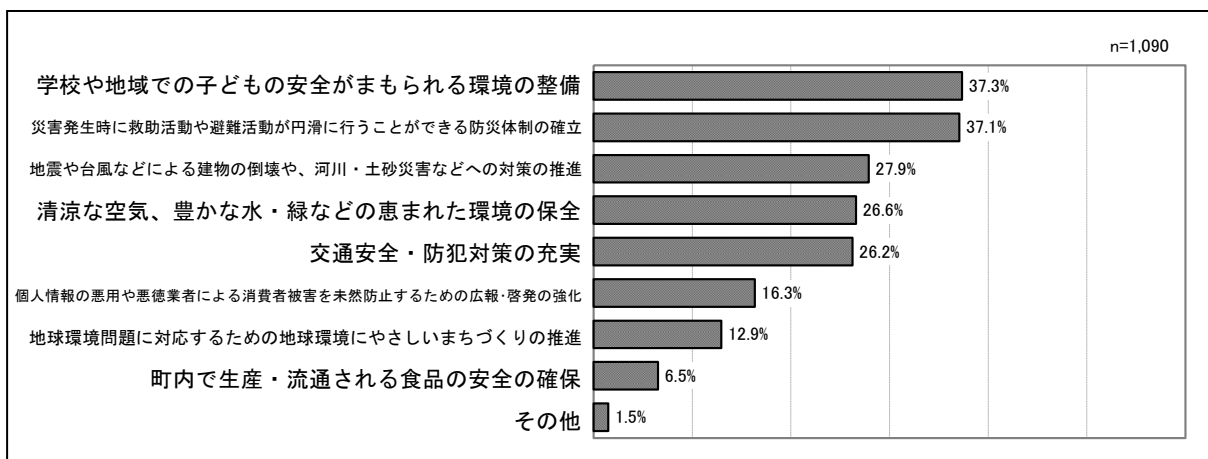
<全体の傾向>

「安全・安心」分野において特に重要と思われる取り組みについては、「災害発生時に救助活動や避難活動が円滑に行うことができる防災体制の確立」(51.9%)、「地震や台風などへの防災対策の充実」(35.2%)、「学校・地域で子どもの安全を守る環境整備」(31.3%)、「交通安全・防犯対策の充実」(27.5%)、「隣近所での災害時の助け合い活動の推進」(23.7%)、「個人情報の悪用や悪徳業者による消費者被害等を防ぐための広報・啓発の強化」(14.2%)、「町内で生産・流通される食品の安全の確保」(8.8%)の順となっています。前回調査と比較すると、「災害発生時に救助活動や避難活動が円滑に行うことができる防災体制の確立」と「地震や台風などへの防災対策の充実」が高くなっており、とりわけ第1位はその率を大きく伸ばしていますが、東日本大震災を経験したことがその要因と考えられます。

問10 ① 安全・安心分野で特に重要な取り組み(MA)



平成 18 年度調査



② 「教育・生涯学習・文化」分野への取り組み

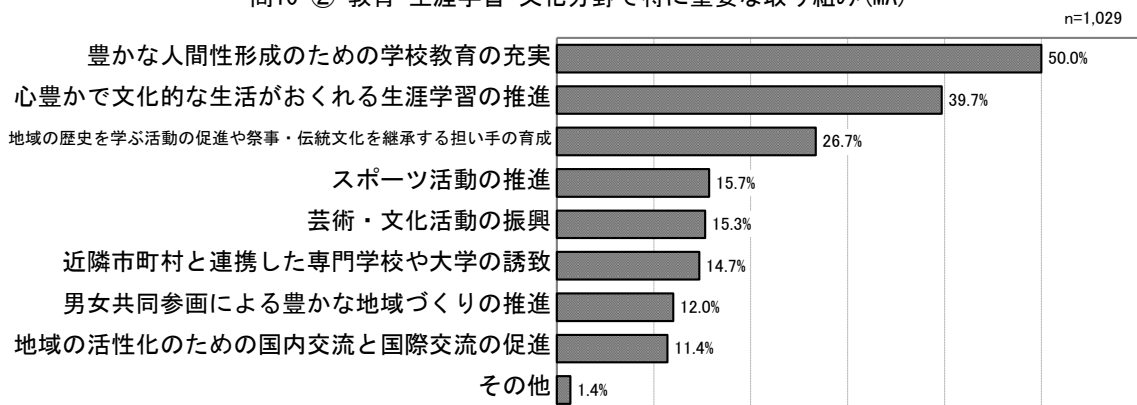
● 「豊かな人間性形成のための学校教育の充実」が第1位。

<全体の傾向>

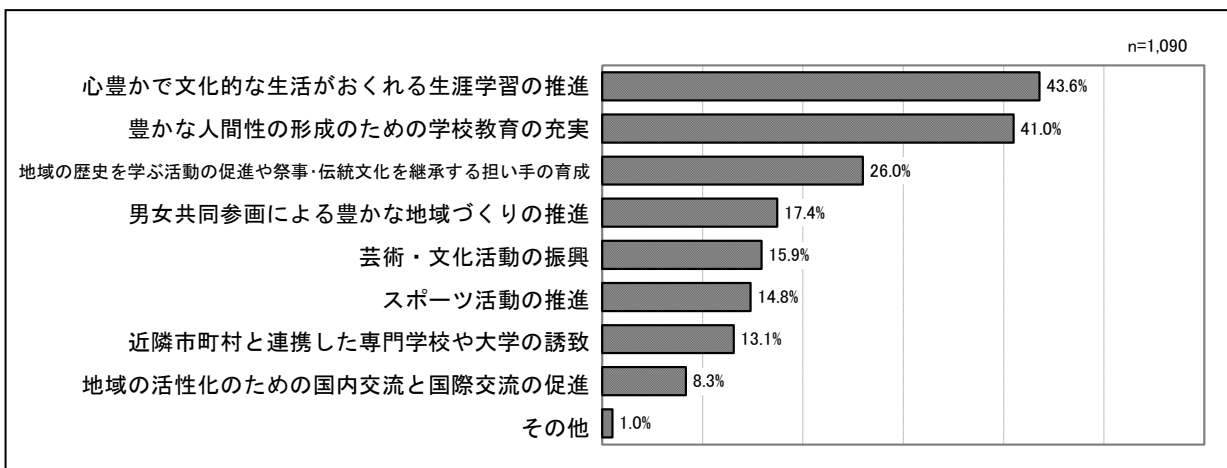
「教育・生涯学習・文化」分野において特に重要と思われる取り組みについては、「豊かな人間性形成のための学校教育の充実」(50.0%)、「心豊かで文化的な生活がおくれる生涯学習の推進」(39.7%)、「地域の歴史を学ぶ活動の促進や祭事・伝統文化を継承する担い手の育成」(26.7%)、「スポーツ活動の推進」(15.7%)、「芸術・文化活動の振興」(15.3%)、「近隣市町村と連携した専門学校や大学の誘致」(14.7%)、「男女共同参画による豊かな地域づくりの推進」(12.0%)、「地域の活性化のための国内交流と国際交流の促進」(11.4%)の順となっています。

前回調査と比較すると、「豊かな人間性形成のための学校教育の充実」が特にその率を伸ばしていますが、教育におけるいじめなどの人権問題に関心が高まっていると考えられます。

問10 ② 教育・生涯学習・文化分野で特に重要な取り組み(MA)



平成18年度調査



③ 「子育て・健康・福祉」分野への取り組み

● 「高齢者福祉」、「子育て環境づくり」が上位。

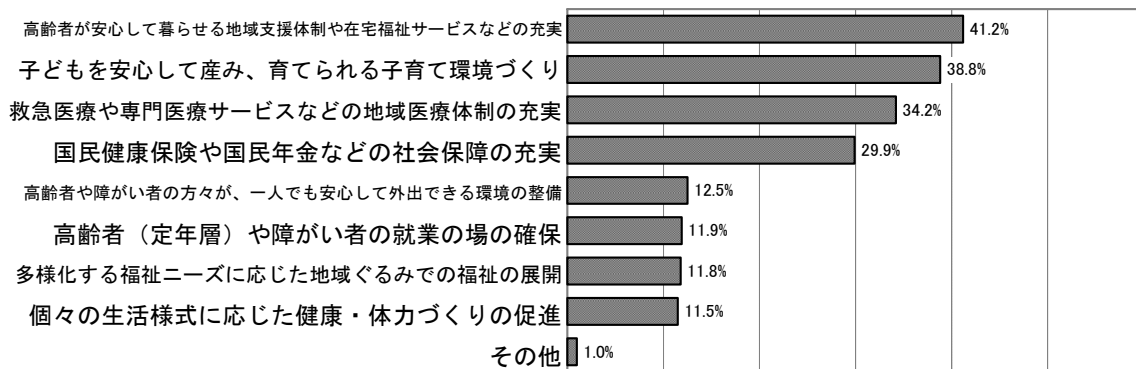
<全体の傾向>

「子育て・健康・福祉」分野において特に重要と思われる取り組みについては、「高齢者が安心して暮らせる地域支援体制や在宅福祉サービスなどの充実」(41.2%)、「子どもを安心して産み、育てられる子育て環境づくり」(38.8%)、「救急医療や専門医療サービスなどの地域医療体制の充実」(34.2%)、「国民健康保険や国民年金などの社会保障の充実」(29.9%)、「高齢者や障がい者の方々が、一人でも安心して外出できる環境の整備」(12.5%)、「高齢者(定年層)や障がい者の就業の場の確保」(11.9%)、「多様化する福祉ニーズに応じた地域ぐるみでの福祉の展開」(11.8%)、「個々の生活様式に応じた健康・体力づくりの促進」(11.5%)の順となっています。

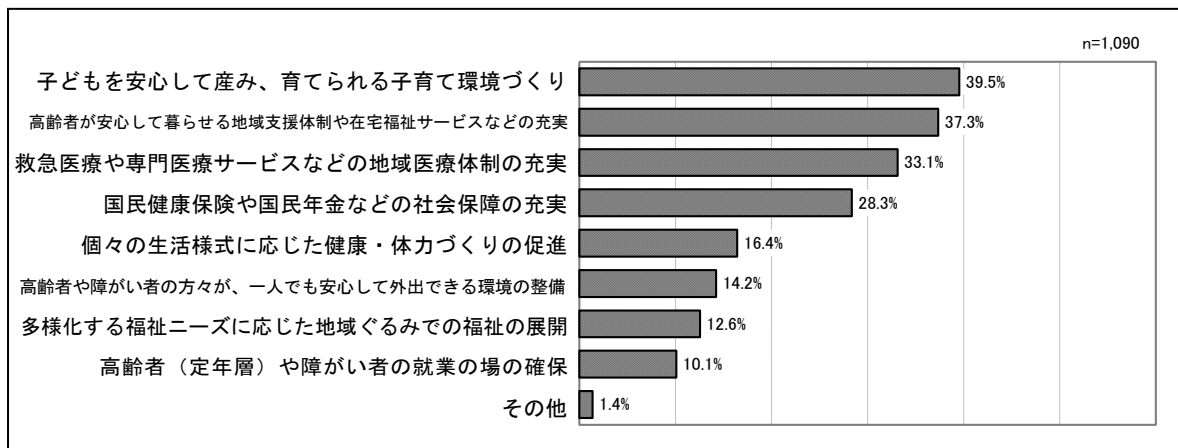
「高齢者福祉」、「子育て環境づくり」についてはやはり関心が高いものと推測されます。

問10 ③ 子育て・健康・福祉分野で特に重要な取り組み(MA)

n=1,029



平成 18 年度調査



④ 「地域環境」分野への取り組み

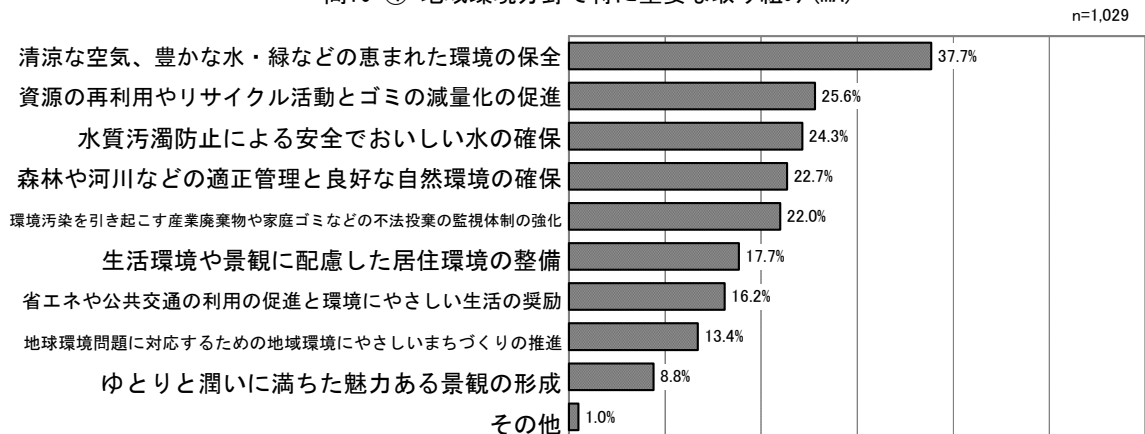
● 「清涼な空気、豊かな水・緑などの恵まれた環境の保全」が第1位。

<全体の傾向>

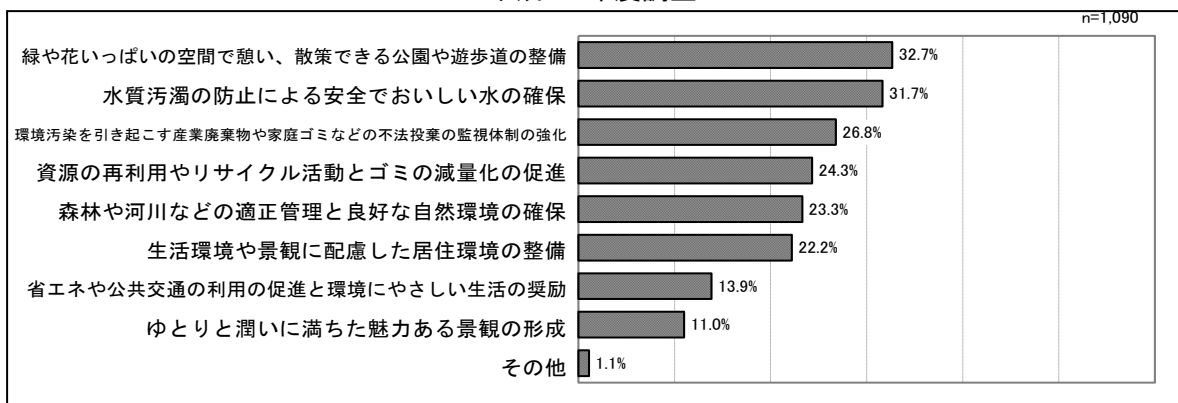
「地域環境」分野において特に重要と思われる取り組みについては、「清涼な空気、豊かな水・緑などの恵まれた環境の保全」(37.7%)、「資源の再利用やリサイクル活動とゴミの減量化の促進」(25.6%)、「水質汚濁の防止による安全でおいしい水の確保」(24.3%)、「森林や河川などの適正管理と良好な自然環境の確保」(22.7%)、「環境汚染を引き起こす産業廃棄物や家庭ゴミなどの不法投棄の監視体制の強化」(22.0%)、「生活環境や景観に配慮した居住環境の整備」(17.7%)、「省エネや公共交通の利用の促進と環境にやさしい生活の奨励」(16.2%)、「地球環境問題に対応するための地域環境にやさしいまちづくりの推進」(13.4%)、「ゆとりと潤いに満ちた魅力ある景観の形成」(8.8%)の順となっています。

「清涼な空気、豊かな水・緑などの恵まれた環境の保全」の率が高くなっているのは、「地球環境問題」への関心の高まりによるものと考えられます。

問10 ④ 地域環境分野で特に重要な取り組み(MA)



平成18年度調査



⑤ 「産業・交流」分野への取り組み

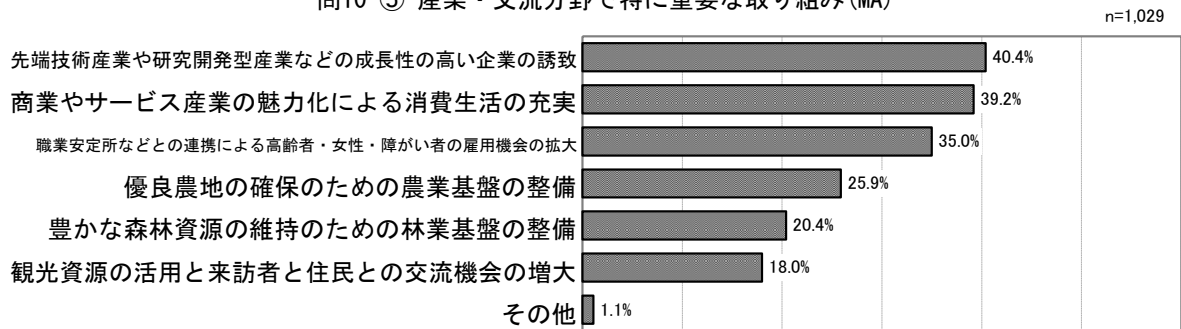
● 「先端技術産業や研究開発型産業などの成長性の高い企業の誘致」が第1位。

<全体の傾向>

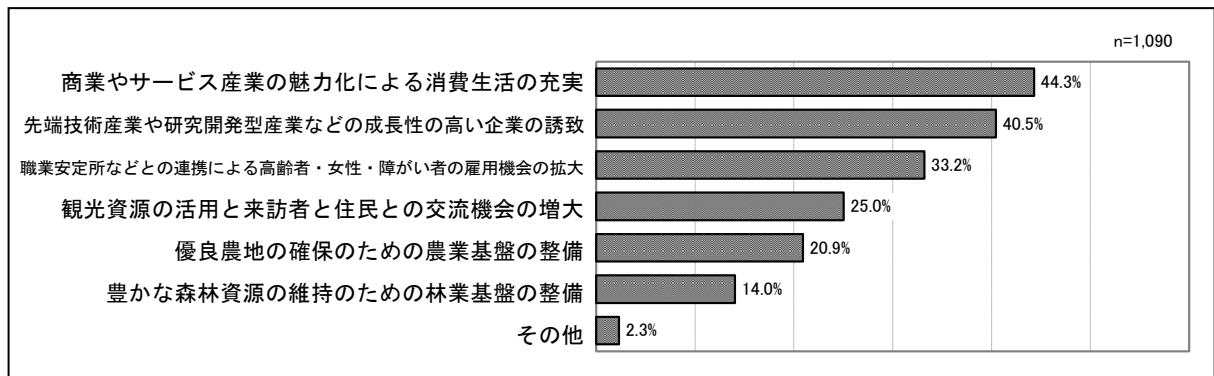
「産業・交流」分野において特に重要と思われる取り組みについては、「先端技術産業や研究開発型産業などの成長性の高い企業の誘致」(40.4%)、「商業やサービス産業の魅力化による消費生活の充実」(39.2%)、「職業安定所などとの連携による高齢者・女性・障がい者の雇用機会の拡大」(35.0%)、「優良農地の確保のための農業基盤の整備」(25.9%)、「豊かな森林資源の維持のための林業基盤の整備」(20.4%)、「観光資源の活用と来訪者と住民との交流機会の増大」(18.0%)の順となっています。

前回調査と比較して、「先端技術産業や研究開発型産業などの成長性の高い企業の誘致」が第1位にあがってきています。

問10 ⑤ 産業・交流分野で特に重要な取り組み(MA)



平成18年度調査



⑥ 「都市基盤」分野への取り組み

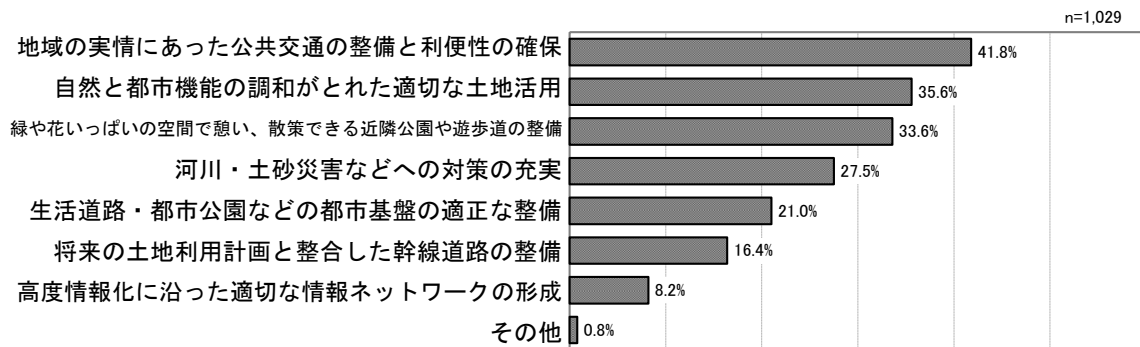
- 「地域の实情にあった公共交通の整備と利便性の確保」が第1位。

<全体の傾向>

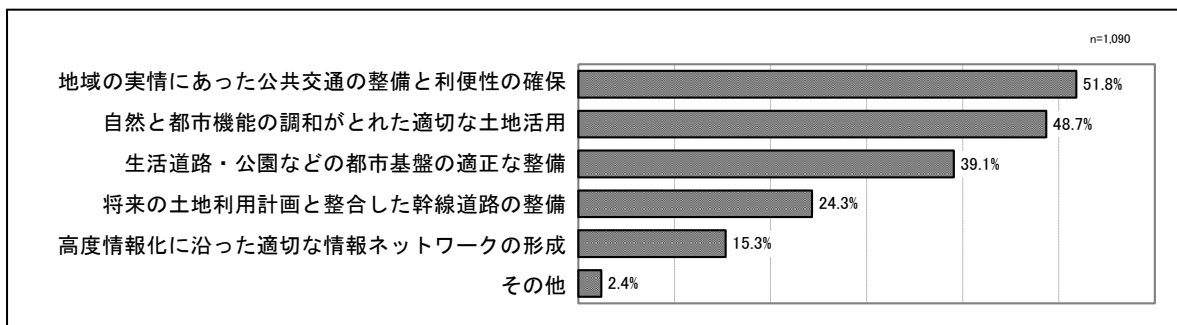
「都市基盤」分野において特に重要と思われる取り組みについては、「地域の实情にあった公共交通の整備と利便性の確保」(41.8%)、「自然と都市機能の調和がとれた適切な土地活用」(35.6%)、「緑や花いっぱいの空間で憩い、散策できる近隣公園や遊歩道の整備」(33.6%)、「河川・土砂災害などへの対策の充実」(27.5%)、「生活道路・都市公園などの都市基盤の適正な整備」(21.0%)、「将来の土地利用計画と整合した幹線道路の整備」(16.4%)、「高度情報化に沿った適切な情報ネットワークの形成」(8.2%)の順となっています。

なお、「地域の实情にあった公共交通の整備と利便性の確保」は前回調査でも第1位となっています。

問10 ⑥ 都市基盤分野で特に重要な取り組み(MA)



平成18年度調査



⑦ 「協働・行財政運営」分野への取り組み

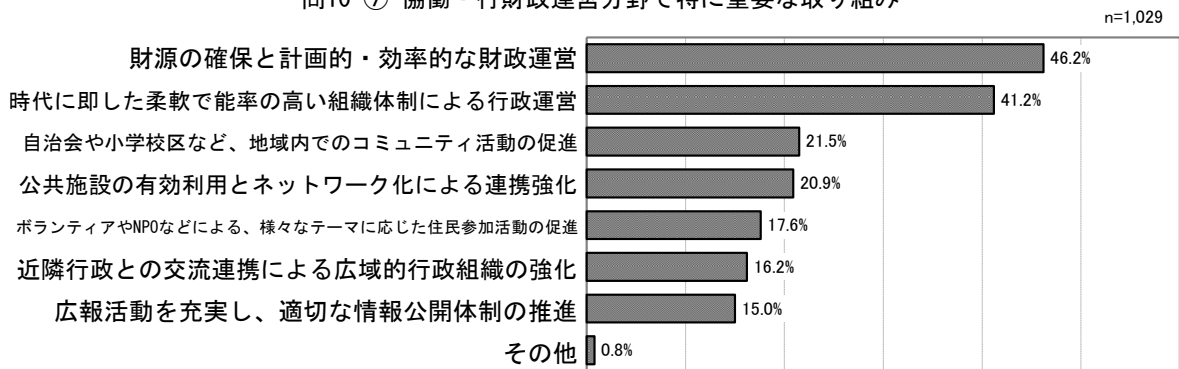
● 「財源の確保と計画的・効率的な財政運営」がその率を大きくのばす。

<全体の傾向>

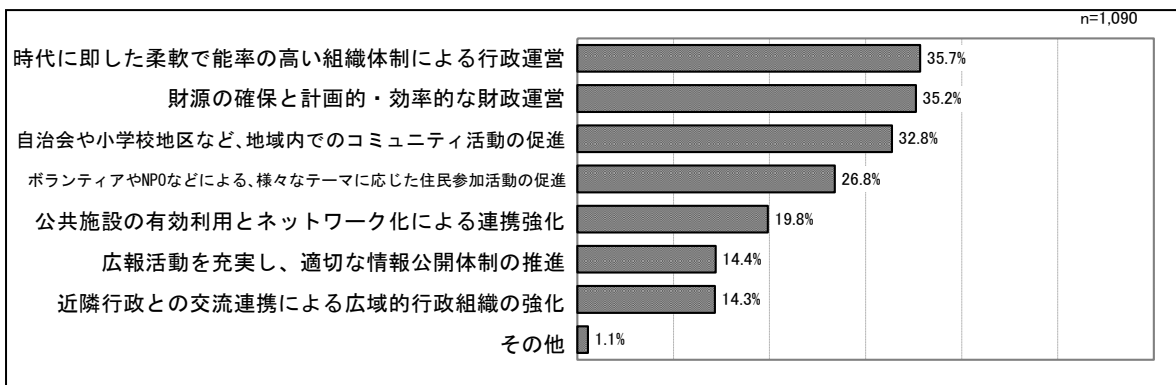
「協働・行財政運営」分野において特に重要と思われる取り組みについては、「財源の確保と計画的・効率的な財政運営」(46.2%)、「時代に即した柔軟で能率の高い組織体制による行政運営」(41.2%)、「自治会や小学校区など、地域内でのコミュニティ活動の促進」(21.5%)、「公共施設の有効利用とネットワーク化による連携強化」(20.9%)、「ボランティアやNPOなどによる、様々なテーマに応じた住民参加活動の促進」(17.6%)、「近隣行政との交流連携による広域的行政組織の強化」(16.2%)、「広報活動を充実し、適切な情報公開体制の推進」(15.0%)の順となっています。

前回調査と比較して、「財源の確保と計画的・効率的な財政運営」がその率を大きくのばしていますが、国家財政の窮迫と地方財政の厳しさについての関心の高まりを表していると考えられます。

問10 ⑦ 協働・行財政運営分野で特に重要な取り組み



平成 18 年度調査



(2) 将来の垂井町の姿

問11. 問10の①～⑦への回答結果を踏まえ、垂井町は将来どのようなまちになっていけばよいと思われますか。【複数回答】



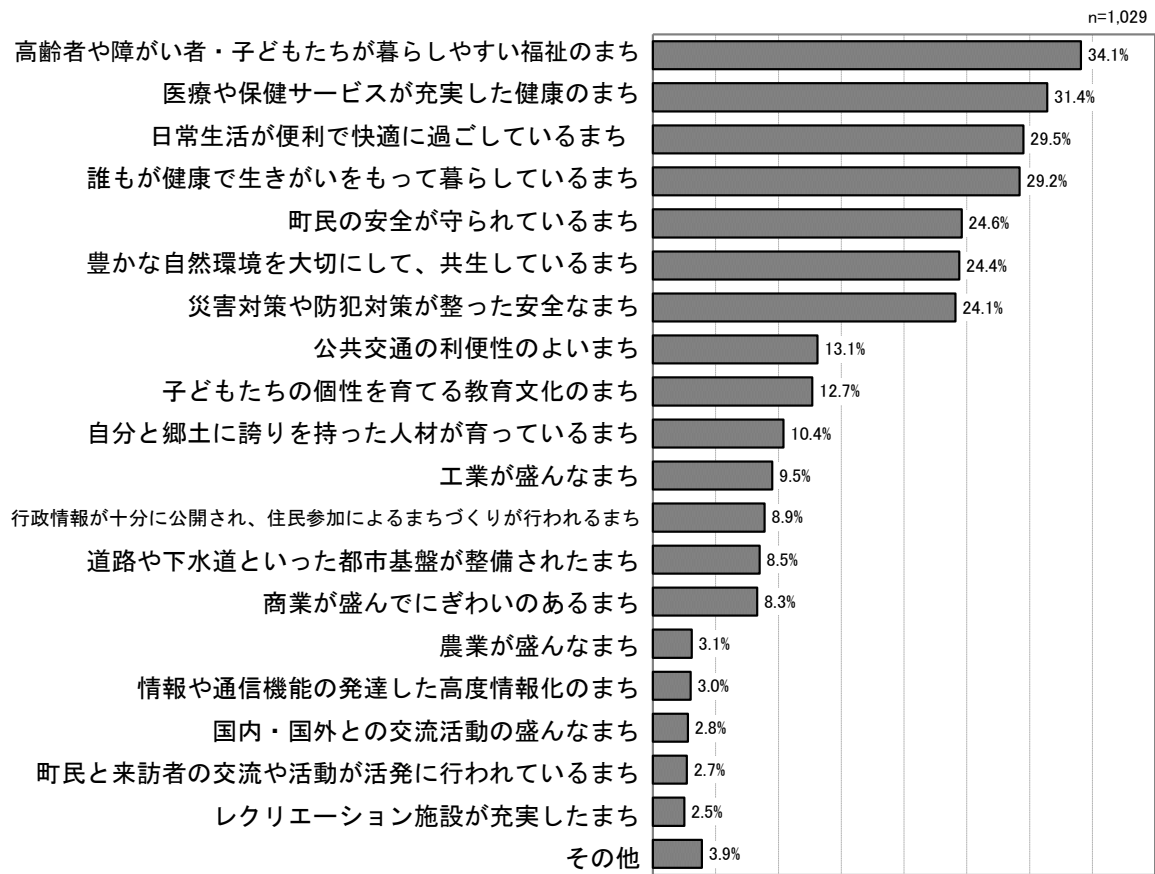
- **福祉、健康、快適・利便、生きがい、安全など上位5位はいくらかその率と順位は異なるものの、基本的なありようには変わりはない。**

<全体の傾向>

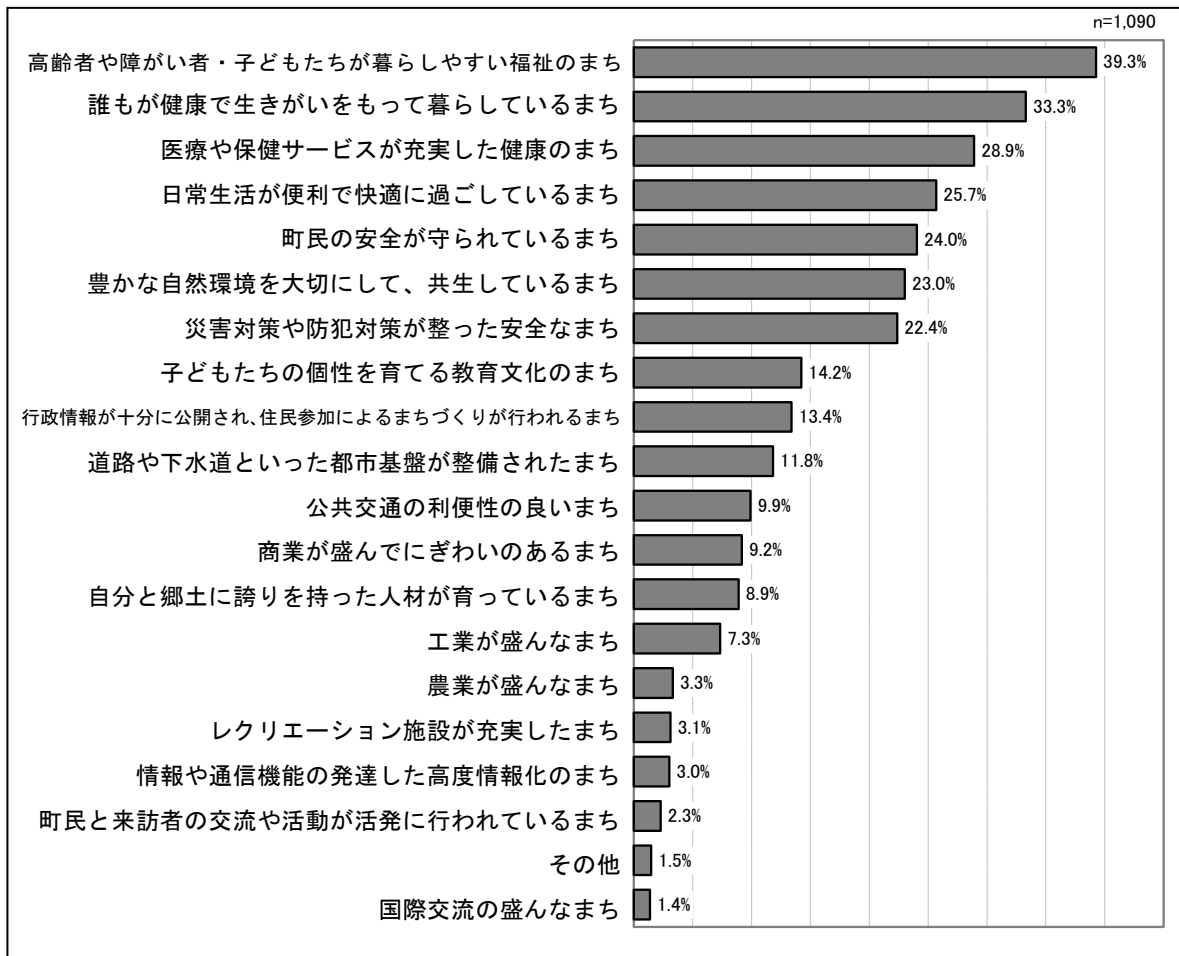
町民が望む将来の垂井町の姿としては、「高齢者や障がい者・子どもたちが暮らしやすい福祉のまち」(34.1%)、「医療や保健サービスが充実した健康のまち」(31.4%)、「日常生活が便利で快適に過ごしているまち」(29.5%)、「誰もが健康で生きがいをもって暮らしているまち」(29.2%)、「町民の安全が守られているまち」(24.6%)、「豊かな自然環境を大切にして、共生しているまち」(24.4%)、「災害対策や防犯対策が整った安全なまち」(24.1%)、「公共交通の利便性のよいまち」(13.1%)、「子どもたちの個性を育てる教育文化のまち」(12.7%)、「自分と郷土に誇りを持った人材が育っているまち」(10.4%)、「工業が盛んなまち」(9.5%)、「行政情報が十分に公開され、住民参加によるまちづくりが行われるまち」(8.9%)、「道路や下水道といった都市基盤が整備されたまち」(8.5%)、「商業が盛んでにぎわいのあるまち」(8.3%)、「農業が盛んなまち」(3.1%)、「情報や通信機能の発達した高度情報化のまち」(3.0%)、「国内・国外との交流活動の盛んなまち」(2.8%)、「町民と来訪者の交流や活動が活発に行われているまち」(2.7%)、「レクリエーション施設が充実したまち」(2.5%)の順となっています。

前回調査と比較して、上位5位はいくらかその率と順位は異なりますが、基本的なありようには変わりはないものと考えられます。

問 11 将来の垂井町の姿 (MA)



平成 18 年度調査



<属性別傾向>

○ 男女別集計

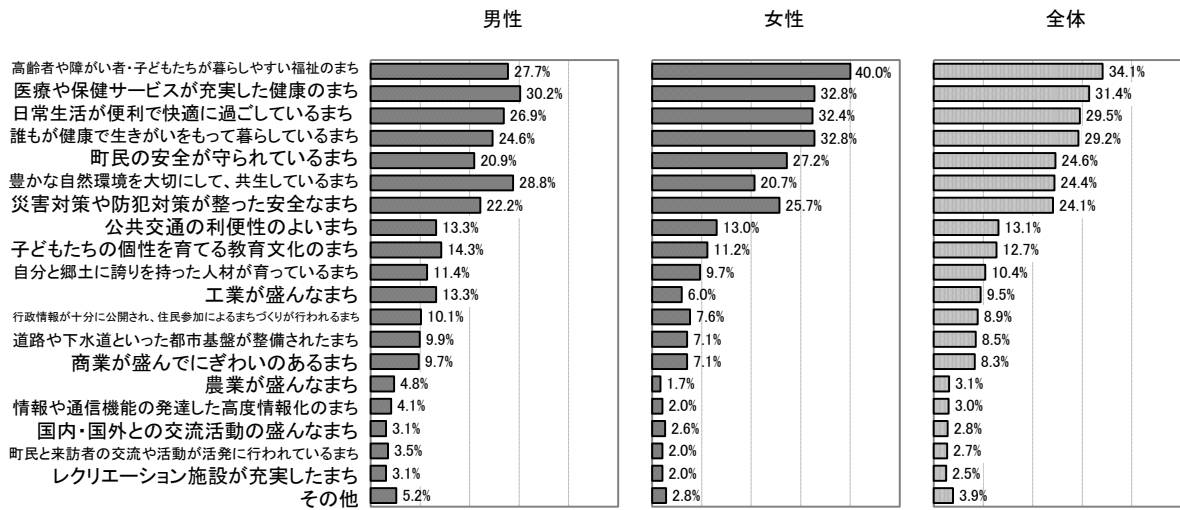
将来の垂井町の姿を男女別にみると、男性は「医療や保健サービスが充実した健康のまち」、「豊かな自然環境を大切にしてい、共生しているまち」が上位にあがっており、女性は「高齢者や障がい者・子どもたちが暮らしやすい福祉のまち」、「誰もが健康で生きがいをもって暮らしているまち」、「医療や保健サービスが充実した健康のまち」が上位にあがっています。

先回調査との比較では、上位については順位の若干の変動はあるものの基本的にはあまり変化はありません。

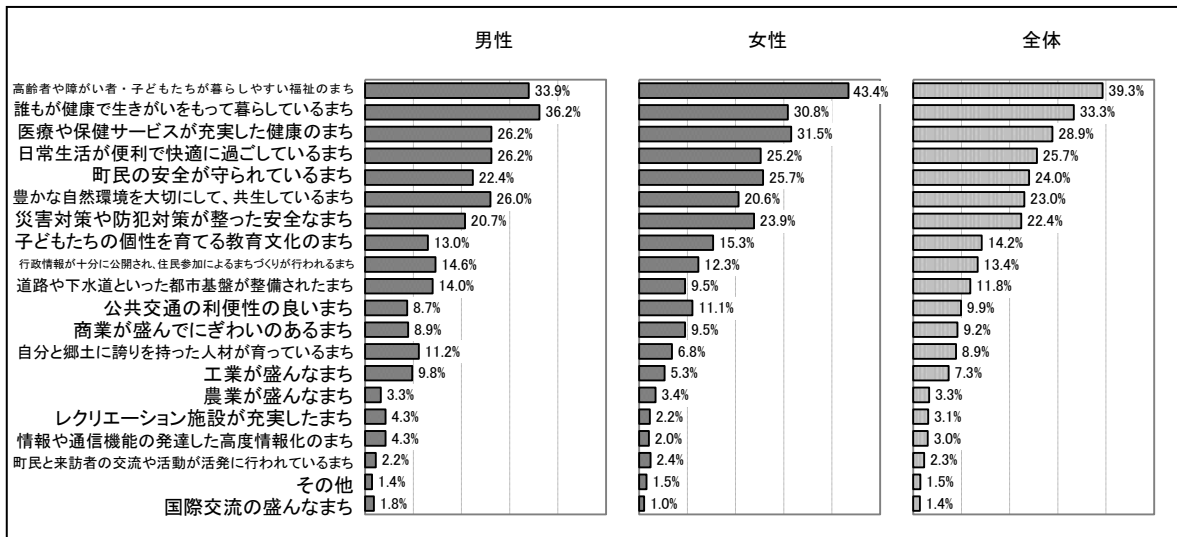
将来の垂井町の姿－男女別上位5項目

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性	医療や保健サービスが充実した健康のまち	豊かな自然環境を大切にしてい、共生しているまち	高齢者や障がい者・子どもたちが暮らしやすい福祉のまち	日常生活が便利で快適に過ごしているまち	誰もが健康で生きがいをもって暮らしているまち
女性	高齢者や障がい者・子どもたちが暮らしやすい福祉のまち	誰もが健康で生きがいをもって暮らしているまち	医療や保健サービスが充実した健康のまち	日常生活が便利で快適に過ごしているまち	町民の安全が守られているまち

問 11 将来の垂井町の姿 (MA) - 男女別



平成 18 年度調査



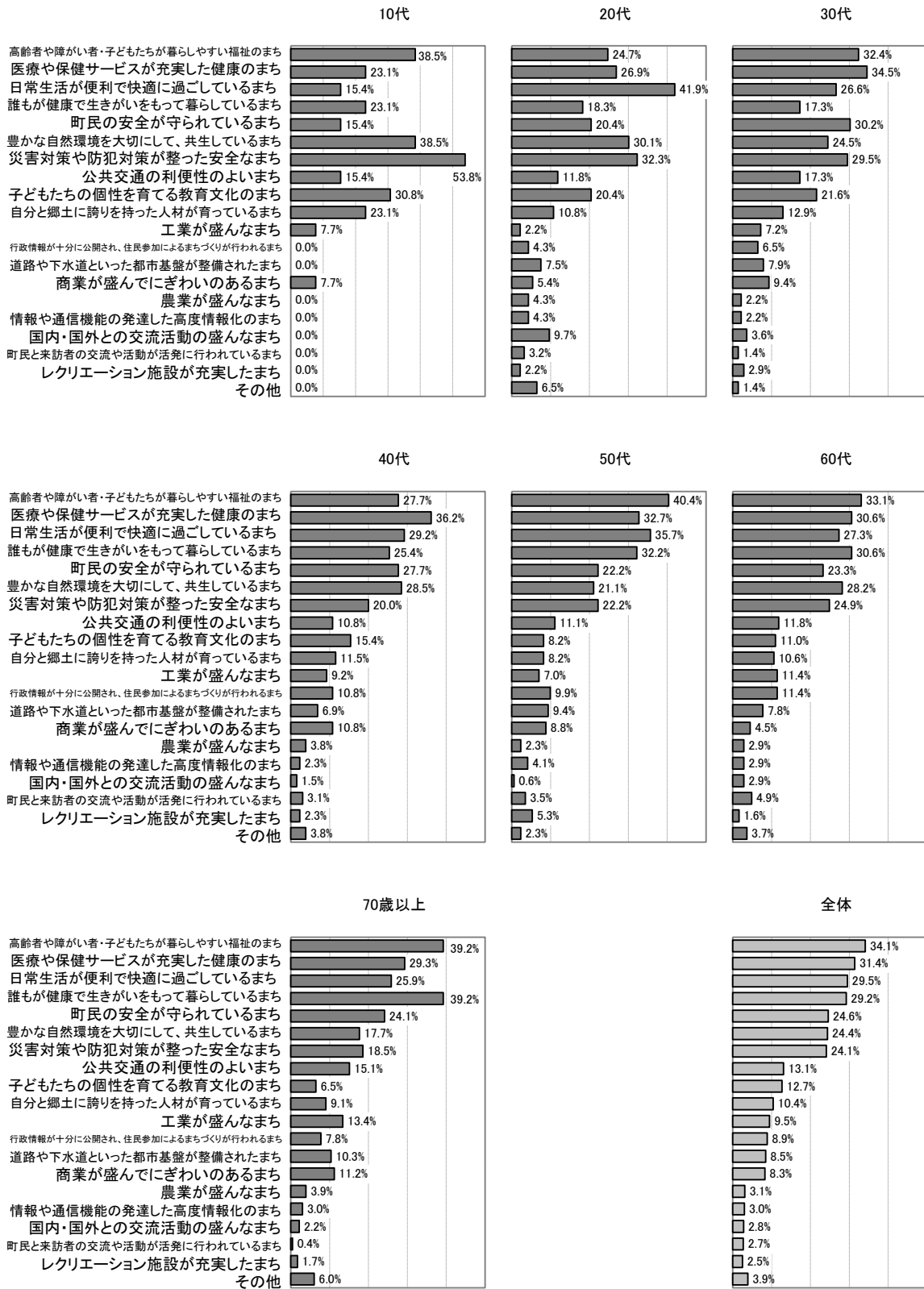
○ 年齢別集計

年齢別にみると、10代では、「災害対策や防犯対策が整った安全なまち」、「子どもたちの個性を育てる教育文化のまち」が上位5位に、20代では、「日常生活が便利で快適に過ごしているまち」、「災害対策や防犯対策が整った安全なまち」が上位にそれぞれ入っており、30代・40代では、「医療や保健サービスが充実した健康のまち」が第1位、50・60代では、「高齢者や障がい者・子どもたちが暮らしやすい福祉のまち」が第1位、70歳以上では、「誰もが健康で生きがいをもって暮らしているまち」、「高齢者や障がい者・子どもたちが暮らしやすい福祉のまち」が第1位に入っているのが特徴的です。

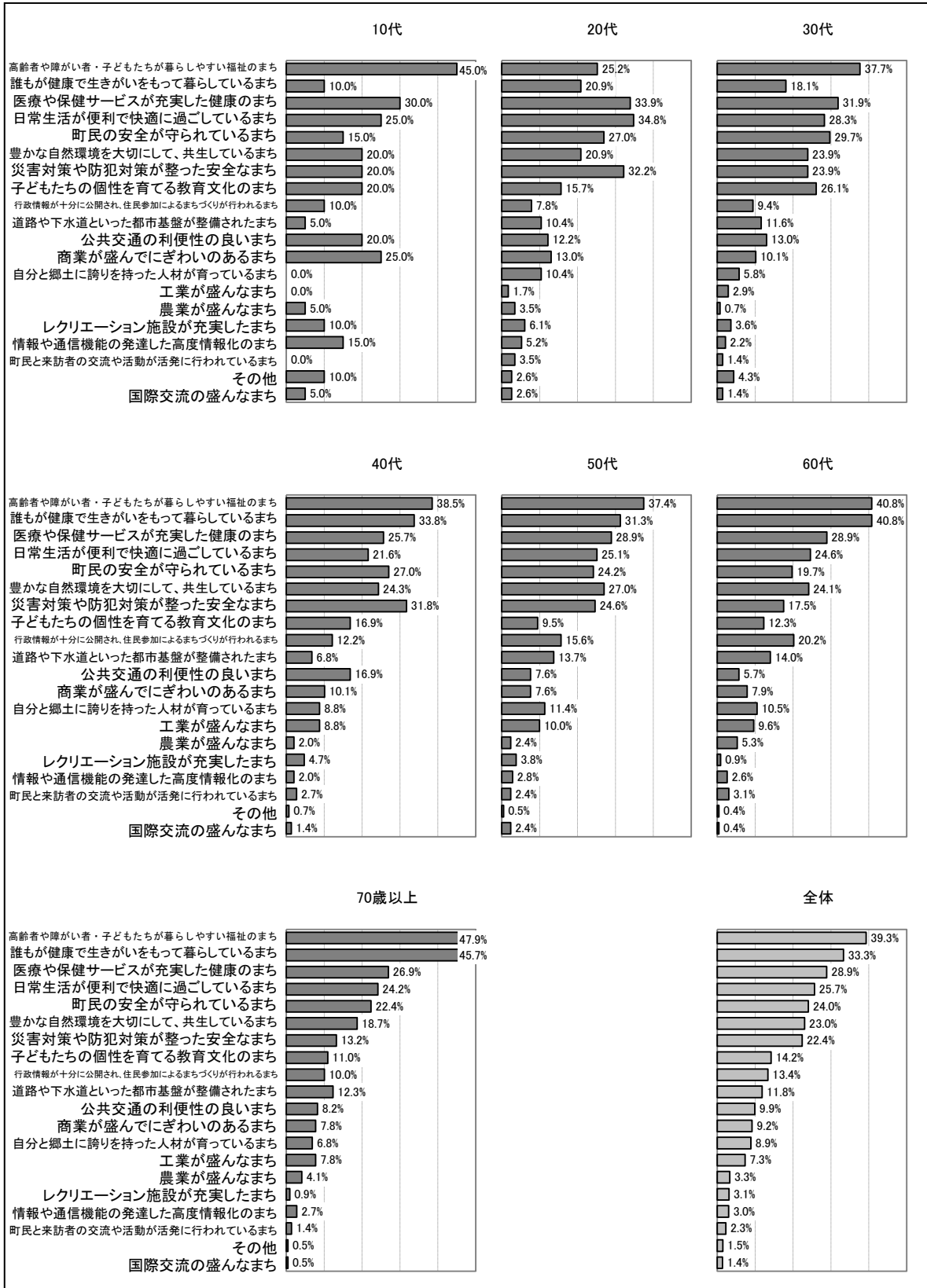
将来の垂井町の姿－年齢別上位5項目

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
10代	災害対策や防犯対策が整った安全なまち	豊かな自然環境を大切にして、共生しているまち	子どもたちの個性を育てる教育文化のまち	子どもたちの個性を育てる教育文化のまち	医療や保健サービスが充実した健康のまち
		高齢者や障がい者・子どもたちが暮らしやすい福祉のまち			誰もが健康で生きがいをもって暮らしているまち
20代	日常生活が便利で快適に過ごしているまち	災害対策や防犯対策が整った安全なまち	豊かな自然環境を大切にして、共生しているまち	医療や保健サービスが充実した健康のまち	高齢者や障がい者・子どもたちが暮らしやすい福祉のまち
30代	医療や保健サービスが充実した健康のまち	高齢者や障がい者・子どもたちが暮らしやすい福祉のまち	町民の安全が守られているまち	災害対策や防犯対策が整った安全なまち	日常生活が便利で快適に過ごしているまち
40代	医療や保健サービスが充実した健康のまち	日常生活が便利で快適に過ごしているまち	豊かな自然環境を大切にして、共生しているまち	町民の安全が守られているまち	
				高齢者や障がい者・子どもたちが暮らしやすい福祉のまち	
50代	高齢者や障がい者・子どもたちが暮らしやすい福祉のまち	日常生活が便利で快適に過ごしているまち	医療や保健サービスが充実した健康のまち	誰もが健康で生きがいをもって暮らしているまち	町民の安全が守られているまち
					災害対策や防犯対策が整った安全なまち
60代	高齢者や障がい者・子どもたちが暮らしやすい福祉のまち	誰もが健康で生きがいをもって暮らしているまち		豊かな自然環境を大切にして、共生しているまち	日常生活が便利で快適に過ごしているまち
		医療や保健サービスが充実した健康のまち			
70歳以上	誰もが健康で生きがいをもって暮らしているまち		医療や保健サービスが充実した健康のまち	日常生活が便利で快適に過ごしているまち	町民の安全が守られているまち
	高齢者や障がい者・子どもたちが暮らしやすい福祉のまち				

問 11 将来の垂井町の姿（MA）一年齢別



平成 18 年度調査



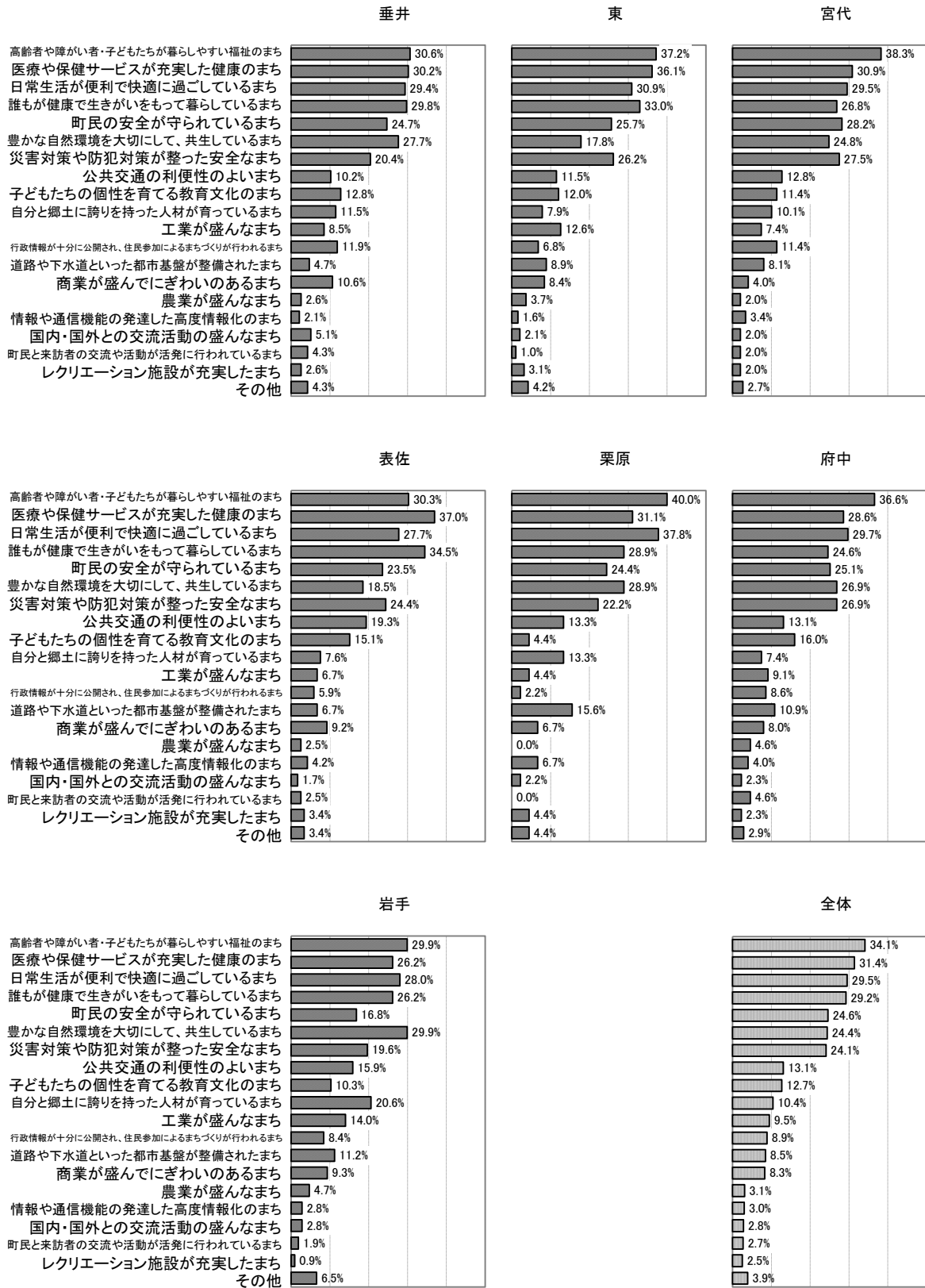
○ 地区別集計

地区別にみると、ほとんどの地区で、「高齢者や障がい者・子どもたちが暮らしやすい福祉のまち」が第1位となっていますが、岩手では、「豊かな自然環境を大切にしてい、共生しているまち」が同率で第1位となっています。また、宮代で「町民の安全が守られているまち」が第4位に入ってきています。

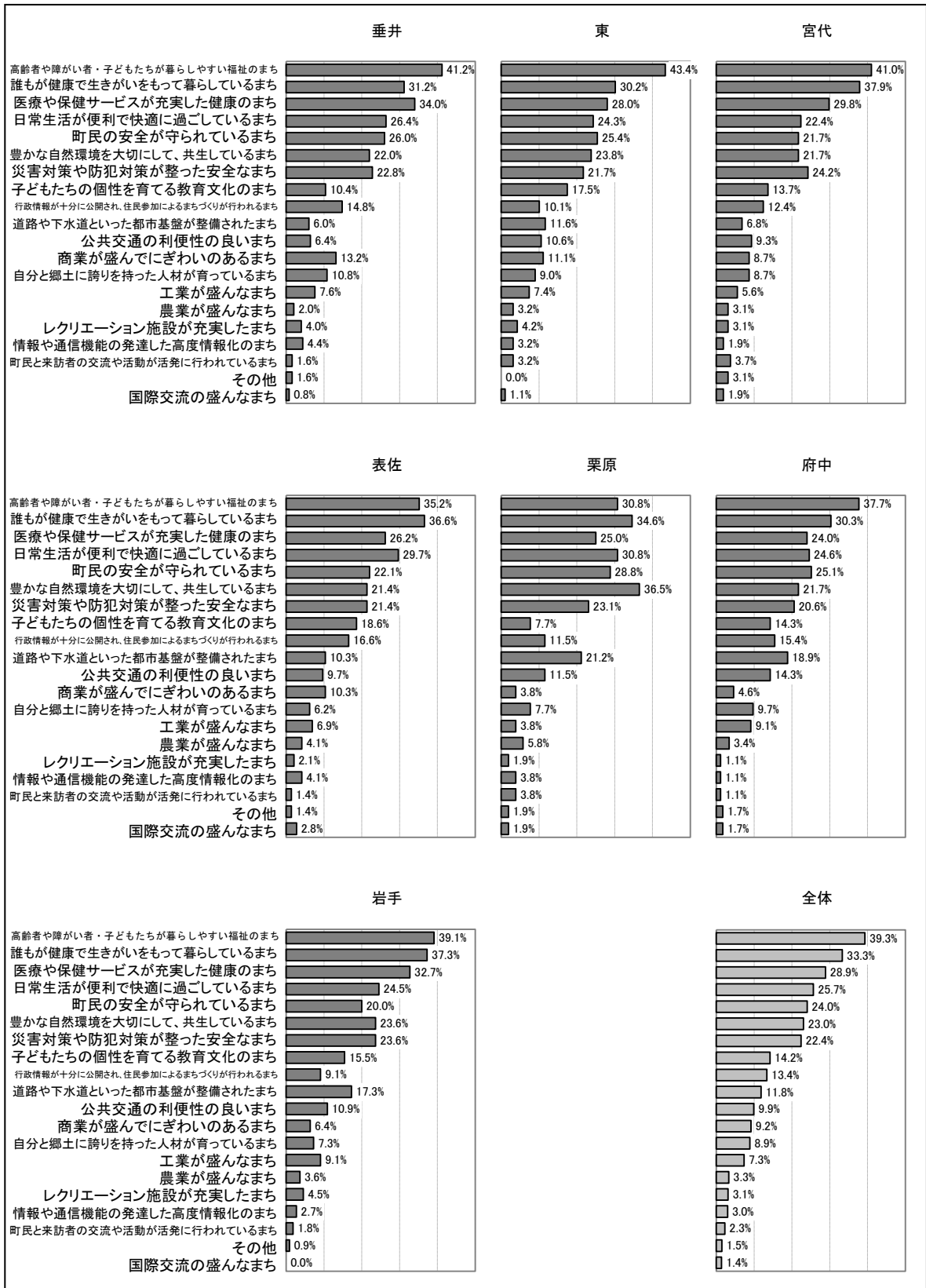
将来の垂井町の姿－地区別上位5項目

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
垂井	高齢者や障がい者・子どもたちが暮らしやすい福祉のまち	医療や保健サービスが充実した健康のまち	誰もが健康で生きがいをもって暮らしているまち	日常生活が便利で快適に過ごしているまち	豊かな自然環境を大切にしてい、共生しているまち
東	高齢者や障がい者・子どもたちが暮らしやすい福祉のまち	医療や保健サービスが充実した健康のまち	誰もが健康で生きがいをもって暮らしているまち	日常生活が便利で快適に過ごしているまち	災害対策や防犯対策が整った安全なまち
宮代	高齢者や障がい者・子どもたちが暮らしやすい福祉のまち	医療や保健サービスが充実した健康のまち	日常生活が便利で快適に過ごしているまち	町民の安全が守られているまち	災害対策や防犯対策が整った安全なまち
表佐	医療や保健サービスが充実した健康のまち	誰もが健康で生きがいをもって暮らしているまち	高齢者や障がい者・子どもたちが暮らしやすい福祉のまち	日常生活が便利で快適に過ごしているまち	災害対策や防犯対策が整った安全なまち
栗原	高齢者や障がい者・子どもたちが暮らしやすい福祉のまち	日常生活が便利で快適に過ごしているまち	医療や保健サービスが充実した健康のまち	誰もが健康で生きがいをもって暮らしているまち	豊かな自然環境を大切にしてい、共生しているまち
府中	高齢者や障がい者・子どもたちが暮らしやすい福祉のまち	日常生活が便利で快適に過ごしているまち	医療や保健サービスが充実した健康のまち	豊かな自然環境を大切にしてい、共生しているまち	災害対策や防犯対策が整った安全なまち
岩手	豊かな自然環境を大切にしてい、共生しているまち	高齢者や障がい者・子どもたちが暮らしやすい福祉のまち	日常生活が便利で快適に過ごしているまち	誰もが健康で生きがいをもって暮らしているまち	医療や保健サービスが充実した健康のまち

問 11 将来の垂井町の姿 (MA) - 地区別



平成 18 年度調査



3 今後の町政運営について

(1) 町政運営に係る情報提供への取り組み

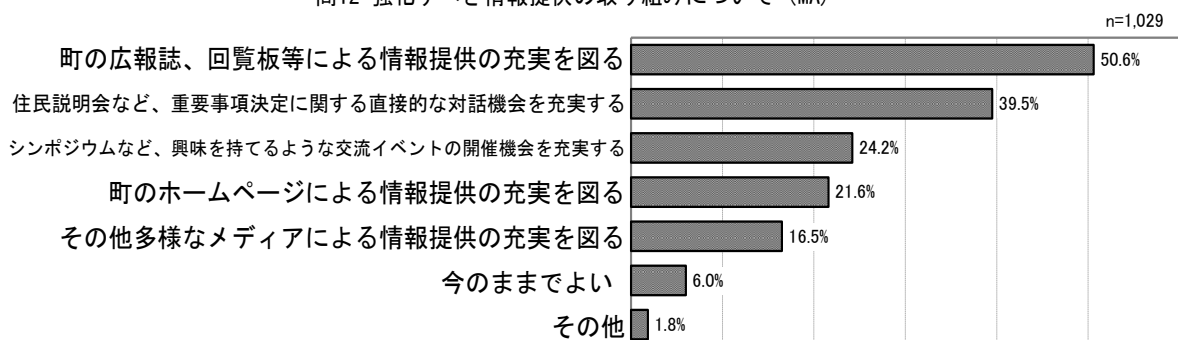
問12. 今後の町政運営にかかる情報提供について、どのような取り組みを強化すべきと考えますか。【複数回答】

- 「町の広報誌、回覧板等による情報提供の充実を図る」がおよそ半数。

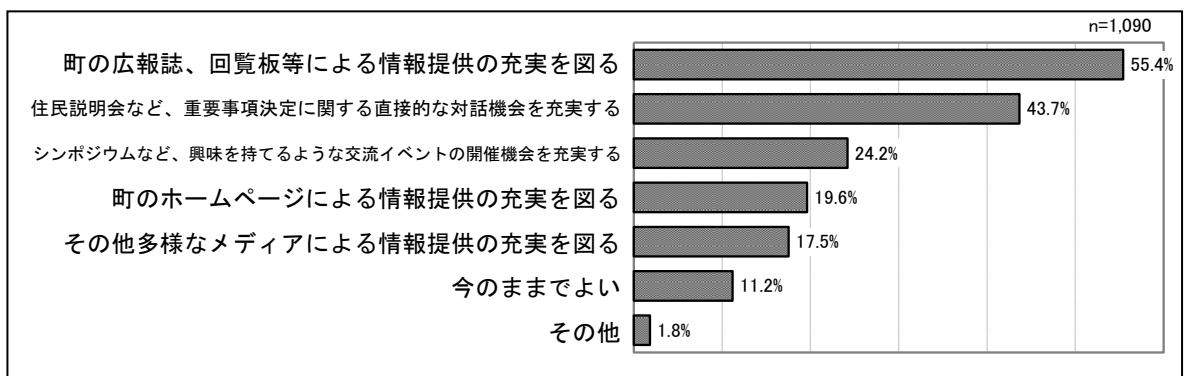
今後の町政運営に係る情報提供のあり方としては、「町の広報誌、回覧板等による情報提供の充実を図る」(50.6%)、「住民説明会など、重要事項決定に関する直接的な対話機会を充実する」(39.5%)、「シンポジウムなど、興味を持てるような交流イベントの開催機会を充実する」(24.2%)、「町のホームページによる情報提供の充実を図る」(21.6%)、「その他多様なメディアによる情報提供の充実を図る」(16.5%)、「今のままでよい」(6.0%)の順となっています。

前回調査との比較では、大きな変化はありませんが、「今のままでよい」がやや率を下げています。

問12 強化すべき情報提供の取り組みについて (MA)



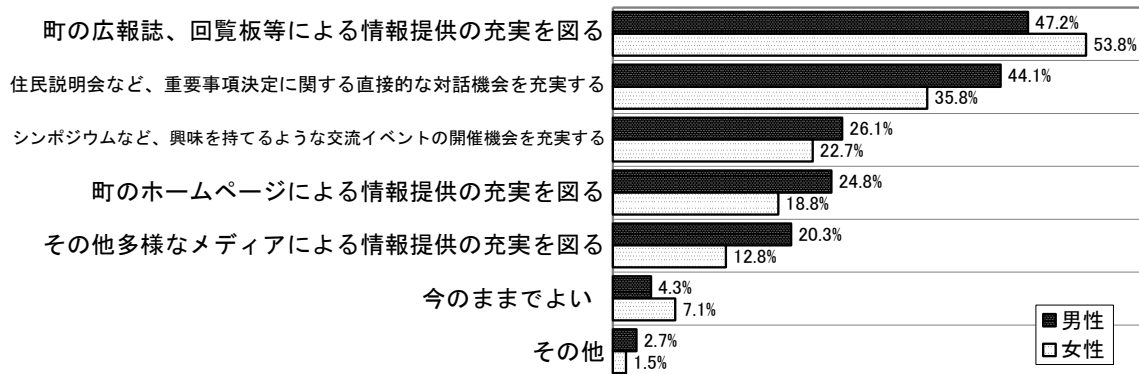
平成18年度調査



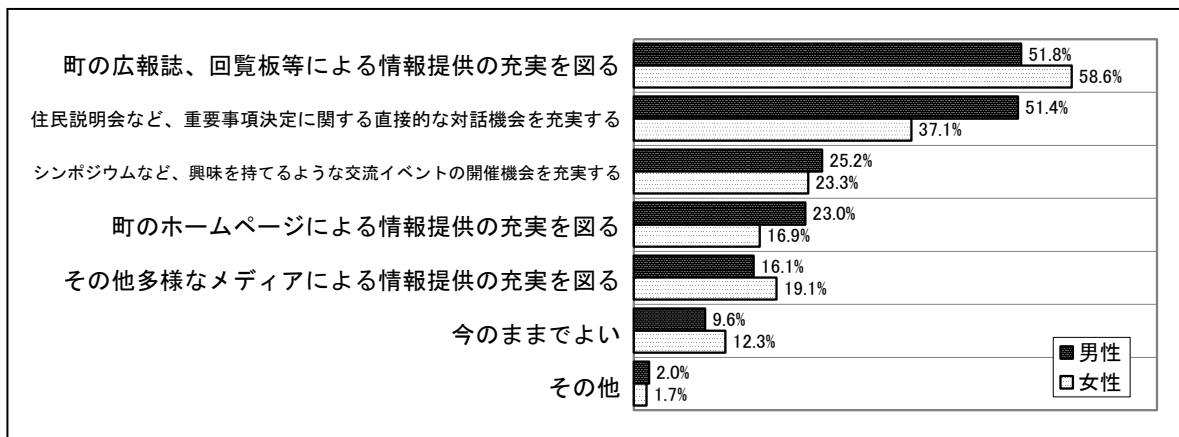
○ 男女別集計

今後の町政運営に係る情報提供のあり方について男女別にみると、男性に「住民説明会など、重要事項決定に関する直接的な対話機会を充実する」、「シンポジウムなど、興味を持てるような交流イベントの開催機会を充実する」が多く、女性に「町の広報誌、回覧板等による情報提供の充実を図る」が多くなっています。

問12. 町政運営に係る情報提供（MA）－男女別



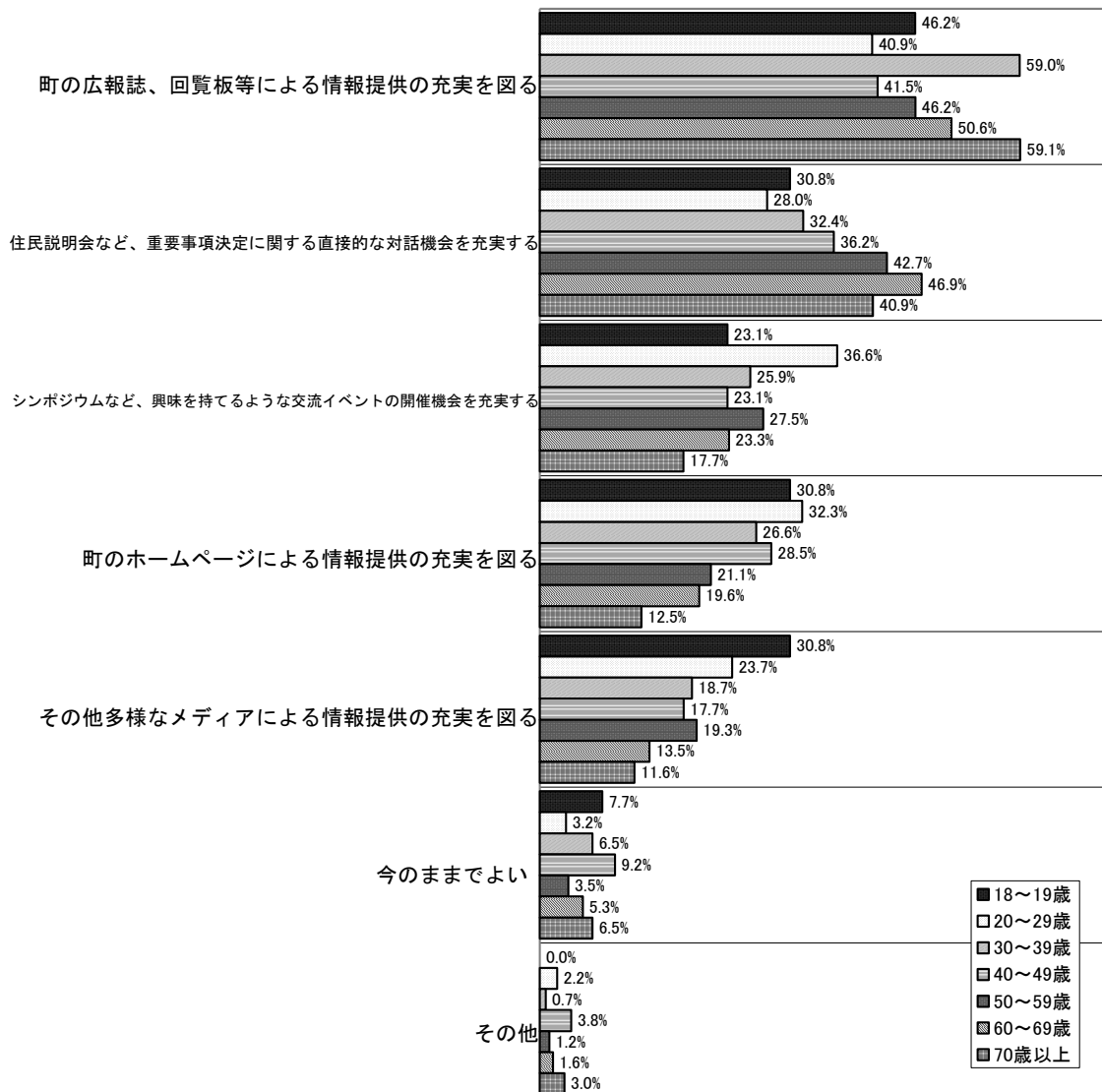
平成 18 年度調査



○ 年齢別集計

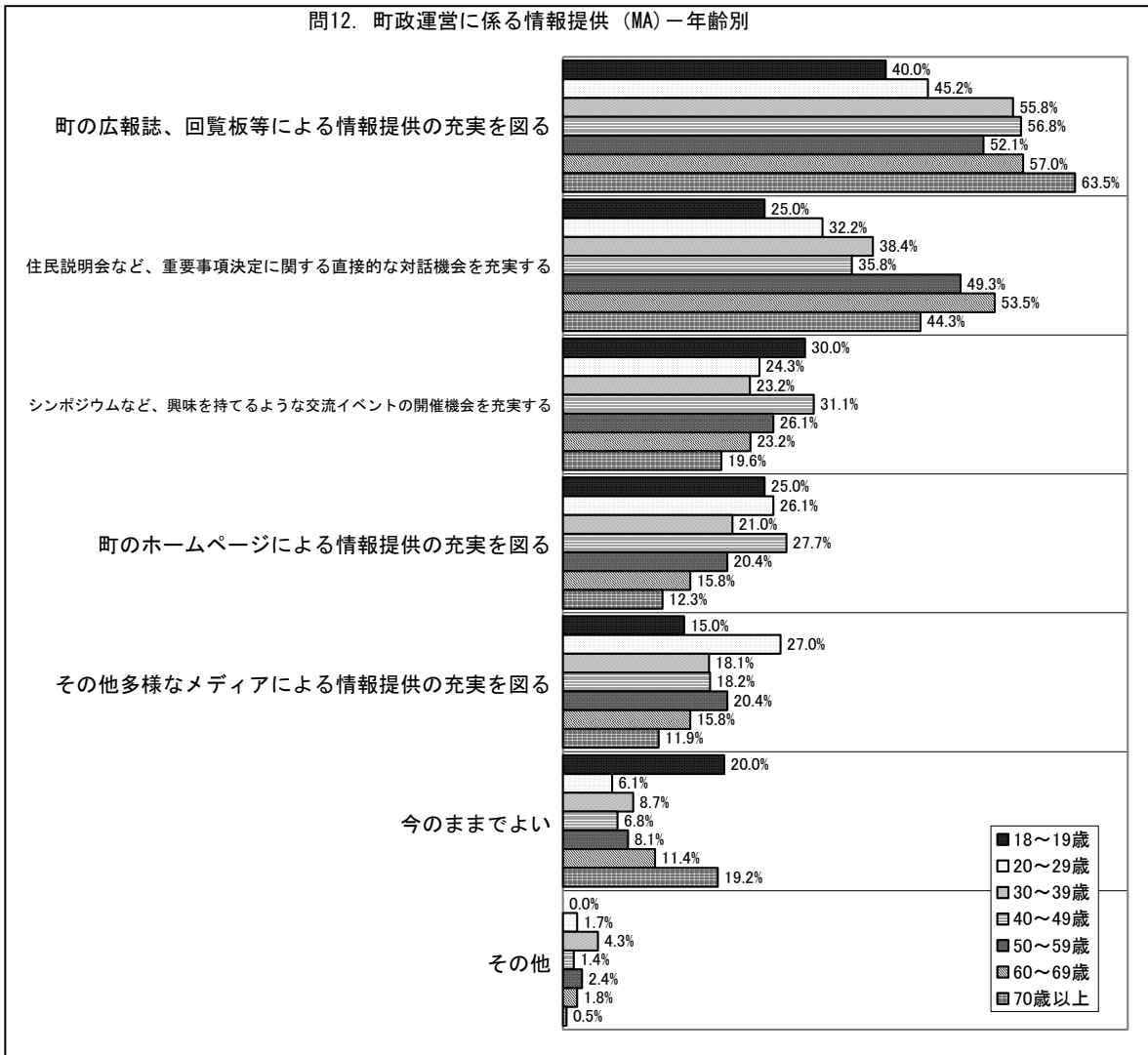
今後の町政運営に係る情報提供のあり方について年齢別にみると、30代と70歳以上に「町の広報誌、回覧板等による情報提供の充実を図る」が、60代に「住民説明会など、重要事項決定に関する直接的な対話機会を充実する」が、20代に「シンポジウムなど、興味を持てるような交流イベントの開催機会を充実する」が、10代に「その他多様なメディアによる情報提供の充実を図る」がそれぞれ多くなっています。

問12. 町政運営に係る情報提供（MA）—年齢別



平成 18 年度調査

問12. 町政運営に係る情報提供 (MA) 一年齢別



(2) 町民と行政の協働

① 町政運営への町民参画について

問13. 町政運営への町民の積極的な参画によって、地域の課題を町民と行政が協働で解決していくという考え方が、まちづくりに向けて重要と考えますが、町民の参画を図るうえで、どんなことを重点的に取り組んでいけばよいと考えますか。【複数回答】

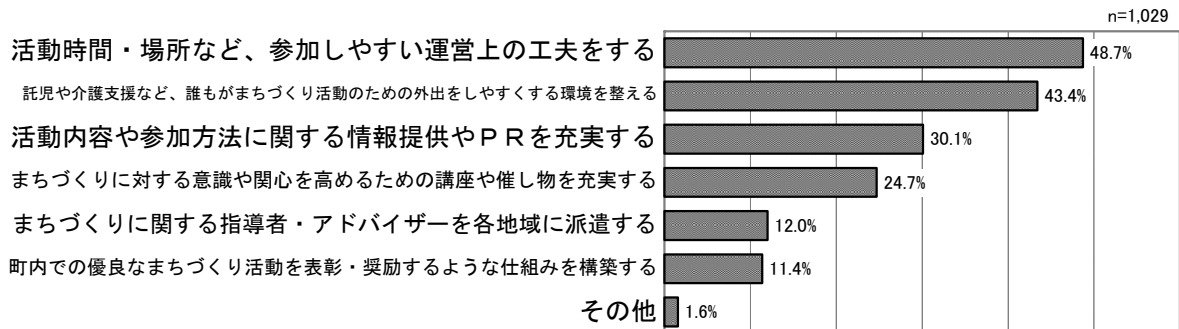
- 「活動時間・場所など、参加しやすい運営上の工夫をする」、「託児や介護支援など、誰もがまちづくり活動のための外出をしやすくする環境を整える」が上位。

<全体の傾向>

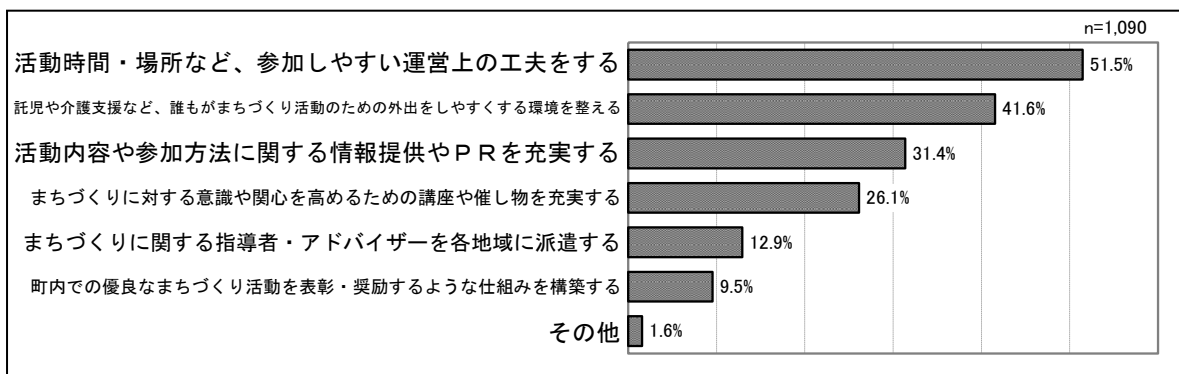
町政運営への町民の参画を図る上で特に重要な取り組みとしては、「活動時間・場所など、参加しやすい運営上の工夫をする」(48.7%)、「託児や介護支援など、誰もがまちづくり活動のための外出をしやすくする環境を整える」(43.4%)、「活動内容や参加方法に関する情報提供やPRを充実する」(30.1%)、「まちづくりに対する意識や関心を高めるための講座や催し物を充実する」(24.7%)、「まちづくりに関する指導者・アドバイザーを各地域に派遣する」(12.0%)、「町内での優良なまちづくり活動を表彰・奨励するような仕組みを構築する」(11.4%)の順となっています。

前回調査との比較では、大きな変化はありません。

問13 町政運営への町民参画 (MA)



平成18年度調査

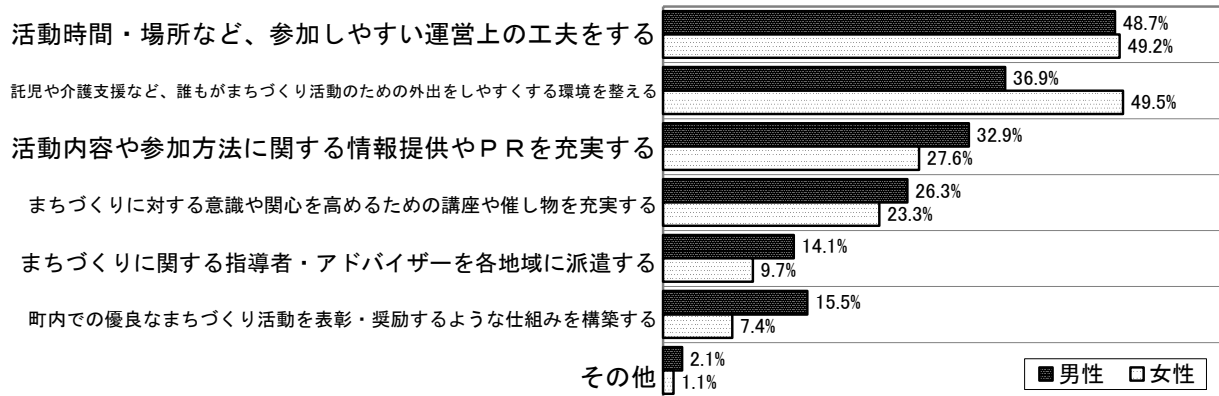


<属性別傾向>

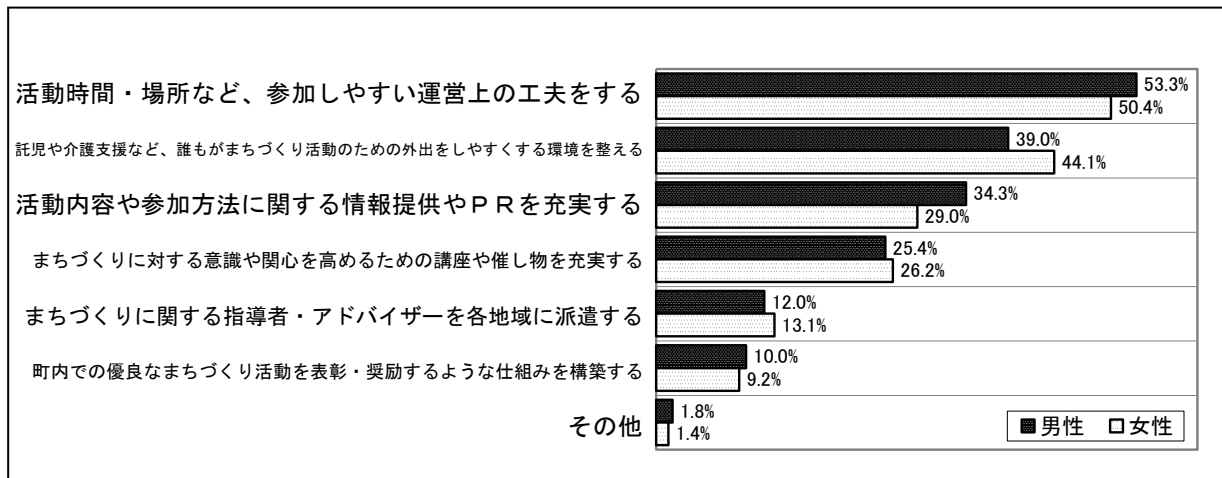
○ 男女別集計

町政運営への町民参画について男女別にみると、女性に「託児や介護支援など、誰もがまちづくり活動のための外出をしやすくする環境を整える」が多くなっています。

問13. 町政運営への町民参画 (MA) - 男女別



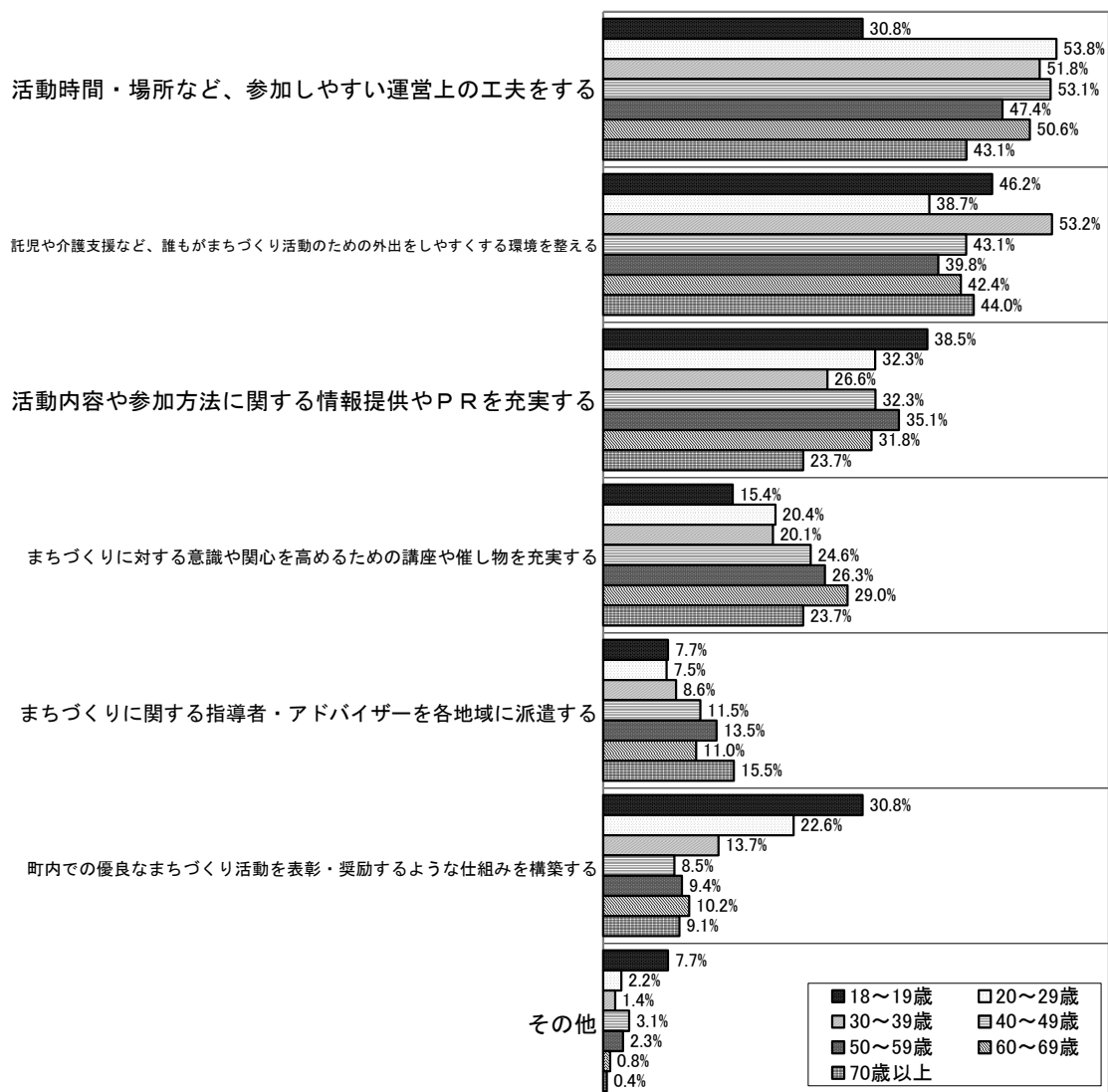
平成 18 年度調査



○ 年齢別集計

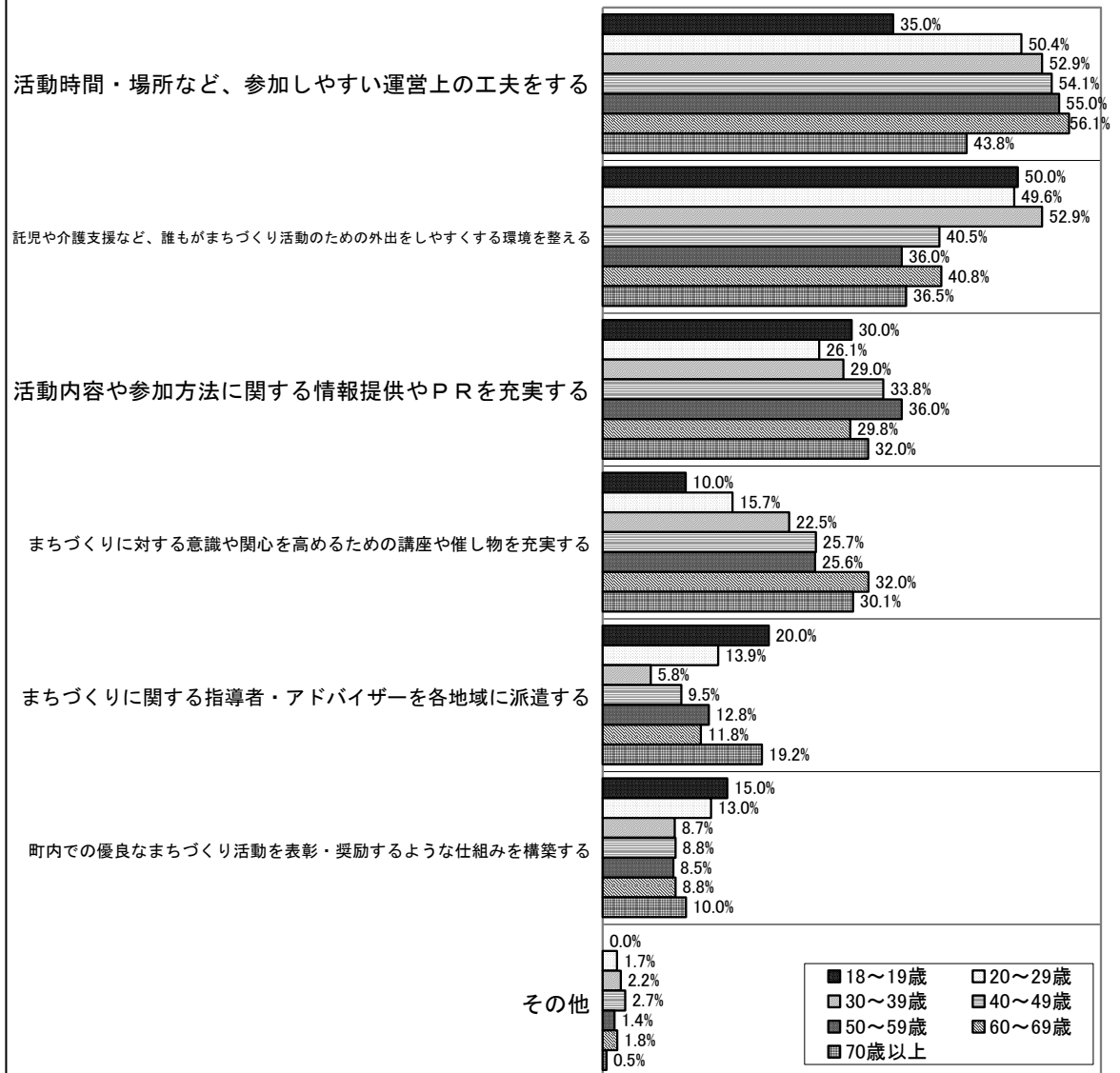
町政運営への町民参画について年齢別にみると、30代で「託児や介護支援など、誰もがまちづくり活動のための外出をしやすくする環境を整える」が多く、10代で「町内での優良なまちづくり活動を表彰・奨励するような仕組みを構築する」がやや多くなっています。

問13. 町政運営への町民参画（MA）一年齢別



平成 18 年度調査

問13. 町政運営への町民参画 (MA) 一年齢別



② 住民活動への参加状況・参加意向

問14. あなたは現在、まちや地域をより良くしていくため、どのような活動に参加していますか。また今後の参加の予定はいかがですか。【複数回答】

- 「自治会の活動」、「地域の清掃・美化などの活動」に参加が多く、今後参加してみたい活動については、「地域の防災・防犯のための活動」、「スポーツクラブや文化サークルなどの活動」、「環境保護などの町民活動」、「福祉などのボランティア活動」、「地域の清掃・美化などの活動」などとなっている。

住民活動への参加状況

<全体の傾向>

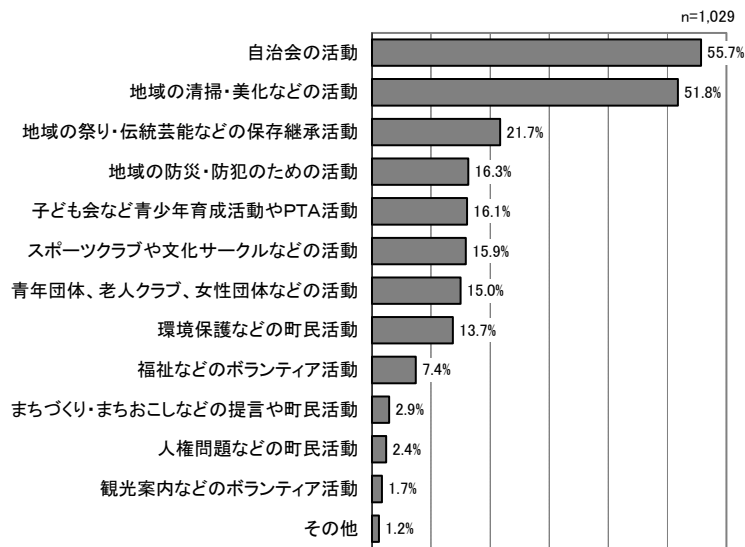
住民活動への参加状況については、「自治会の活動」(55.7%)、「地域の清掃・美化などの活動」(51.8%)、「地域の祭り・伝統芸能などの保存継承活動」(21.7%)、「地域の防災・防犯のための活動」(16.3%)、「子ども会など青少年育成活動やPTA活動」(16.1%)、「スポーツクラブや文化サークルなどの活動」(15.9%)、「青年団体、老人クラブ、女性団体などの活動」(15.0%)、「環境保護などの町民活動」(13.7%)、「福祉などのボランティア活動」(7.4%)、「まちづくり・まちおこしなどの提言や町民活動」(2.9%)、「人権問題などの町民活動」(2.4%)、「観光案内などのボランティア活動」(1.7%)の順となっています。

前回調査と比較すると、「地域の清掃・美化などの活動」が率を伸ばしています。

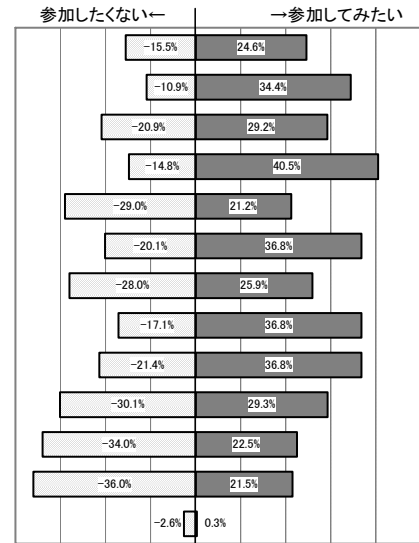
また、今後参加してみたい活動については、「地域の防災・防犯のための活動」(40.5%)、「スポーツクラブや文化サークルなどの活動」・「環境保護などの町民活動」・「福祉などのボランティア活動」(同率 36.8%)、「地域の清掃・美化などの活動」(34.4%)、「まちづくり・まちおこしなどの提言や町民活動」(29.3%)、「地域の祭り・伝統芸能などの保存継承活動」(29.2%)、「青年団体、老人クラブ、女性団体などの活動」(25.9%)、「自治会の活動」(24.6%)、「人権問題などの町民活動」(22.5%)、「観光案内などのボランティア活動」(21.5%)、「子ども会など青少年育成活動やPTA活動」(21.2%)の順となっています。

一方、“参加したくない”活動としては、「観光案内などのボランティア活動」(36.0%)、「人権問題などの町民活動」(34.0%)、「まちづくり・まちおこしなどの提言や町民活動」(30.1%)、「子ども会など青少年育成活動やPTA活動」(29.0%)、「青年団体、老人クラブ、女性団体などの活動」(28.0%)、「福祉などのボランティア活動」(21.4%)、「地域の祭り・伝統芸能などの保存継承活動」(20.9%)、「スポーツクラブや文化サークルなどの活動」(20.1%)、「環境保護などの町民活動」(17.1%)、「自治会の活動」(15.5%)、「地域の防災・防犯のための活動」(14.8%)、「地域の清掃・美化などの活動」(10.9%)の順となっています。

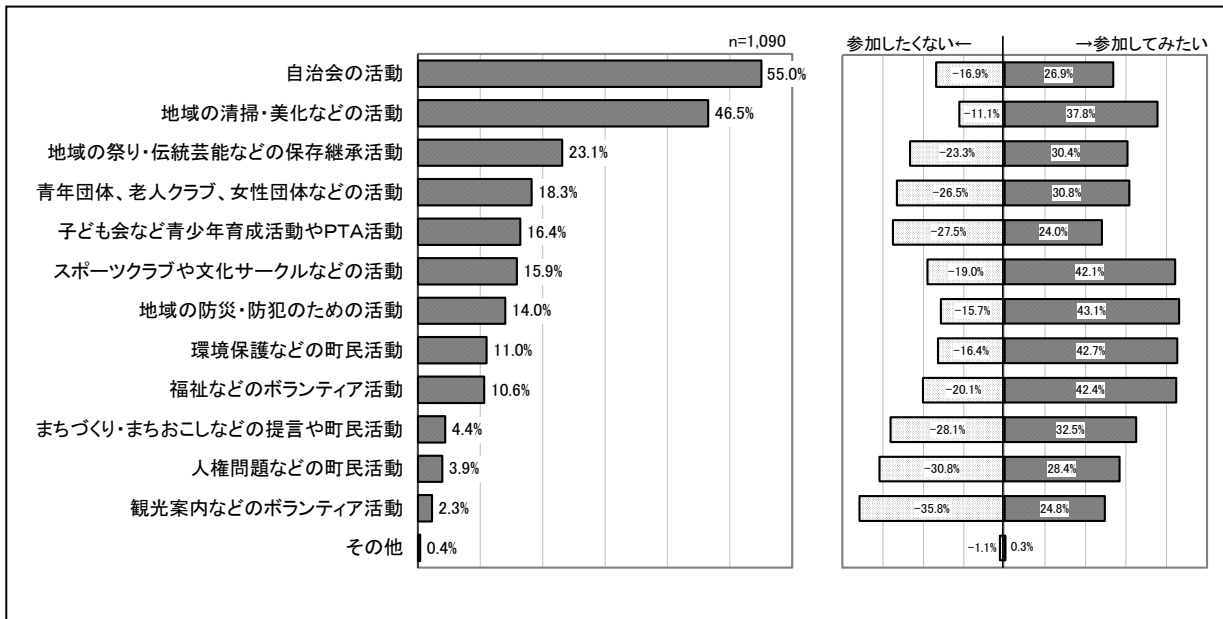
問14. 住民活動へのこの1年間の参加状況 (MA)



問14. 今後の参加意向



平成 18 年度調査

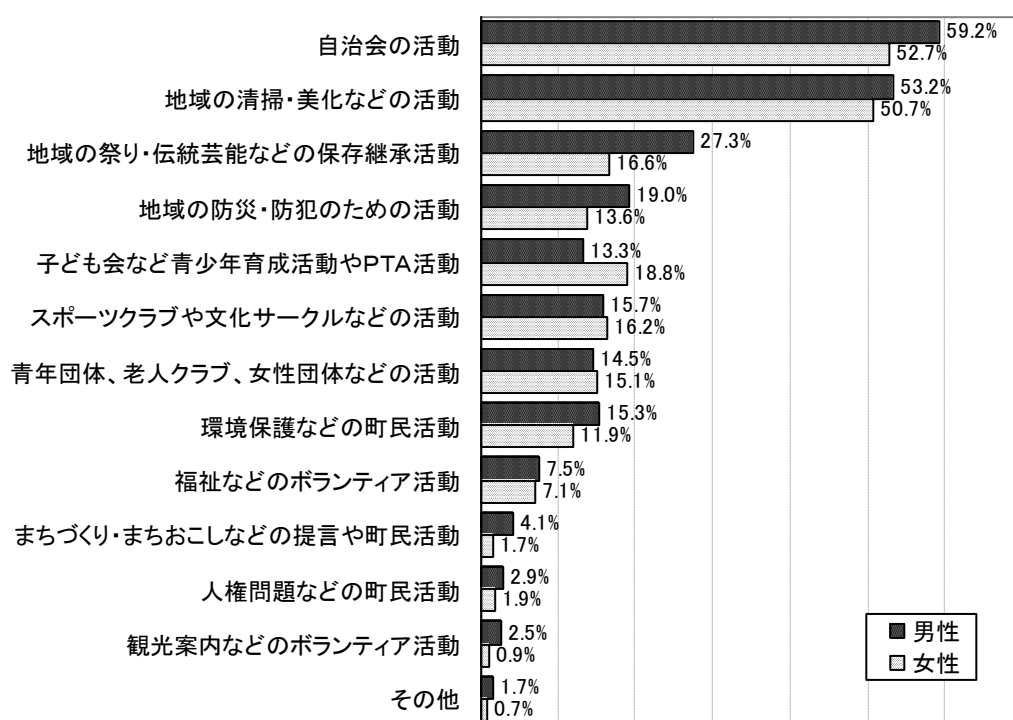


<属性別傾向>

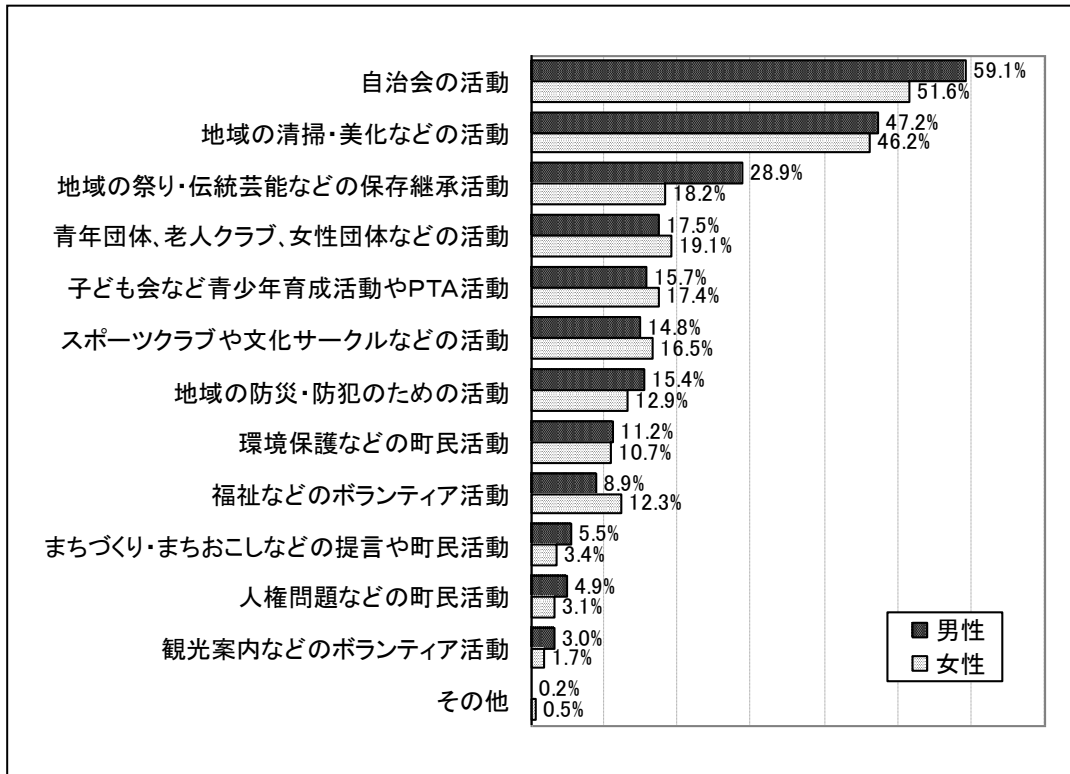
○ 男女別集計

この1年間における住民活動への参加状況を男女別にみると、男性に「自治会の活動」、「地域の清掃・美化などの活動」、「地域の祭り・伝統芸能などの保存継承活動」、「地域の防災・防犯のための活動」、「環境保護などの町民活動」が多く、女性に「子ども会など青少年育成活動やPTA活動」、「スポーツクラブや文化サークルなどの活動」、「青年団体、老人クラブ、女性団体などの活動」が多くなっています。

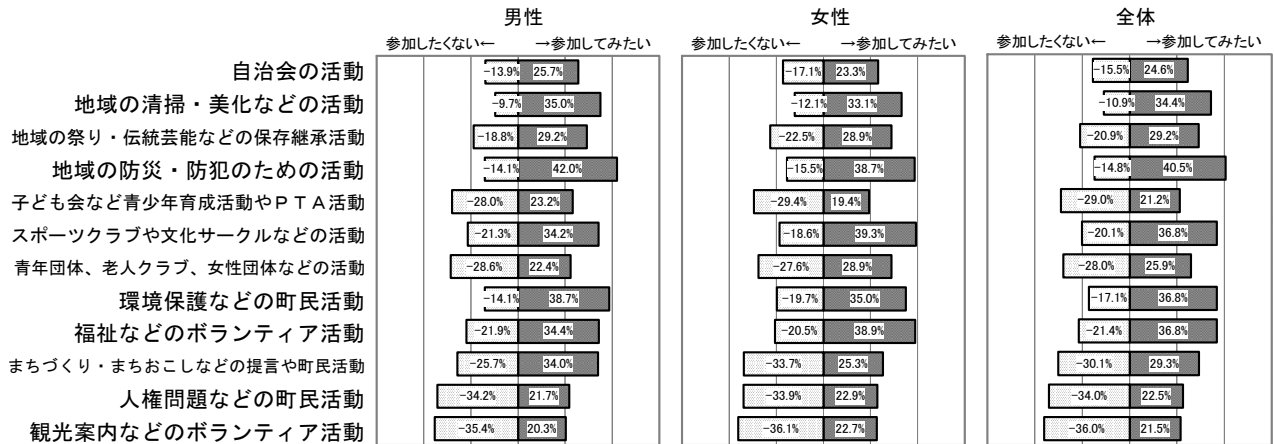
問 14. 住民活動へのこの1年間の参加状況 (MA) - 男女別



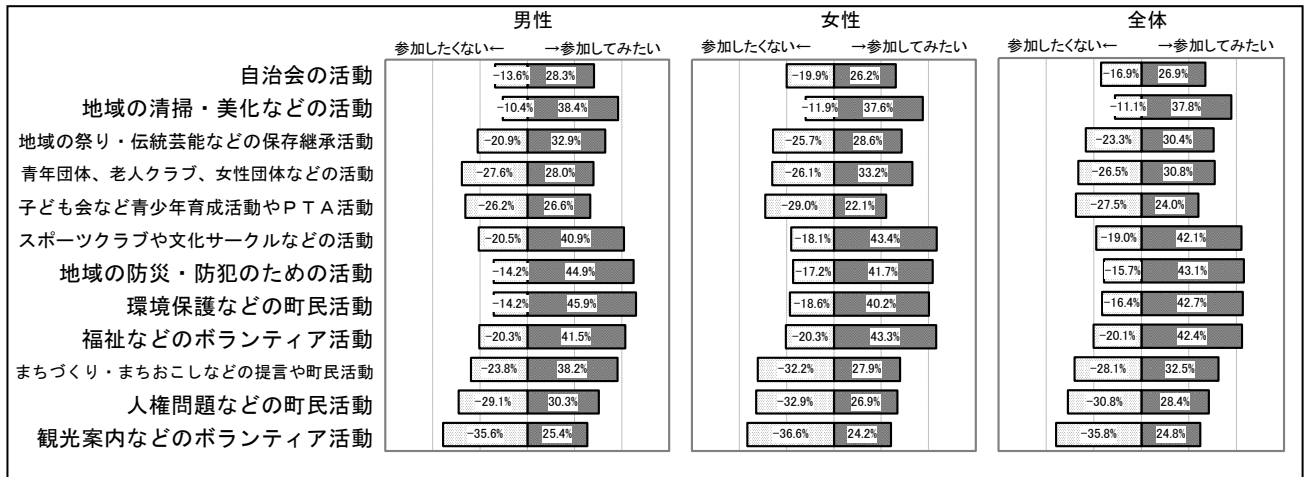
平成 18 年度調査



問 14 今後の参加意向—男女別



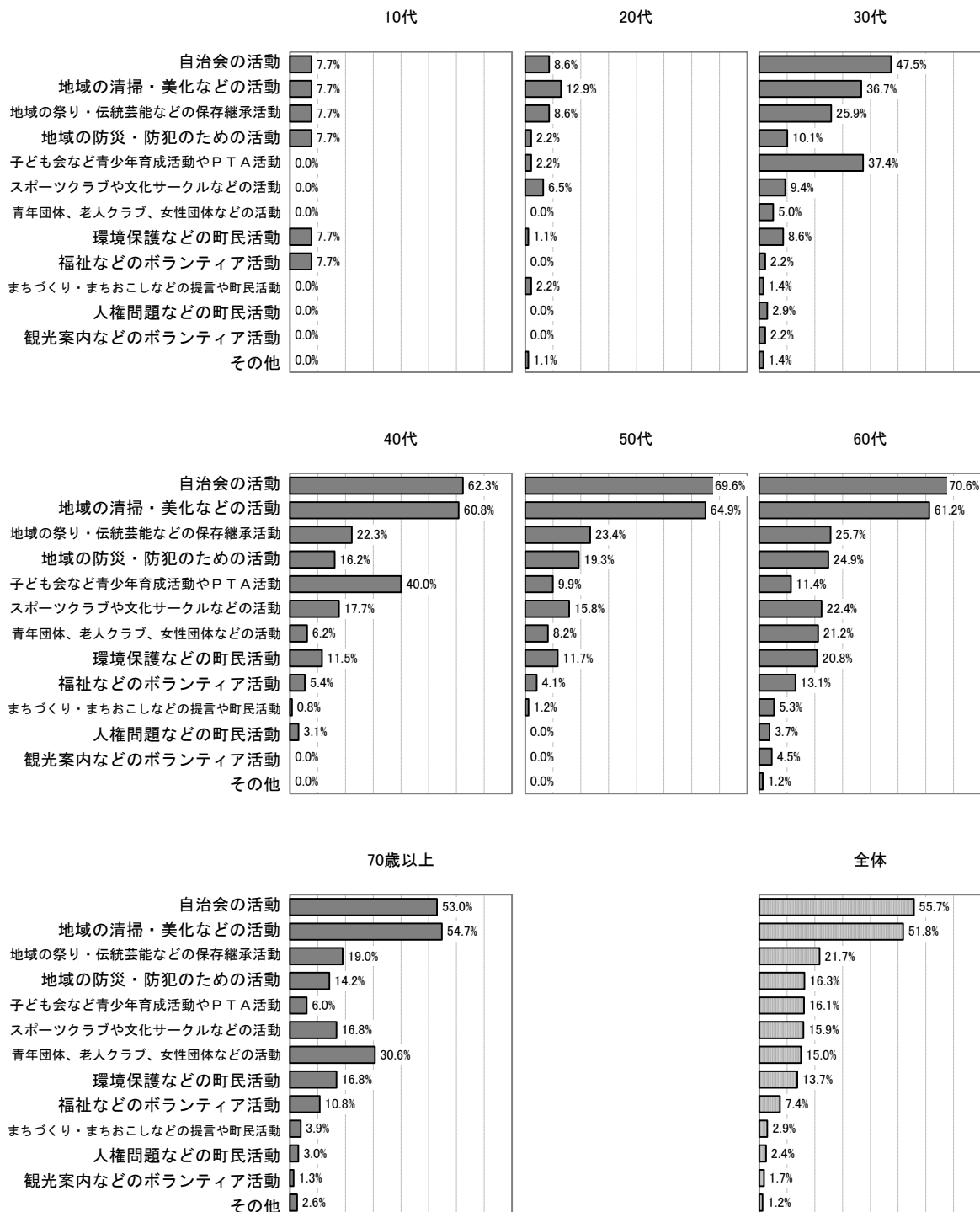
平成 18 年度調査



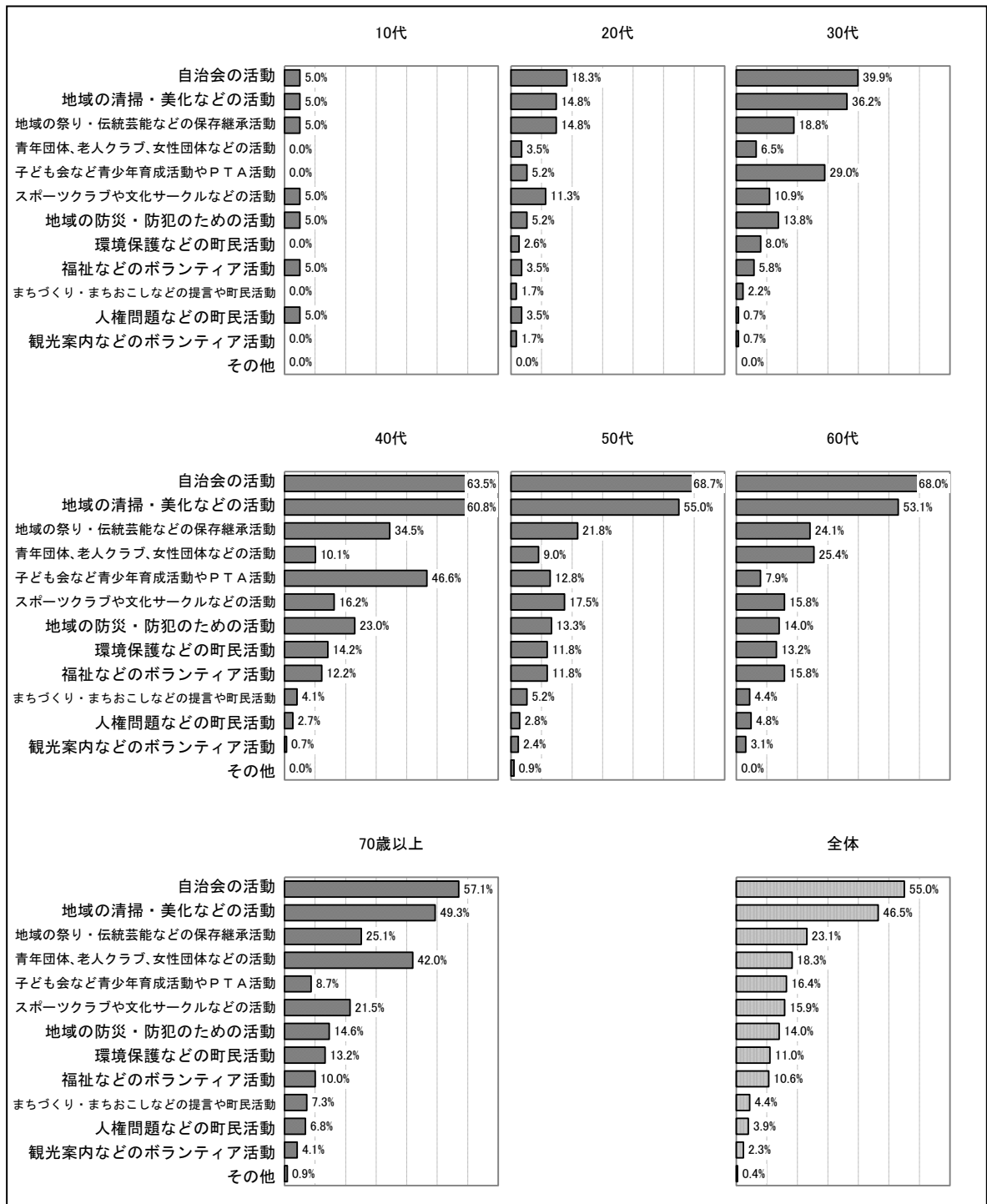
○ 年齢別集計

年齢別にみると、10代・20代では全体に参加が低く、40歳以上で参加は全体的に高くなっていますが、30代、40代で「子ども会など青少年育成活動やPTA活動」が高く、70歳以上で「青年団体、老人クラブ、女性団体などの活動」が高くなっています。

問 14. 住民活動へのこの1年間の参加状況(MA) 一年齢別



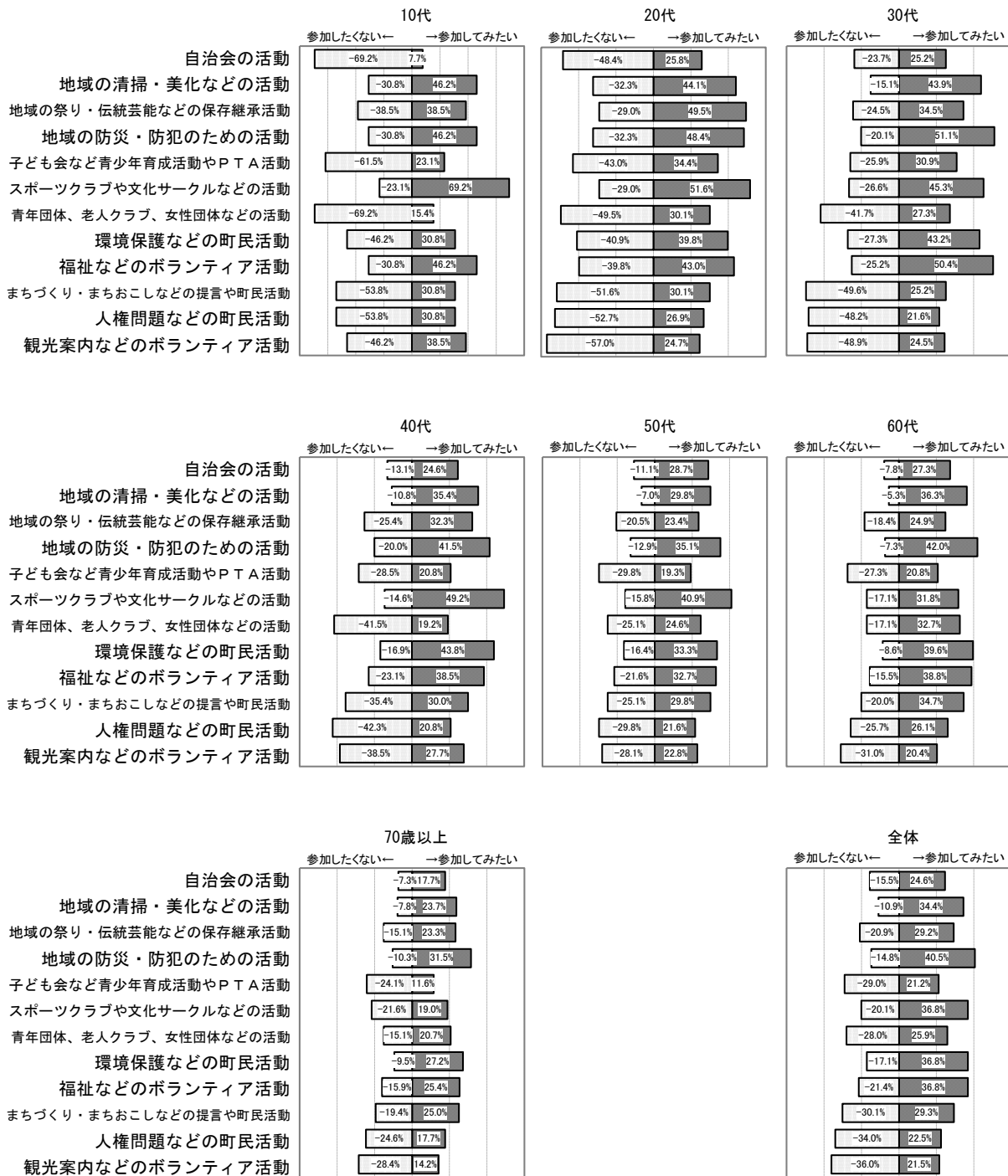
平成 18 年度調査



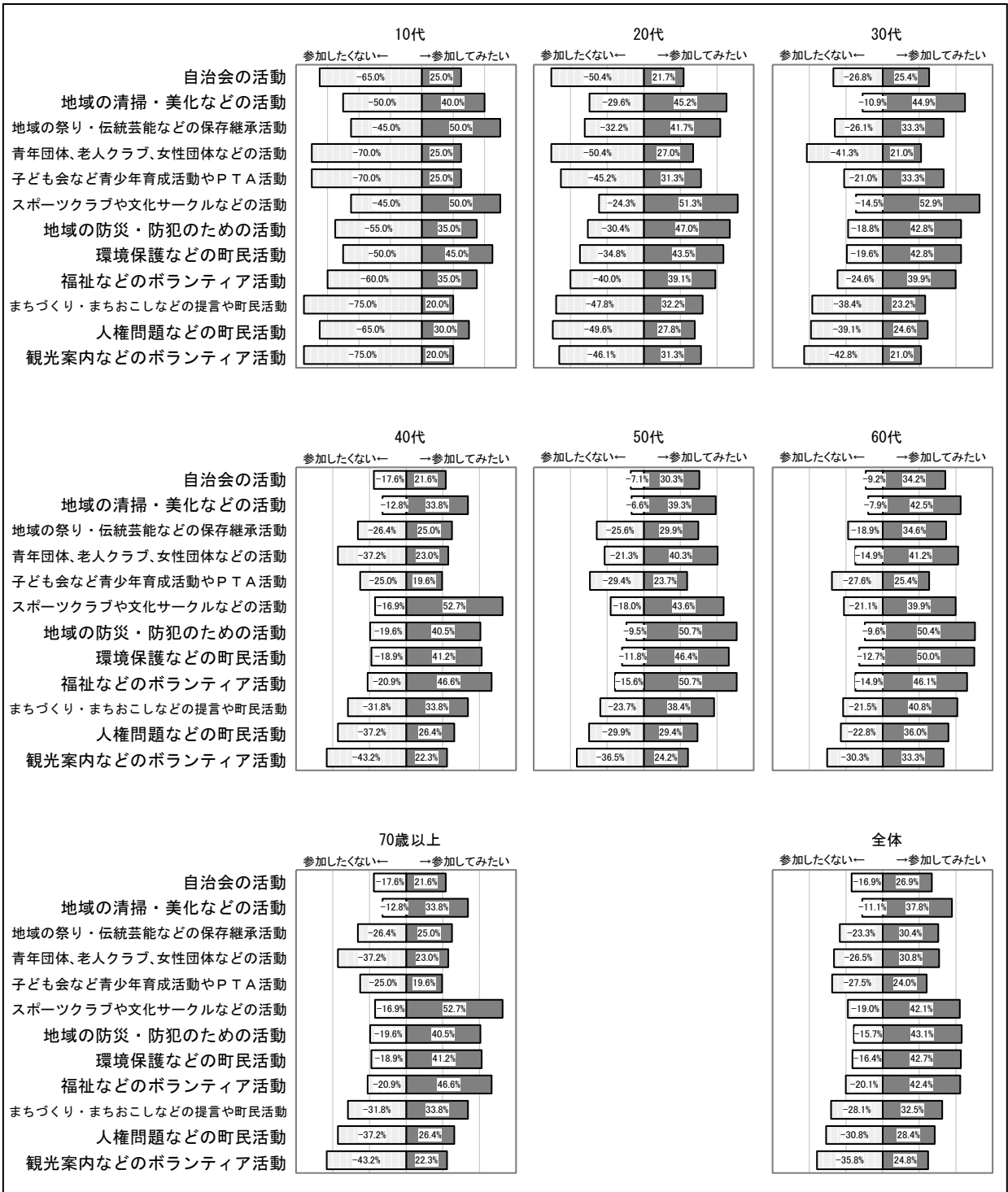
○ 年齢別集計

年齢別にみると、10代で「自治会の活動」への参加意向が低く、30代で「地域の防災・防犯のための活動」が高くなっています。

問 14. 今後の参加意向一年齢別



平成 18 年度調査



(3) 町政への住民参加

問15. これからの町政への参加に対するあなたのお考えはどうでしょうか。【複数回答】

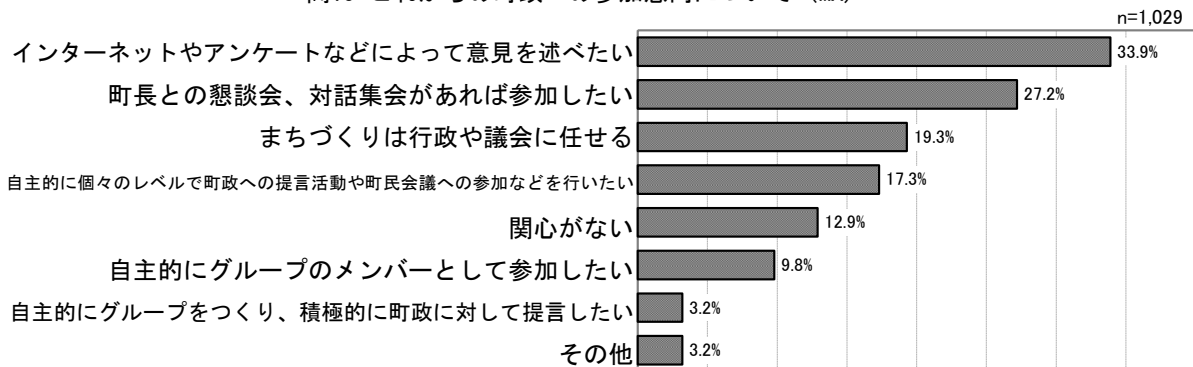
- 「インターネットやアンケートなどによって意見を述べたい」、「町長との懇談会、対話集会有れば参加したい」が上位。「関心がない」はやや減少。

<全体の傾向>

町政への住民参加のあり方については、「インターネットやアンケートなどによって意見を述べたい」(33.9%)、「町長との懇談会、対話集会有れば参加したい」(27.2%)、「まちづくりは行政や議会に任せる」(19.3%)、「自主的に個々のレベルで町政への提言活動や町民会議への参加などを行いたい」(17.3%)、「関心がない」(12.9%)、「自主的にグループのメンバーとして参加したい」(9.8%)、「自主的にグループをつくり、積極的に町政に対して提言したい」(3.2%)の順となっています。

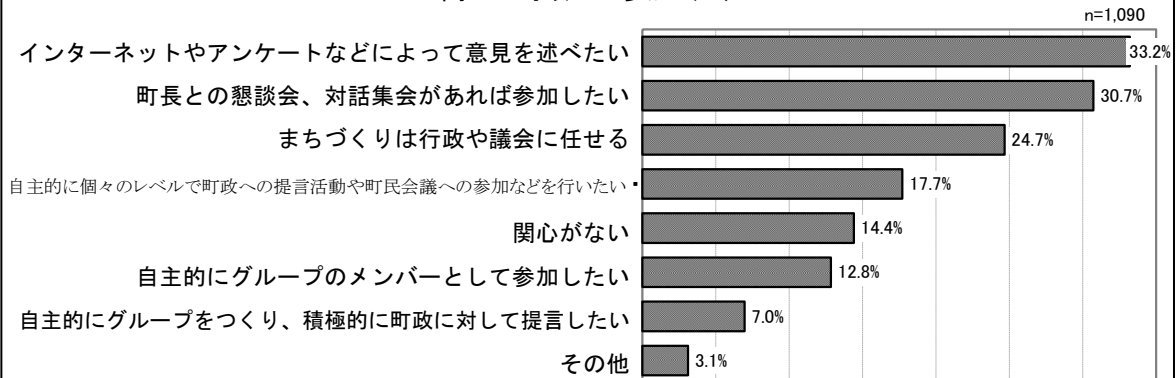
前回調査と比較すると、「関心がない」がやや減少しています。

問15 これからの町政への参加意向について (MA)



平成18年度調査

問15. 町政への参加 (MA)

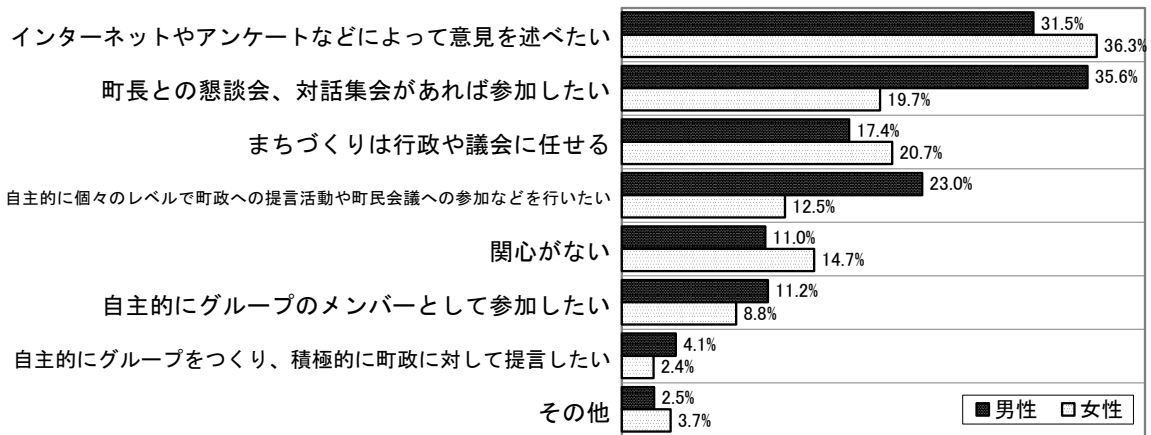


<属性別傾向>

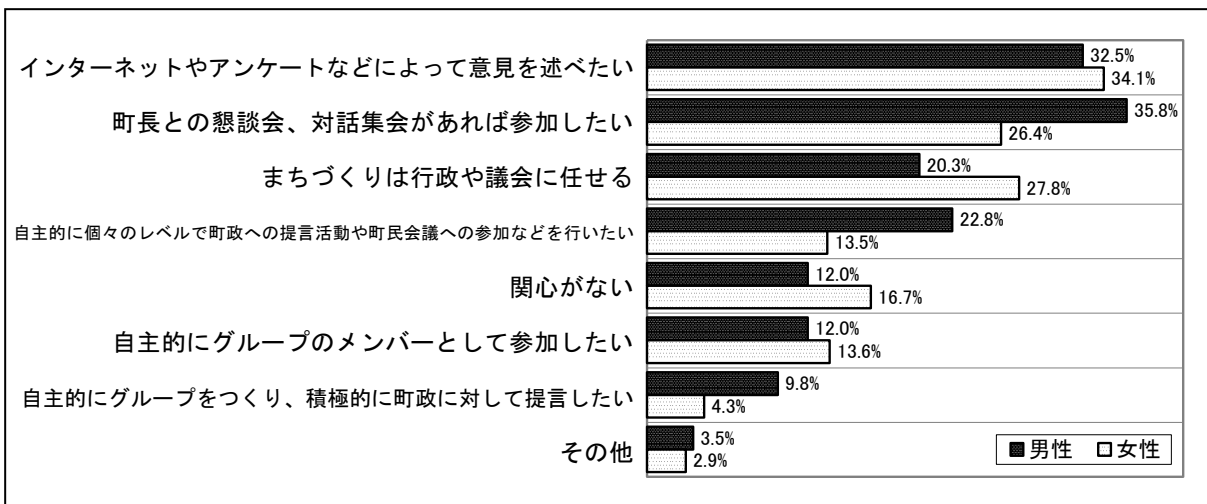
○ 男女別集計

町政への住民参加のあり方を男女別にみると、男性に「町長との懇談会、対話集会があれば参加したい」、「自主的に個々のレベルで町政への提言活動や町民会議への参加などを行いたい」が、女性に「インターネットやアンケートなどによって意見を述べたい」、「関心がない」がそれぞれ多くなっています。

問15. これからの町政への参加意向について－男女別



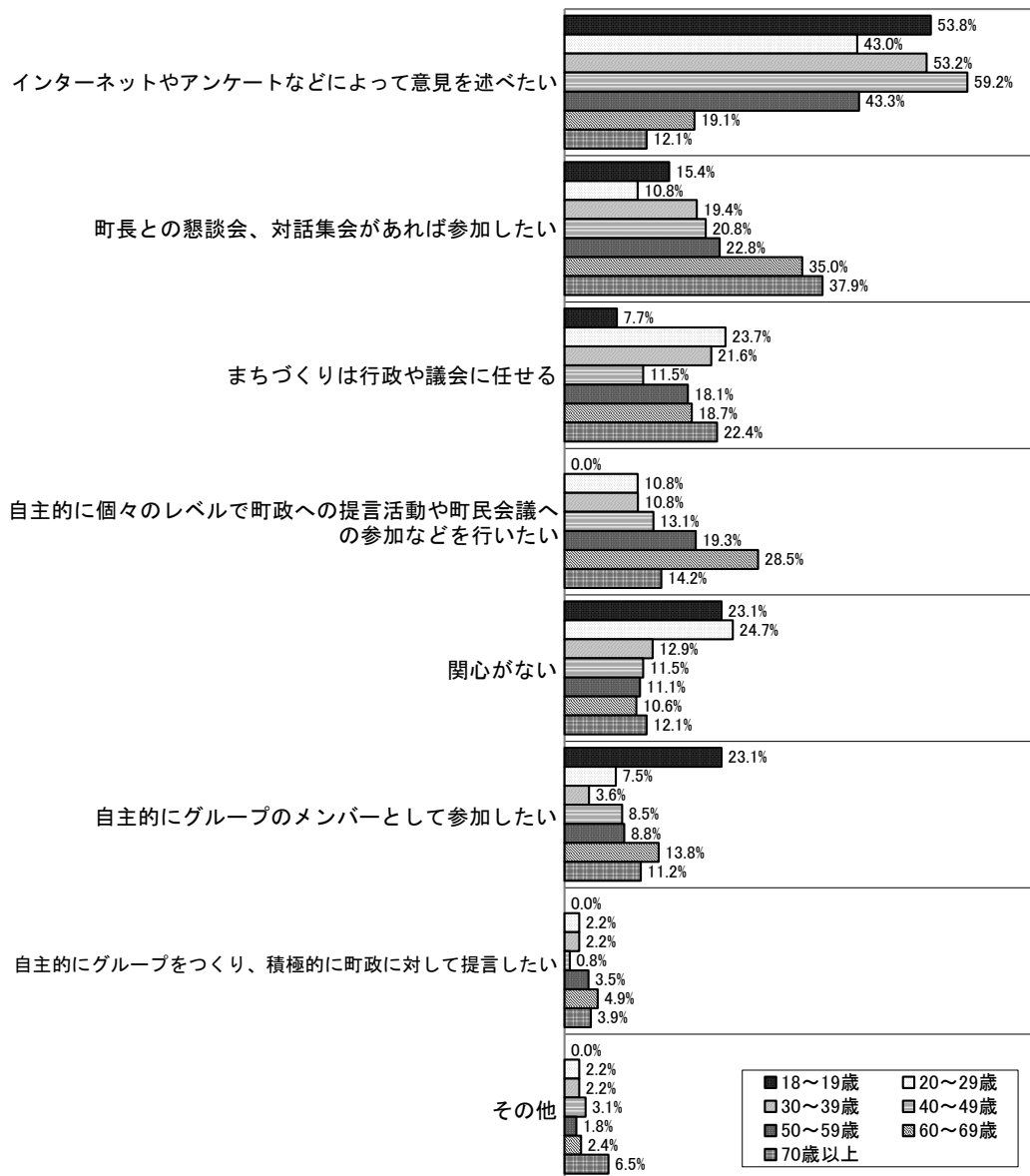
平成 18 年度調査



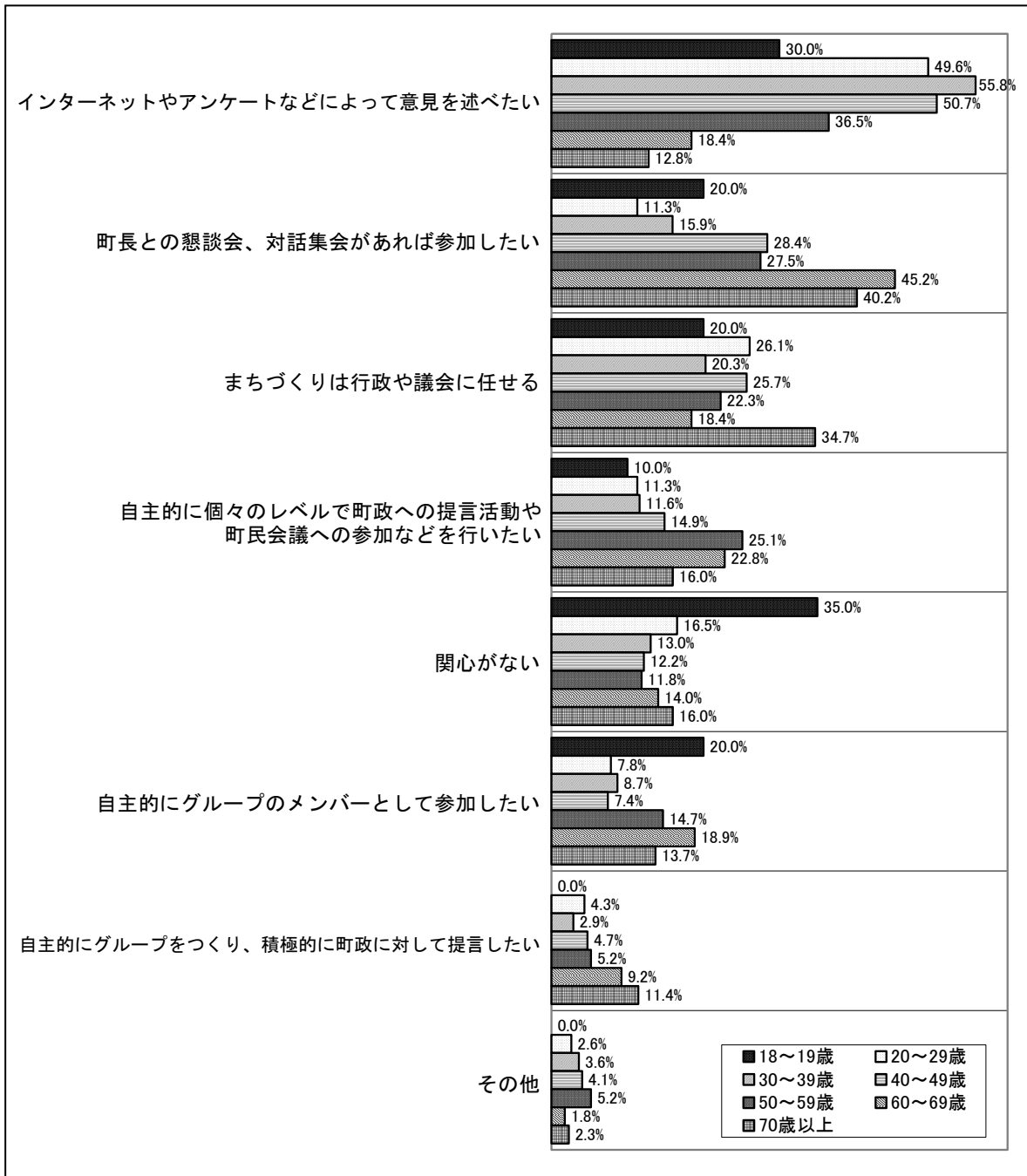
○ 年齢別集計

町政への住民参加のあり方を年齢別にみると、「インターネットやアンケートなどによって意見を述べたい」は高齢層になると低く、「町長との懇談会、対話集会有れば参加したい」は年齢が高くなるほど高くなっています。

問15. これからの町政への参加意向について一年齢別



平成 18 年度調査



アンケートによる指標の比較（基本計画に使われている指標）

満足度は全体的に上昇しており、参加割合は減少している項目もいくつかあります。

アンケートによる指標の比較（前回：今回）

設 問 項 目	前回%	今回%	基本計画分野
夜道の安全さなどの防犯に満足している住民の割合	31.4%	40.8%	1-2 防 犯
地域の防災、防犯のための活動に参加した住民の割合	14.0%	16.3%	1-2 防 犯
地震、火災など災害からの安全さに満足している住民の割合	56.6%	72.3%	1-3 消防・ 防災
地域の防災、防犯のための活動に参加した住民の割合	14.0%	16.3%	1-3 消防・ 防災
小中学校の整備状況に満足している住民の割合	74.5%	80.4%	2-1 学校教 育
子ども会など青少年育成活動やPTA活動に参加した住民の割合	16.4%	16.1%	2-2 青少年 育成
趣味や教養を高める場所に満足している住民の割合	51.8%	55.2%	2-3 生涯学 習
スポーツクラブや文化サークルなどの活動に参加した住民の割合	15.9%	15.9%	2-3 生涯学 習
人権問題などの町民活動に参加した住民の割合	3.9%	2.4%	2-3 生涯学 習
グラウンドや体育館などのスポーツ施設に満足している住民の割合	61.4%	66.3%	2-4 生涯ス ポーツ
スポーツクラブや文化サークルなどの活動に参加した住民の割合	15.9%	15.9%	2-4 生涯ス ポーツ
文化財など歴史的資源の保護、保存状況に満足している住民の割合	70.5%	73.1%	2-5 文 化
地域の祭り、伝統芸能などの保存継承活動に参加した住民の割合	23.1%	21.7%	2-5 文 化
保育園、幼稚園の整備状況に満足している住民の割合	72.8%	74.3%	3-1 子育て
住民検診などの保健事業に満足している住民の割合	76.0%	85.2%	3-2 健康・ 医療
病気になったときの医療体制に満足している住民の割合	55.2%	66.6%	3-2 健康・ 医療
高齢者や障がい者の福祉対策に満足している住民の割合	52.9%	59.3%	3-3 高齢福 祉
福祉などのボランティア活動に参加した住民の割合	10.6%	7.4%	3-5 地域福 祉
川の水や空気がきれいなことに満足している住民の割合	78.8%	88.5%	4-1 自然環 境
地域の清掃、美化などの活動に参加した住民の割合	46.5%	51.8%	4-1 自然環 境
ごみ、し尿の収集状況に満足している住民の割合	74.0%	80.0%	4-2 環境衛 生

観光案内などのボランティア活動に参加した住民の割合	2.3%	1.7%	5-2 観光
日常の買い物の便利さに満足している住民の割合	58.6%	70.9%	5-4 商業
道路事情や道路の整備状況に満足している住民の割合	44.8%	54.7%	6-1 道路
公園や子どもの遊び場に満足している住民の割合	42.0%	46.2%	6-3 公園
下水や雨水の排水状況に満足している住民の割合	51.2%	64.4%	6-5 上・下水道
鉄道、バスなど公共交通機関に満足している住民の割合	31.4%	35.7%	6-6 公共交通
公民館や地域集会所などの整備状況に満足している住民の割合	70.9%	72.6%	7-1 地域活動
自治会の活動に参加した住民の割合	55.0%	55.7%	7-1 地域活動
青年団体、女性団体、老人クラブなどの活動に参加した住民の割合	18.3%	15.0%	7-1 地域活動
まちづくり、まちおこしなどの提言や住民活動に参加した住民の割合	4.4%	2.9%	7-2 住民参画

アンケートによる指標の比較（前回：今回）

